

MITSUBISHI

三菱カーナビゲーションシステム

形名

NR-MZ40 シリーズ

取扱説明書



PremiDIA



ごあいさつ

この度は本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品の機能を十分に活かして正しくお使いいただくために、また安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」・「取付要領書」をよくお読みの上、正しくお使いください。

「取扱説明書」はお読みになった後、「保証書」・「お客様相談窓口一覧表」と共にいつでも見られるところに大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにもう一度ご覧ください。

本製品を譲られるときは、次に所有される方のために本製品に、本取扱説明書を付けてお譲りください。

もくじ

はじめに

ご使用前に	5
お客様へ安全上のご注意	9
本書のみかた	13

基本操作	14
本機について	14
タッチ操作のしかた	19
文字入力のしかた	20
ドライビングリモコンについて	24
各メニュー画面について	25

NAVI

基本操作	31
ナビゲーション機能について	31
ナビ画面について	34
地図画面を選択する	39
案内表示について	41
地図を操作する	44
地点メニューからの操作	46
レーンアシストを使う	48
高速道路情報について	52

目的地の設定	55
自宅を目的地に設定する	55
探した場所を目的地に設定する	56
場所を探す	57
探索条件設定画面について	68
観光ルートを設定する	69

ルートの確認・変更	70
ルートの確認	70
ルートの変更	73

登録地の設定	81
自宅を登録する	81
登録地を設定する	82
登録地を変更する	84

VICS 機能

VICS について	89
交通情報を調べる	94
VICS による自動処理	97
VICS 局を選ぶ	98

DSRC 機能

DSRC サービスとは	99
-------------	----

AV

オーディオ機能について

基本操作	104
ディスクの取り扱いについて	107
音楽ファイル (MP3/WMA/AAC)について	110

ラジオ / 交通情報

ラジオを聴く	115
交通情報を聴く	119

DISC

音楽 CD を聴く	120
ディスクの音楽ファイルを聴く	127
DVD ビデオを見る	132

SD/MusicFolder

SD カードの曲を聴く	143
MusicFolder に録音する	148
MusicFolder を聴く	150

iPod/USB

接続する	165
iPod を再生する	167
USB デバイスの曲を聴く	173

地上デジタル TV	178
テレビ機能について	178
テレビを見る	180
放送局を探す	186
好みの放送局を登録する	189
情報を確認する.....	192
その他の操作	194
外部入力機器	197
AUX を使う	197

INFO

各種情報を確認する	200
エコ情報を確認する	200
ETC 情報を確認する	203
カメラを使う	207
FM 文字情報を見る.....	209
地図データを更新する	214
メンテナンス情報を確認する	216
バージョンを確認する	220
本機の設定	222
設定を変更する.....	222
NAVI の設定	223
AV の設定	232
INFO の設定	238
システムの設定.....	245
DTV の設定	251
その他の設定	255

その他

困ったときは	259
用語解説	268
地上デジタル TV 放送の	
チャンネル一覧表	272
その他の機器への接続について	275
保証とアフターサービス	276
ソフトウェアについて	277
Flash エンドユーザー ライセンス	279
仕様	280
用語索引	282

はじめに

あらかじめ知っておいていただきたいことについての説明を行います。

ご使用前に	5
免責事項について	5
ご使用上の注意	6
共通	6
テレビ機能	6
iPod/iPhone 再生機能（オプション）	7
走行中の操作制限について	7
お手入れのしかた	7
商標について	7
お客様へ安全上のご注意	9
取付・配線時などのご注意	11
本書のみかた	13
基本操作	14
本機について	14
本体パネルについて	14
パネルが閉じているとき	14
パネルが開いているとき	15
起動する	16
SD カードについて	16
取り扱い上のご注意	17
保管上のご注意	17
SD カードを挿入する	17
地図カードの場合	17
音楽用 SD カードの場合	18
SD カードを取り出す	18
地図カードの場合	18
音楽用 SD カードの場合	18
タッチ操作のしかた	19
～にタッチするとき	19
リストから項目を探すとき	19
タブスイッチがあるとき	19
文字入力のしかた	20
文字入力用キーボード	20
変換候補のリストについて	21
入力できる文字の種類	21
数字入力用キーボード	21
施設名称入力用キーボード	22
繰り返しタッチについて	23
ドライビングリモコンについて	24
各メニュー画面について	25
NAVI メニュー	25
AV メニュー	26
INFO メニュー	27

ご使用前に

免責事項について

- ・火災、地震、津波、洪水などによる自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客さまの故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・お客さま、または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電気的なノイズの影響を受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報（登録地など）や録音した音楽データが変化・消失した場合、その内容の補償はできません。大切な情報は万一に備えてメモなどを取っておくことをおすすめいたします。
- ・本製品に入力した個人情報（登録地の住所や電話番号など）は本機を取り外してもメモリーに残っている場合があります。他人に譲り渡す、または処分などされる際は、プライバシー保護のため個人情報の取り扱い、管理（消去など）は、必ずお客さまの責任において行ってください。三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・本製品を譲渡または廃棄される場合には、「メモリ初期化」(P247) の [本機の初期化] をすることをおすすめします。
- ・本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失、記録内容の変化・消失など）に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・表示される地図はデータ作成時点の関連で現状と異なる場合がありますので、ご了承ください。また、地図データ不備による損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。
- ・本製品には交通規制データが収録されていますが交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。なお、交通規制データ不備による交通事故や交通違反の損害に関して、三菱電機は一切の責任を負いません。

- ・地図データの不備などで返品・返金・交換・改造などはできかねます。地図データがお客さまの特定の目的に適合しない場合があります。地図データの内容は予告なく変更される場合があります。地図データは誤字・脱字・位置ずれなどがある場合があります。
- ・ルート案内や右左折などの音声案内時、実際の標識や交通規制と異なる案内をする場合があります。必ず実際の標識や交通規制に従って走行してください。
- ・仕様および外観は改良のため予告なく変更されることがあります。そのため取扱説明書の内容と異なる場合がありますが返品・返金・交換・改造などはできかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本取扱説明書では数種類の機種内容を共用で説明しています。機種によっては記載されていても使用できない機能や別売の機器が必要な場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・取扱説明書で使用している画像やイラストは開発中のものもしくは説明用に作成したものです。実際のものと異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品に添付の保証書は当該製品をバス、タクシー、トラックなどの車両へ使用した場合、適用対象にはなりません。
- ・本製品に記憶されたお客さまの登録情報など、またすべての情報の変化、消失した場合の損害や不利益について、アフターサービスも含め、三菱電機は一切責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- ・本製品は国内専用です。海外では使用できません。

ご使用上の注意

■ 共通

- 操作するために、エンジンをかけたまま車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所に停車しないでください。排気ガスにより、ガス中毒になる恐れがあります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。また、運転者が画面を見ることは必要最小限の時間にとどめてください。画面に気を取られて思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態で運転すると思わぬ事故につながる恐れがあります。
- 分解や改造をしないでください。故障や発煙、発火の原因になります。
- 緊急を要する施設（病院・消防署・警察署など）の検索や施設までの案内については、本製品への依存を避け該当施設へ直接問い合わせてください。
- 操作ときは、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンをかけずに本製品を使用し続けた場合、車両のバッテリーが消耗しエンジン始動ができない恐れがあります。
必ずエンジンをかけた状態で使用してください。
- 以下のようなときは、液晶画面特有の現象ですので故障ではありません。
 - » 画面に小さな黒点、輝点（赤、青、緑）がある。
 - » 寒冷時など、画面の動きが遅い。
 - » 寒冷地など、画面が暗いときがある。
 - » 画面を見る角度によって、色あいや明るさに違いがある。
- 液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。はじめてお使いのときは画質の調整を行ってください。
- 市販の液晶保護フィルムなどを画面に貼るとタッチパネル操作に支障がでる恐れがあります。
- 鋭利なもの（ペン先・つめの先など）でタッチパネル操作を行うと画面に傷が付く場合や損傷して誤動作する場合があります。

- 手袋などを着けたままタッチパネル操作を行うと誤動作の原因となります。
- 画面の汚れを取るときは、やわらかい布で拭き取ってください。ベンジン、シンナー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。画面を傷つける恐れがあります。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、Rovi Corporation およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、Rovi Corporation の許可が必要で、また、Rovi Corporation の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用以外には使用できません。分解や改造することも禁じられています。

■ テレビ機能

本書は、内蔵の地上デジタル TV チューナーのテレビ機能について説明しています。

→「テレビ機能について」(P178)

お知らせ

- 一部の機種は、テレビ機能には対応しておりません。
- 本製品は、BS デジタル放送、110 度 CS デジタル放送には対応しておりません。
- 本製品はデータ放送には対応しておりません。
- 走行状態により受信異常が発生したときや、移動中に電波の受信状態が悪くなったときは、次のような現象が起きる場合があります。
 - » 映像や音声にノイズが発生する。
 - » 映像や音声が途切れる。
- パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させたときには、テレビの受信状態が悪くなることがあります。

■ iPod/iPhone 再生機能（オプション）

- ・本機は、iPod/iPhone の音楽や映像の再生に対応しておりますが、いかなるバージョンであっても動作を保証するものではありません。
- ・iPod/iPhone の機種、バージョンによって動作が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

走行中の操作制限について

走行中は一部操作が制限されます。走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。
なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。

お手入れのしかた

- ・本機が汚れたときはやわらかい布でから拭きしてください。
- ・汚れがひどいときは、中性洗剤をうすめた水にやわらかい布を浸し固く絞ってからご使用ください。ベンジンやシンナー、化学ぞうきんは使用しないでください。表面が変質します。

商標について

- ・「ナビ」、「NAVI」は商標です。
- ・製品名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。
- ・なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記がない場合でも、これを十分尊重いたします。



ミュージックフォルダは、三菱電機の登録商標です。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「DOLBY」、「ドルビー」およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

PremiDIA

PREMIDIAは、三菱電機の登録商標です。



SDHCはSD-3C,LLCの商標です。



VICS ロゴは、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。



ETC ロゴは、財団法人道路システム高度化推進機構 (ORSE) の登録商標です。*



DSRC ロゴは、一般社団法人 ITS サービス推進機構 (ISPA) の登録商標です。



マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

* 本製品は ETC/DSRC 車載器対応ナビゲーションのため、ETC 専用車載器には対応していません。



「Made for iPod」および「Made for iPhone」とは、iPod または iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

iPod および iPhone は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

iPod



iPod
5th generation
(video)
60GB 80GB



iPod
5th generation
(video)
30GB

iPod classic



iPod classic
160GB (2009)



iPod classic
160GB (2007)



iPod classic
80GB

iPod nano



iPod nano
6th generation
8GB 16GB



iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB



iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB



iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB



iPod nano
2nd generation
(aluminum)
2GB 4GB 8GB



iPod nano
1st generation
1GB 2GB 4GB

iPod touch



iPod touch
4th generation
8GB 32GB 64GB



iPod touch
3rd generation
32GB 64GB



iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB



iPod touch
1st generation
8GB 16GB 32GB

iPhone



iPhone 4S
16GB 32GB 64GB



iPhone 4
16GB 32GB



iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB



iPhone 3G
8GB 16GB

* 「iPod nano 1st generation」、「iPod nano 2nd generation (aluminum)」、「iPod nano 6th generation」、「iPod 5th generation (video) 30GB」、「iPod 5th generation (video) 60GB 80GB」は、ビデオ再生に対応しておりません。(音楽再生は可能。)

* Genius 機能には対応していません。

* iPod および iTunes は、著作権のないマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するためには使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

お客さまへ安全上のご注意

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示とともに、取り扱い上の注意点を記載しています。絵表示は次のような意味を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



このような絵表示は、注意(警告を含む)しなければならない内容です。



このような絵表示は、禁止(やってはいけないこと)の内容です。



この絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。



禁止

- 運転者は運転中に、画像を注視しない。前方不注意となり事故の原因となります。道路交通法により、運転者が走行中に画像を注視することは禁止されています。
- 運転者は走行中に複雑な操作をしない。
運転中に複雑な操作をすると、前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- カメラは周囲確認の補助装置です。カメラの画像だけを見て運転しない。
カメラ画像で表示できる範囲には限りがあるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因になります。
- 画面が映らない、音がでないなどの故障状態で使用しない。
事故、火災、感電の原因となります。
- 本機は DC12V マイナス ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの 24V 車での使用はしない。火災や故障の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れない。発煙、発火、感電、故障の原因となります。
- ディスク挿入口やカード挿入口に異物を入れない。
火災や感電、故障の原因となります。

警告



必ず行う

- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行する。
本機では交通規制の変更などにより実際の交通規制と異なる場合があります。
必ず実際の交通規制に従って走行してください。
- 運転者がテレビやビデオを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけて使用する。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- カメラ使用時も目視による安全確認を必ず行う。
カメラの死角になっている人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- バックする際はゆっくりした速度で運転する。
カメラの画像は目視と距離感が異なるため、人や障害物に接触する恐れがあり、事故の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙ができる、変な臭いがするなど異常が起こった
ら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



分解禁止

- 本機を分解したり、改造しない。故障、火災、感電の原因となります。



接触禁止

- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線やフロントパネルに触れない。
落雷により感電の原因となります。

注意



禁止

- 本機の通風孔や放熱板をふさがないでください。
通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、発火や故障の原因となることがあります。
- カメラ本体に無理に力を加えたり、高圧洗車は行わないでください。
カメラが外れたり、角度がずれて故障や事故の原因となることがあります。



注意

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。
車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- カメラ画像は車種や取り付け角度で見え方が異なります。注意してご使用ください。
事故の原因となることがあります。



必ず行う

- モニターパネルの開閉や角度調整時に、シフトレバー操作などの妨げになる場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

⚠ 注意



- ディスク挿入口やカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。

指に注意 モニターパネルの開閉や角度調整時に、手や指を挟まれないようにご注意ください。
けがの原因となることがあります。

■ 取付・配線時などのご注意

⚠ 警告



禁止

- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けない。交通事故やけがの原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しない原因となり危険です。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと制動不能や発火、事故の原因となります。



注意

- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触しないよう注意して行う。誤った穴開けをすると火災の原因となります。



必ず行う

- 取り付け作業前には、バッテリーのマイナス(⊖)端子を外す。ショート事故による感電やけがの原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。
- 取り付けと配線が終わったら、ブレーキやライト、ホーン、ウィンカーなどの電装品が元通り、正常に動作することを確かめる。正常に動作しない状態で使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- 必ず、パーキングブレーキ線を接続する。(安全機能)
走行中はテレビ、ビデオの画像が表示されず、音声のみとなります。また、画面を注視する必要がある複雑な機能は操作できないようになっています。

⚠ 注意



禁止



注意

- 本機のシャーシ上部を強く押さないでください。
本機のシャーシ上部が変形すると、ディスクの挿入や排出ができなくなります。



必ず行う

- 車体やねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。
断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。
コード類が車体の高温部に接触すると被膜が破れショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 落下などによる、強い衝撃を与えないでください。
機器の故障、けがなどの原因になることがあります。付属のネジなどでしっかりと固定してください。
- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。
指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れるなど、事故や故障、火災の原因になることがあります。
- 取付要領書で指定された通りに接続してください。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤作動する原因となることがあります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 他の機器と接続する場合は、各機器の取扱説明書も併せてよくお読みの上、正しくお使いください。
- 携帯電話を使用する場合は、携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。
- 本製品を廃棄する場合は、最寄りの市町村窓口または販売店に正しい廃棄方法をお問い合わせください。

本書のみかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。



※このページは「本書のみかた」を説明するためのものです。
実際のページ、説明内容とは異なります。

① 編見出し

主な機能に分けて分類しています。

② 章見出し

編分類の中でさらに機能を分類し、各章の先頭に記載しています。

また、右端のインデックスでも確認することができます。

③ 大見出し

章分類の中で主な操作や機能を分類しています。

④ 中見出し

大見出しの中で分けられた操作や機能をこまかく分類しています。

⑤ 小見出し

中見出しの中で分けられた操作や機能をさらにこまかく分類しています。

⑥ 操作手順

操作手順を示す番号です。この番号の順序に従い操作してください。

⑦ [○○○] キーまたは「[○○○]」キー

パネルでの操作キーを示します。

⑧ [○○○] または [○○○]

画面上に表示されるタッチスイッチを示します。

⑨ (P000)

参照するページを示します。関連する説明などが記載されています。

⑩ 次のページにつづく

操作の説明に続きがある場合に記載しています。

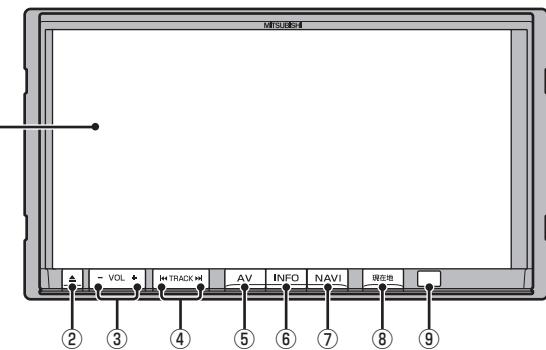
基本操作

1 本機について

本体パネルについて

本体パネルの各部の名称と働きについて説明します。

■ パネルが閉じているとき



① ディスプレイ

このディスプレイに表示されるタッチスイッチにタッチすることで、ほとんどの操作が行えます。

→「タッチ操作のしかた」(P19)

② ▲ キー

モニターパネルの開閉画面を表示します。パネルを開閉するときや、ディスクを出し入れ(P105)をするときに使います。

③ - VOL キー / VOL+ キー

オーディオ機能の音量を調節することができます。

→「音量を調節する」(P104)

④ HTRACK キー / TRACK▶ キー

CDなどのトラックやラジオの選局が行えます。また、DVDのチャプターの切り替えが行えます。

⑤ AV キー

AVメニューを表示します。

オーディオソースを選ぶときに使用します。→「AVメニュー」(P26)

⑥ INFO キー

INFOメニューを表示します。

情報確認や各種設定を行うときに使用します。→「INFOメニュー」(P27)

⑦ NAVI キー

NAVIメニューを表示します。

ナビゲーションの各機能をご利用になれます。→「NAVIメニュー」(P25)

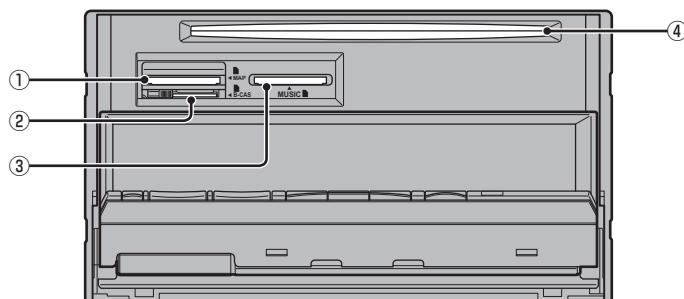
⑧ 現在地 キー

ナビゲーション画面の現在地画面(P34)を表示します。

⑨ リモコン受光部

別売のドライビングリモコンの信号を受光します。

■ パネルが開いているとき



① MAP スロット

ナビゲーション機能のための地図データが納められた地図カードを挿入します。別売の上位バージョンの地図カードと本体の地図カードを交換することでナビ機能のバージョンアップを行うことができます。

→「バージョンアップ方法」(P220)

② miniB-CAS カード挿入口

miniB-CAS カードを挿入します。

→「miniB-CAS カードを入れる」(P179)

※ 付属の miniB-CAS カード以外のものを入れないでください。

一部の機種は、miniB-CAS カードは付属しておりません。

③ MUSIC スロット

音楽用 SD カードを挿入します。音楽用 SD カードの再生(P143)や MusicFolder への録音^{※1}(P150)が行えます。また、地図データを更新することもできます。

→「地図データを SD カードで更新する」(P214)

④ ディスク挿入口

本機で再生可能なディスクを挿入すると、再生を開始します。

→「ディスクを挿入する」(P105)

※ 1 一部の機種は、MusicFolder の録音機能に対応しておりません。

起動する

本システムを起動します。

1 車のイグニッションキーを“ACC”または“ON”にする



オープニング画面が表示され、しばらくするとオーディオ画面やナビゲーション画面など、前回最後に使用した機能の画面（ラスト画面）に切り換わります。

お知らせ

- 車両点検などでバッテリーを外すと、セキュリティロック時は、パスワード入力画面を表示します。
パスワードを入力するまで本機をご使用になれませんので「起動時セキュリティの設定」(P250)で設定したパスワードを入力してください。

アドバイス

- イグニッションキーを“ACC”または“ON”した直後は、ナビゲーション機能の場合、地図カードからのデータ読み込みのため、地図画面表示後すぐに使えない機能があります。読み込み完了までしばらくお待ちください。

SD カードについて

本機はナビゲーション機能で使用する地図カードおよびオーディオ機能で使用する音楽用 SD カードに対応しております。

警告



必ず行う

- 事故防止のため、SD カードは乳幼児の手の届かないところに保管する。

万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。

注意

- 地図カードは本機の MAP スロット以外に挿入しないでください。故障の原因となります。もしくはデータが破壊、使用できなくなる場合があります。
- SD カードの抜き差しは、駐停車禁止外の安全な場所に停車してから行ってください。
- SD カードでデータを読み書きしているときに、SD カードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。
記録されたデータの消失または破損の恐れがあります。
- SD カード挿入口に異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。
- SD カードの挿入口は、MAP スロットおよび MUSIC スロットの 2 種類ありますので、SD カードを挿入する際は間違わないようご注意ください。

お知らせ

- SD カードのデータ消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- パソコンの標準機能を使用してフォーマットした SD カードは正しく動作しない場合がありますので、本機でご使用になる SD カードは本機でフォーマットしてからご使用ください。
- SD カードには寿命があり、書き込みを繰り返すと書き込みや消去などができる場合があります。

■ 取り扱い上のご注意

- SDカードの端子に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなることがあります。SDカードを持つときは、端子を触らずに持つようにしてください。
- SDカードに紙やシールを貼り付けたり、傷を付けたりしないでください。
- すでにSDカードが挿入された状態で他のSDカードを無理に挿入しないでください。故障の原因となります。
- SDカード以外のものを挿入しないでください。SDカード以外のものを挿入すると、破損もしくは取り出せなくなります。

■ 保管上のご注意

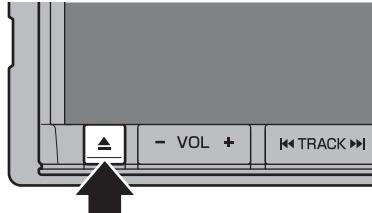
本機から取り出したときは、直射日光の当たらない場所に保管してください。

SDカードを挿入する

■ 地図カードの場合

ナビゲーション機能のための地図データが納められた地図カードを挿入します。
はじめに本体に地図カードを挿入する必要があります。

1 ▲キーを押す



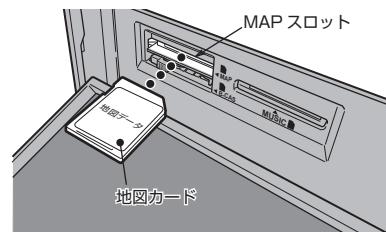
2 モニターOPENにタッチする



パネルが開きます。

3 MAPスロットに地図カードを差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。



注意

- MUSICスロット側に差し込まないでください。

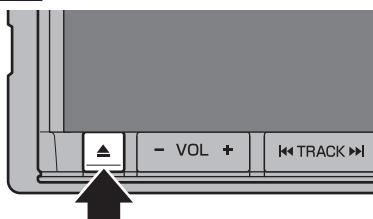
4 ▲キーを押し、パネルを閉じる

ナビゲーション機能の使用が可能となります。

■ 音楽用 SD カードの場合

オーディオ機能のために使用する音楽用 SD カードを挿入します。

1 ▲ キーを押す



2 モニター OPEN にタッチする

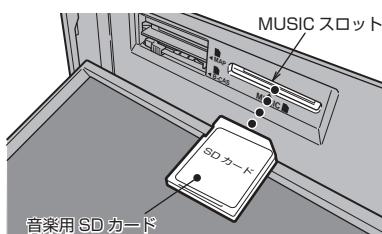


▼
パネルが開きます。

3 MUSIC スロットに

音楽用 SD カードを差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。



注意

- MAP スロット側に差し込まないでください。

4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる



オーディオ機能の SD カードが使用可能となります。

SD カードを取り出す

■ 地図カードの場合

地図データのバージョンアップを行う際に取り出します。別売の上位バージョンの地図カードと本体の地図カードを交換することでバージョンアップが行えます。

詳しくは、「バージョンアップ方法」(P220)をご覧ください。

■ 音楽用 SD カードの場合

オーディオ機能のために使用する音楽用 SD カードを取り出します。

1 ▲ キーを押す

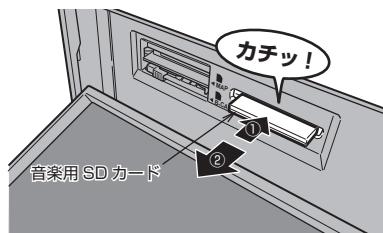
2 モニター OPEN にタッチする



▼
パネルが開きます。

3 MUSIC スロットの

音楽用 SD カードを「カチッ」と音がするまで押す



音楽用 SD カードが飛び出し、抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

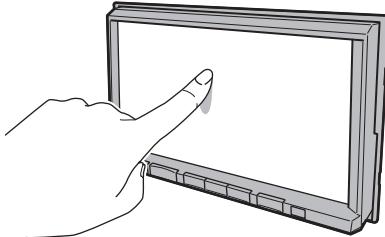
4 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

タッチ操作のしかた

本システムでは、ディスプレイに直接タッチして操作するタッチパネルを採用しています。

～にタッチするとき

画面にタッチして“決定”する操作について、本書では「～にタッチする」と記載しています。



また、タッチして実行するメニューは「タッチスイッチ」と記載しています。

注意

- ・ディスプレイの表面は傷が付きやすいので、手で強く押さえたり、かたい布などでこすったりしないでください。
- ・画面が汚れたときは、メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。

リストから項目を探すとき

▽ , □ にタッチすると 1 つずつリストを選ぶことができます。

▽ , ▲ にタッチすると 1 ページごとに表示を送ることができます。



探している項目が表示されたら直接その項目にタッチします。

タブスイッチがあるとき

分類がタブスイッチで分かれている場合があります。

分類のタブスイッチに直接タッチすることで、分類の先頭までリストが移動します。



分類の数が多いときは、◀◀ 前ページ , ▶▶ 次ページ が表示されます。

◀◀ 前ページ , ▶▶ 次ページ にタッチすることで分類のタブスイッチを 1 ページずつ送ることができます。



文字入力のしかた

文字入力キーの各メニューについて説明します。

文字入力用キーボード



① 入力文字表示部

入力した文字を表示します。

“オレンジ色の文字”は確定前の文字で [変換] で漢字に変換できます。

“黒色の文字”は、確定済みで変換はできません。

② カーソル

【】で表示され、【】の左側に文字が入力されます。

③ 小文字 / 大文字

タッチで入力キーボードに表示される文字が小文字→大文字→小文字と切り換わります。

④ 半角 / 全角

入力キーボードに表示される文字が半角→全角→半角と切り換わります。

⑤ ひらがな

入力キーボードに表示される文字が「ひらがな」に切り換わります。

⑥ カタカナ

入力キーボードに表示される文字が「カタカナ」に切り換わります。

⑦ 英数

入力キーボードに表示される文字が「アルファベット」、「数字」および簡単な「記号」に切り換わります。

⑧ 記号

入力キーボードに表示される文字が「数字」と「記号」に切り換わります。

⑨ 戻る

1つ前の画面に戻ります。

⑩ 変換

確定前の文字を変換するための変換候補リストを表示します。

→「変換候補のリストについて」(P27)

⑪ 無変換

確定前の文字を変換せずに確定します。

⑫ ▲, ▼

【】の位置を移動します。

⑬ 入力キーボード

タッチで表示されている文字を入力できます。

⑭ 入力完了

入力された文字をすべて確定し、文字入力モードを終了します。

⑮ 全消去

入力中の文字をすべて削除します。

⑯ 1文字消去

入力中の文字を一文字削除します。

アドバイス

- 機能や文字の種類によって、表示されないタッチスイッチや別のタッチスイッチになることがあります。詳しくは各機能の説明をご覧ください。

■ 変換候補のリストについて

文字入力キーボードで[変換]にタッチすると表示する変換候補リストについて説明します。



- ① [◀], [▶]
変換範囲を変更できます。
- ② 変換候補
タッチした変換候補で確定します。
- ③ [↑], [↓]
リストから変換候補を選びます。

■ 入力できる文字の種類

入力キーボードはさまざまな文字が入力できるように用意されています。

文字入力は、各機能の操作の途中で必要になったときに表示します。
但し、機能によって入力できる文字を制限することがあります。
(例:「電話番号から探す」(P66)では数字のみ)

ひらがな



カタカナ



アルファベット / 数字



記号 / 数字



アドバイス

・「きごう」と入力して[変換]にタッチすることでも、一部の記号が入力できます。

数字入力用キーボード

電話番号や郵便番号など数字のみを入力できるように用意されています。



施設名称入力用キーボード



① 入力文字表示部

入力した文字を表示します。

“白色の文字”は現在入力中（繰り返しタッチ中）の文字です。

“オレンジ色の文字”は確定前の文字です。

“黒色の文字”は、確定済みの文字です。

② 入力キーボード

タッチで表示されている文字を入力できます。同じ文字を繰り返しタッチすることで、“あ→い→う→え→お→あ・・・”などのように入力できます。

→「繰り返しタッチについて」(P23)

③ 小

繰り返しタッチ中の文字を拗音（ようおん）、促音→濁点→半濁点の順に変換します。

④ →

繰り返しタッチ中の状態を解除します。未確定の文字がある場合は、文字を確定します。

⑤ 戻る

1つ前の画面に戻ります。

⑥ 確定

未確定の文字を確定します。

⑦ &

①入力文字表示部に「&」が入力され別のキーワードを追加することができます。キーワードは3語まで指定することができます。

⑧ 入力候補リスト

入力した文字に続く文字や言葉を予測し候補を表示します。

タッチで入力文字表示部へ入力します。

⑨ ←

繰り返しタッチ中の文字を1つ前の文字に戻します。

⑩ リスト

入力した文字の検索結果を表示します。

⑪ 後退

未確定の文字を1文字削除します。未確定の文字列がない場合は、1つ前に確定した文字列を未確定の状態に戻します。

タッチし続けるとまとめて削除することができます。

■ 繰り返しタッチについて

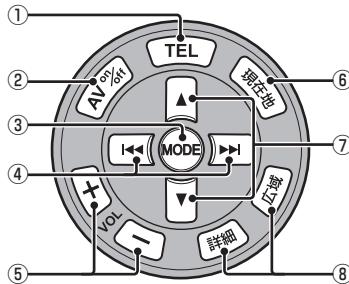
入力キーボードの同じ文字を繰り返しタッチすることで別の文字に切り換えることができます。

切り換わる文字は以下のようになります。

あ	あ▶い▶う▶え▶お▶あ▶い▶う▶え▶お▶あ▶
か	か▶き▶く▶け▶こ▶か▶
さ	さ▶し▶す▶せ▶そ▶さ▶
た	た▶ち▶つ▶て▶と▶っ▶た▶
な	な▶に▶ぬ▶ね▶の▶な▶
は	は▶ひ▶ふ▶へ▶ほ▶は▶
ま	ま▶み▶む▶め▶も▶ま▶
や	や▶ゆ▶よ▶や▶ゅ▶よ▶や▶
ら	ら▶り▶る▶れ▶ろ▶ら▶
わ	わ▶を▶ん▶わ▶ー▶わ▶

ドライビングリモコンについて

本機は、別売のドライビングリモコン (RE-MZ50) での操作に対応しています。
ドライビングリモコンの各部の名称と働きについて説明します。



① TEL キー

使用しません。

② AV on/off キー

オーディオ機能の ON/OFF が行えます。

③ MODE キー

[MODE] キーを押すたびに、オーディオのソースを切り換えることができます。
切り換え順は、以下の通りとなります。
接続されていない機器がある場合はスキップして次のソースに切り換わります。



④ ▶◀ キー、▶▶ キー

CD などのトラックやラジオの放送局を選ぶことができます。また、DVD のチャプターを切り換えることができます。
押し続けると早送りや早戻しが行えます。

⑤ + キー、- キー

オーディオ機能の音量を調節することができます。

⑥ 現在地 キー

ナビゲーション画面の現在地画面 (P34) を表示します。

⑦ ▲ キー、▼ キー

オーディオのアルバムやフォルダを選択することができます。

⑧ 詳細 キー、広域 キー

地図のスケールを詳細 / 広域にします。

* 1 一部の機種は、MusicFolder の録音機能に対応しておりません。

* 2 別売の接続ケーブルが必要です。

* 3 一部の機種は、テレビ機能には対応しておりません。

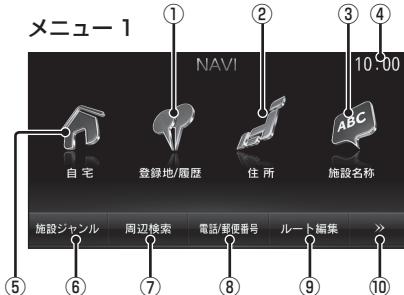
* 4 [MODE] キーで FM1/FM2/AM を切り換えることはできません。(最後に聴いていた状態に切り換わります。)

各メニュー画面について

各キーを押すことで、NAVI メニュー や AV メニュー、INFO メニューからさまざまな機能を使うことができます。

NAVI メニュー

[NAVI] キーを押して表示する NAVI メニューについて説明します。



メニュー 2



① 登録地 / 履歴

登録地を呼び出します。

→ 「登録地を呼び出す」 (P57)

また検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがある地点などは、検索履歴として残り、再度周辺の地図を表示させることができます。

→ 「検索履歴を利用する」 (P57)

② 住所 (P58)

住所から場所を探します。

③ 施設名称 (P59)

施設の名称を入力し場所を探します。

④ 時計

24 時間制で現在時刻を表示します。

⑤ 自宅

自宅を登録することができます。(P81) また、登録した自宅を目的地に設定することができます。(P55)

⑥ 施設ジャンル (P61)

コンビニやガソリンスタンドなど、分類ごとに場所を探すことができます。

⑦ 周辺検索 (P65)

現在地や目的地、ルート周辺の施設を探すことができます。

⑧ 電話 / 郵便番号

電話番号 (P66) や郵便番号 (P66) を入力して施設を探すことができます。

⑨ ルート編集 (P73)

設定済みのルートを編集や削除するときに使用します。

⑩ >>

メニュー 2 を表示します。

⑪ MAPCODE (P67)

探している場所のマップコードが分かっている場合に使用します。

⑫ 観光ルート (P69)

観光コースを都道府県ごとに探し、ルートを設定します。

⑬ <<

メニュー 1 を表示します。

AV メニュー

[AV] キーを押して表示する AV メニューについて説明します。



メニュー 2



① **DISC**

本機に挿入された各メディアの再生を行います。
音楽 CD (→ P120)
MP3/WMA/AAC のディスク (→ P127)
DVD ビデオ (→ P132)

② **USB** (P165)

iPod が本機に接続されていれば、
[iPod] *¹ に変わり、タッチすると iPod
画面を表示します。
USB デバイスが本機に接続されれば、
[USB メモリ] *¹ に変わり、タッチすると
USB 画面を表示します。

③ **DTV** *² (P178)

内蔵の地上デジタル TV チューナーを使った地上デジタル TV 放送をご覧になるこ
とができます。

④ **SD/MusicFolder** *¹

MUSIC スロットに挿入された、音楽用
SD カード内の音楽ファイルを再生するこ
とができます。
→ 「SD カードの曲を聞く」 (P143)
また、MUSIC スロットに挿入された、SD
カードに音楽 CD の曲を録音*² し、再生
することができます。→ 「MusicFolder
を聞く」 (P150)

⑤ **Bluetooth Audio**

本機では、ご使用になれません。

⑥ **RADIO** (P115)

ラジオ機能をご利用になれます。

⑦ **交通情報** (P119)

交通情報機能をご利用になれます。

⑧ **Audio OFF** / **Audio ON** (P104)

オーディオ機能の ON/OFF が行えます。

⑨ **»**

メニュー 2 を表示します。

⑩ **AUX** *¹ *³ (P197)

外部入力機器が本機に接続されれば、
外部入力機器の映像を表示します。

⑪ **P.ANT OFF** *⁴

アンテナ電源端子から電源の供給をやめま
す。パワーアンテナ装着車でアンテナを格
納したいとき（車庫入れ時など）にタッチ
するとアンテナを格納します。

P.ANT ON *⁴

“ACC ON” 時にアンテナ電源端子から電
源を供給します。

⑫ **«**

メニュー 1 を表示します。

*¹ 別売の部品または外部入力機器、ケーブルが必要です。

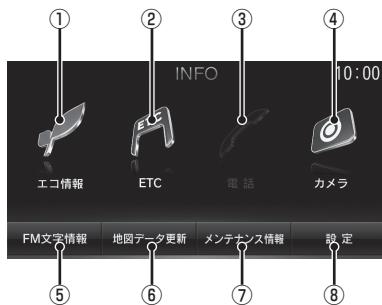
*² 一部の機種は、対応しておりません。

*³ 別売の外部入力ケーブルおよび AUX 機器を本機に接
続していない場合でも [AUX] は表示されますが、タッ
チしても映像を表示できません。

*⁴ 表示するには、あらかじめ [システムの設定] → [パワ
ーアンテナの設定] → [手動] にしておく必要があります。
→ 「パワーアンテナの設定」 (P246)

INFO メニュー

[INFO] キーを押して表示する INFO メニューについて説明します。



① [エコ情報] (P200)

運転操作がどれくらい燃費に良いかの評価を確認することができます。

② [ETC] *¹ (P203)

DSRC 車載器が接続されている場合に ETC を使用した履歴や料金を確認することができます。

③ [電話]

本機では、ご使用になれません。

④ [カメラ] *²*³ (P207)

リアカメラを接続している状態でシフトポジションを「R」にした場合にカメラの映像を表示します。

⑤ [FM 文字情報] (P209)

FM 多重放送による文字情報を確認することができます。

⑥ [地図データ更新] (P214)

地図データを更新することができます。

⑦ [メンテナンス情報] (P216)

お車の各パーツの交換時期を管理することができます。

⑧ [設定] (P222)

本機の各種設定を行えます。

* 1 別売の接続ケーブルおよび DSRC 車載器が必要です。

* 2 別売のリアカメラが必要です。

* 3 リアカメラが接続されてもシフトポジションが「R」に入っていない場合、カメラアイコンはグレー表示となり、タッチすると「カメラが接続されていないため、使用できません」と表示されますが不具合ではありません。

NAVI

ナビゲーション機能に関する操作の説明を行います。

基本操作	31
ナビゲーション機能について	31
ナビゲーションとは	31
GPS (Global Positioning System)	31
マップマッチング	31
GPS アンテナについて	31
地図データについて	31
測位について	31
測位が正確にできない場合	31
誤差について	31
3 次元測位について	32
2 次元測位について	32
非測位について	32
ルートの探索方法について	32
ルートの案内について	33
ナビゲーションを操作するときの注意	33
ナビ画面について	34
地図表示内容について	34
現在地画面	34
スクロール画面	35
各アイコンについて	36
NAVI メニューを表示する	36
地点メニューを表示する	37
サブメニューを表示する	38
現在地画面を表示する	38
地図画面を選択する	39
地図の種類について	39
スタンダード	39
スタンダード 2 画面	39
高速略図	40
PsideP	40
地図の基準向きについて	40
自車基準 (2D)	40
北基準 (2D)	40
3D ビューマップ (3D)	40

案内表示について	41
交差点案内図	41
リアル交差点案内図	41
都市高速入口イラストマップ	41
料金所案内図	41
ETC 料金所案内	41
県境案内	42
レーン案内	42
3D リアルジャンクション	42
カーブ案内	42
合流案内	42
踏切案内	42
レーンアシスト	43
地図を操作する	44
スケールの切り換え	44
市街地地図について	44
地図をスクロールする	45
スクロールの微調整	45
スクロール方面名称表示について	45
地点メニューからの操作	46
目的地に設定する	46
経由地に設定する	46
登録地に設定する	47
周辺の施設を探す	47
レーンアシストを使う	48
ご使用になるには	49
ご利用上の条件	49
車両・走行状態の影響	49
リアカメラの問題	50
明るさ、外乱光や影の影響	50
道路上の白（黄）線や路面の状態 （カスレ、汚れ、隠れ）の影響	50
表示内容について	50
レーンアシスト機能を一時停止する	51
ブザー音について	51
高速道路情報について	52
表示内容について	52
施設の情報について	53
表示するには	53

各エリアの情報を確認する	54	ルートの変更	73
JCT を選択した場合	54	探索条件を変更する	73
目的地の設定	55	経由地がない場合	73
自宅を目的地に設定する	55	経由地がある場合	73
探した場所を目的地に設定する	56	探索条件の種類について	74
場所を探す	57	経由地の設定・変更	74
登録地を呼び出す	57	経由地を設定する	74
検索履歴を利用する	57	経由地を追加する	75
検索履歴を消去する	58	経由地を変更する	75
住所から探す	58	検索方法選択画面について	76
番地を直接入力する	59	経由地を消去する	76
施設名称を入力して探す	59	経由地を並び替える	77
検索結果を絞り込む	60	5つのルートから選ぶ	78
絞り込みを解除する	60	迂回ルートを探索する	78
検索キーワードを変更する	60	サブメニューからの操作	78
施設ジャンルから探す	61	別ルートを探索する	79
検索結果を並び換える	62	サブメニューからの操作	79
検索結果を絞り込む	63	ルートを消去する	79
絞り込みを解除する	63	VICS 規制を回避する	79
駐車場のある施設について	64	スマート IC を回避する	80
文字情報のある施設について	64	長期通行規制を回避する	80
周辺の施設を探す	65		
電話番号から探す	66		
郵便番号から探す	66		
MAPCODE を利用する	67		
探索条件設定画面について	68		
観光ルートを設定する	69		
文字情報を表示する	69		
ルートの確認・変更	70		
ルートの確認	70	登録地の設定	81
次に曲がる交差点を確認する	70	自宅を登録する	81
ルートを確認する	70	登録地を設定する	82
確認方法の種類	70	現在地を登録する	82
全ルートを確認する	71	サブメニューからの操作	82
地図上のアイコン種類	71	探した場所を登録する	82
目的地・経由地の位置を確認する	71	登録地を変更する	84
詳細情報を確認する	72	登録地情報を変更する	84
デモ走行を見る	72	登録地情報画面について	84
終了するには	72	名称	84
		読み仮名	85
		電話	85
		場所	85
		地点マーク	86
		リストの順序を変更する	86
		順序の種類について	86
		登録地を消去する	87
		1件消去する	87
		選択して消去する	87
		全件消去する	88

VICS 機能	89
VICSについて	89
VICSのメディアと特徴	89
FM多重放送	89
DSRC	89
VICS情報のレベル	89
レベル1(文字)	89
レベル2(簡易図形)	89
レベル3(地図)	89
音声情報	90
表示内容について	91
VICSスイッチについて	91
VICSメニューについて	92
VICS記号について	93
VICSセンターへのお問い合わせ	93
(財)VICSセンター	93
交通情報を調べる	94
現在地周辺を調べる	94
スクロール地点周辺を調べる	95
高速道路を調べる	95
文字・図形情報を見る	96
渋滞情報を切り換える	96
VICSによる自動処理	97
緊急情報の割り込み表示	97
再表示するには	97
ルート自動更新	97
図形情報の割り込み表示	97
VICS局を選ぶ	98
自動選局	98
県指定	98
周波数指定	98
DSRC機能	99
DSRCサービスとは	99
DSRCとは	99
DSRCサービスについて	99
音声情報	99
アップリンク機能	99
安全運転支援情報	100

基本操作

ナビゲーション機能について

ナビゲーションとは

ナビゲーションとは、自車の位置を測定して、設定した目的地までのルートを案内するシステムのことです。地図上に表示される自車の位置は、「GPS」と「マップマッチング」という機能で測定されます。

■ GPS(Global Positioning System)

GPS衛星を利用して位置を検出するシステムを「GPS」といいます。このGPS衛星の電波を受信して約30～200mの誤差で自車の位置を測位します。

- ・自車の位置を測位するには、見晴らしのよい場所で2分程度かかります。本機を最初に使用するときや、長時間使用しなかったときは、自車の位置を測位するまでに5分程度かかります。
- ・GPS衛星はアメリカ合衆国の国防総省が管理しており、故意に位置精度を落とすことがあります。このとき、自車の位置が正しく表示されないことがあります。

■ マップマッチング

自車の走行軌跡データと地図データ上の道路形状を比較して、走行中の道を推測して地図に表示する機能を「マップマッチング」といいます。

注意

- ・ナビゲーションで表示される地図や交通規制は地図データ作成時の各種情報に基づいて作成されていますので、実際の道路や交通規制と異なる場合があります。実際の道路や交通規制に従って走行してください。

GPSアンテナについて

自車の位置は、GPS衛星からの微弱な電波を「GPSアンテナ」で受信して測位しています。

アドバイス

GPS衛星からの電波がさえぎられると、自車の位置が正しく表示されないことがありますので以下のことをお守りください。

- ・ウインドウガラスに鏡面タイプやカーボン含有のフィルムを貼らないでください。
- ・GPSアンテナの上や周辺にものを置いたり、ETCアンテナを取り付けたりしないでください。
- ・携帯電話やPHS、パソコンなどをGPSアンテナの近くで使用しないでください。

地図データについて

地図データは誤字・脱字・位置ずれなどある場合があります。

測位について

■ 測位が正確にできない場合

トンネルの中やビル内の駐車場、高層ビルで囲まれているような場所、山や樹木で囲まれているような場所、高速道路や電車の高架下などはGPS衛星から電波を受信できないことがあります。この場合、測位はジャイロセンサーと車速センサーによる自立航法になりますので、正確な自車位置の測位ができないことがあります。

■ 誤差について

GPS衛星から電波を受信できないとき、誤差が生じやすくなり、自車位置が正しく表示されないことがあります。

しばらく走行してGPS衛星から電波を受信できるようになると、現在地のずれは自動的に修正されます。

自車位置が正しく表示されない原因

- ・高速道路と一般道路が近くにあるとき
- ・碁盤目状の道路を走行しているとき
- ・勾配の急な山岳路を走行しているとき
- ・直線路を長い間走行した後、右左折したとき
- ・エンジンスイッチ ON 直後
- ・渋滞中や駐車場などの低速走行しているとき（車種によっては低速走行時に車速信号を出力していないため）
- ・タイヤチェーンを装着して走行しているとき
- ・ターンテーブルなどで旋回したとき
- ・角度が小さい Y 字路を走行しているとき
- ・フェリーなどで車両運搬移動した後
- ・立体駐車場やらせん状の道路を走行しているとき
- ・広い道路で蛇行運転しているとき
- ・応急用タイヤなどに交換したとき
- ・雪道や砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき

■ 3次元測位について

4 個以上の GPS 衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる場合、緯度、経度、標高の 3 次元の位置を計算します。

→ 「自車位置情報を確認する」(P229)

■ 2次元測位について

3 個以上の GPS 衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できる状態で 3 次元測位に至らない場合、標高が前回と変わらないと想定して緯度、経度の 2 次元の位置を計算します。この場合 3 次元測位よりも位置精度は低下します。

→ 「自車位置情報を確認する」(P229)

■ 非測位について

GPS 衛星から位置精度が期待できる有効な電波を受信できない場合非測位となります。

→ 「自車位置情報を確認する」(P229)

ルートの探索方法について

- ・ルート案内で表示されるルートは目的地までの参考ルートであって必ずしも最短ルートではありません。また渋滞情報を考慮したルート案内とはなっていません。
- ・すべての道路がルート案内の対象道路ではありません。
- ・探索条件で有料優先を選択した場合でも、一般道路を通ったほうがよいと判断される場合は、有料道路を通らないルートを表示することがあります。また、自車位置が有料道路上にある場合や目的地が有料道路上にある場合は、一般優先で探索を選択していても、有料道路を通るルートを表示することがあります。
- ・フェリーを使うルートは通常の道路より推奨しにくく設定しています。このためフェリーを使ったほうが早く目的地に到着する場合でも、フェリーを使わないルートを表示することがあります。
- ・有料道路のインターチェンジ、パーキングエリア、サービスエリアを目的地や経由地にする場合は施設検索および高速略図から選択し、地図をスクロールさせずに設定してください。
- ・同じ場所を目的地や経由地に設定した場合でも前回作成したルートと同じにならない場合があります。
- ・通行できない歩道や階段などを含むルートを表示する場合があります。
- ・目的地まで道がない場合や細い道しかない場合は目的地から離れた場所までのルートを表示する場合があります。
- ・道路形状によっては施設に横付けする探索を行うため遠回りのルートを表示する場合があります。
- ・長期通行規制などがあった場合、規制情報を考慮したルートを探索する場合があります。
- ・冬季通行止めなどは一部対応していないものや期間が実際と異なる場合があります。

ルートの案内について

- ルート探索をして自車がルート上のときは目的地または次に通過する経由地までの距離を表示します。
- ルート探索をして自車がルート外のときは目的地や経由地までの距離と到着予想時刻がグレーで表示され、ルートから外れた場所から目的地または経由地までのルートの距離を表示します。
- 目的地への到着予想時刻表示は、地図データに格納されている所要時間データを元に走行情報を学習して算出しています。
- 交差点で曲がるのに交差点名称の案内や音声案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をする場合があります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点などで曲がったときなどに、外れる前のルートに対する音声案内をする場合があります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。

ナビゲーションを操作するときの注意

- ルート案内中は、必ず実際の交通規制に従ってください。交通事故の原因になる恐れがあります。
- ルートは地図カード内の地図データを使って探索します。実際の工事規制や一方通行などの通行規制と異なることがあります。必ず、実際の交通規制に従ってください。
- 時間規制などの交通情報はルート探索した時刻のものが反映されます。運転の際は必ず実際の交通規制に従ってください。
- 自車が移動した距離は、スピードセンサー(タイヤの回転数に比例)で測定しています。新品または規格外のタイヤを装着しているときやタイヤの空気圧が適正でないときは、誤差が生じやすくなり、自車の位置が正しく表示されないことがあります。
- ルートは、目的地周辺までの参考ルートです。最短ルート、渋滞していないルートではありません。
- 走行中は道路の表示量が制限され、表示されない道路があります。(細街路など)
- 目的地までの距離が極端に近い、または遠いときはルートが探索できないことがあります。
- ルートを外れて走行しても、自動的にルートを再探索します。
- 到着予想時刻は、道路状況や運転のしかたによって変化します。
- 走行中は一部操作に制限がかかります。走行中の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。

ナビ画面について

ナビの地図画面や各メニュー画面の表示内容について説明します。

アドバイス

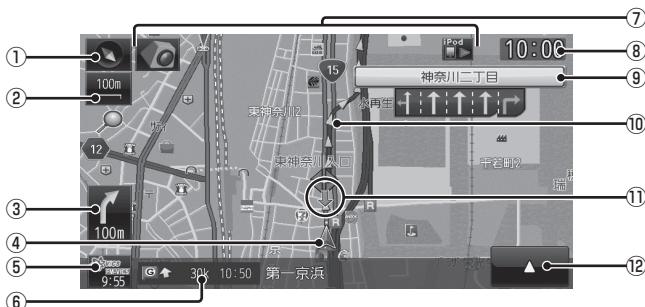
- 各メニューの項目はナビの設定や走行状態により変化し、表示されない項目もあります。
- 本書のナビ画像は説明用に一部ランドマークを非表示にしています。

地図表示内容について

地図画面には現在地画面とスクロール画面 (P35) があります。

■ 現在地画面

[現在地] キーを押したときに表示される現在地画面の表示内容について説明します。



① 方位アイコン

タッチすると、地図切換画面を表示します。
→「地図画面を選択する」(P39)

② スケールアイコン

表示されている地図のスケールを示します。
タッチすると、スケールを変更します。
→「スケールの切り換え」(P44)

③ 交差点案内アイコン

次に曲がる交差点までの距離および曲がる方向を示します。タッチすると、交差点案内図を表示します。
→「次に曲がる交差点を確認する」(P70)

④ 自車位置マーク

矢印が車の位置を示し、矢印の向きが進行方向を示します。

⑤ VICS スイッチ

VICS の提供時刻および提供メディア名を表示します。タッチすると、VICS メニューを表示します。
→「VICS メニューについて」(P92)

⑥ 目的地 / 経由地情報

目的地または経由地の到着予想時刻、方向および距離を示します。自車が経路から外れるとグレーで表示されます。

⑦ 各アイコン

カメラやオーディオの現在の状態を表示します。
→「各アイコンについて」(P36)

⑧ 時計

24 時間制で現在時刻を表示します。

⑨ レーン案内

走行中に前方の交差点にレーン情報が存在すると表示します。

⑩ ルート案内マーク

ガイドされる道路が矢印で表示されます。
[表示の設定] の「探索ルート」で [矢印] または [線] を選ぶことができます。
→「NAVI の設定」(P223)

⑪ 緑色の矢印

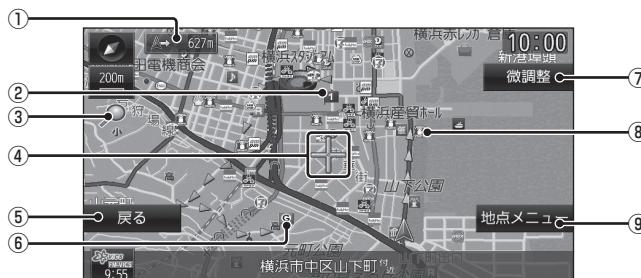
レーン情報を表示している交差点を示しています。

⑫ ▲

サブメニューを表示します。
→「サブメニューを表示する」(P38)

■スクロール画面

地図スクロール(P45)を行ったときに表示するスクロール画面の表示内容について説明します。



① 自車位置までの距離

マークから自車位置までの距離を表示します。

② ① マーク

設定された経由地(P74)を ① マークで表示します。経由地は5つまで設定でき、通過する順に

①, ②, ③, ④, ⑤と表示します。

③ 🔎 マーク

1kmスケール以下の地図を表示中、市街地地図(P44)が表示できる場合に表示します。

④ + マーク

スクロールした場所の中心地点に表示されます。地点メニュー(P37)が表示できるときはオレンジ色、表示できないときは白色で表示します。

⑤ 戻る

1つ前に戻ります。

⑥ ☒ マーク

設定された目的地(P55)を ☒ マークで表示します。

⑦ [微調整]

マーク位置を微調整できます。
→「スクロールの微調整」(P45)

⑧ ランドマーク

商標や観光地などをマークで表示します。

⑨ 地点メニュー

地点メニュー(P37)を表示します。
目的地や経由地、登録地の設定が行えます。

アドバイス

- 道幅の狭い一部の道路(細街路)は走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。

- ⑧ランドマークは[表示の設定]の「ランドマーク」で[表示しない]に設定すると地図画面から表示を消すことができます。
→「NAVIの設定」(P223)

- ⑧ランドマークは種類ごとに表示有無を選択することができます。

→「ランドマークの表示を個別に設定する」(P231)

■ 各アイコンについて

現在地画面 (P34) に表示されるアイコンについて説明します。



* 1

シフトポジションを「R」にすると、リアカメラ映像を表示します。シフトポジションを「R」にしたまま現在地画面に戻ったときのみ を表示します。 にタッチすると、リアカメラ映像を表示します。

AV アイコン

現在使用しているオーディオソースの状態を表示します。タッチするとオーディオ画面に切り換えることができます。詳しくは、「AV アイコンについて」 (P106) をご覧ください。[表示の設定] の「AV アイコン」で表示有無を選ぶことができます。
→ 「NAVI の設定」 (P223)

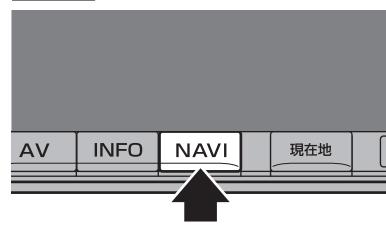
* 1 カメラ接続時のみ表示します。

NAVI メニューを表示する

目的地の設定やルート編集がこのメニュー画面から行えます。

1

NAVI キーを押す



NAVI メニューを表示します。

地点メニューを表示する

スクロール(P45)した+地点を目的地に設定したり登録地に設定したりすることができます。

アドバイス

- 検索結果で表示される地図画面からも[地点メニュー]にタッチすることで、地点メニューを表示することができます。

1 スクロール画面で、 [地点メニュー]にタッチする



地点メニューが表示され、+マークからマーカーに変わります。

ここへ行く	地点を目的地に設定することができます。 →「目的地に設定する」(P46)
ここへ寄る	地点を経由地に設定することができます。 →「経由地に設定する」(P46)
登録する	地点を登録することができます。→「登録地に設定する」(P47)
周辺施設を探す	地点周辺の施設を探すことができます。 →「周辺の施設を探す」(P47)
戻る	1つ前の画面に戻ります。

アドバイス

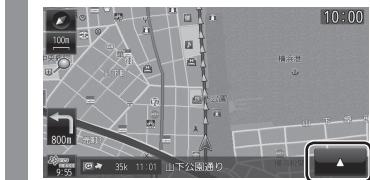
目的地 / 登録地を設定する際、+地点に有料道路や高速道路、トンネルがある場合、どの位置に設定するか選択します。([高速道路] , [有料道路] , [一般道路] または [トンネル] を選択する画面を表示します。)



サブメニューを表示する

ここでは、現在地画面 (P34) から表示するサブメニューの表示方法を説明します。

1 現在地画面で ▲ にタッチする



サブメニューを表示します。

アドバイス

- 本書ではサブメニューを表示するためのタッチスイッチを ▲ と記載しています。
- ▲ が表示されている画面であれば、タッチすることでその機能ごとのサブメニューを表示することができます。

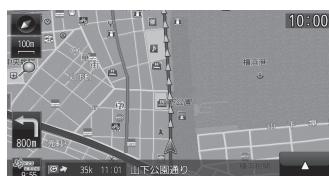
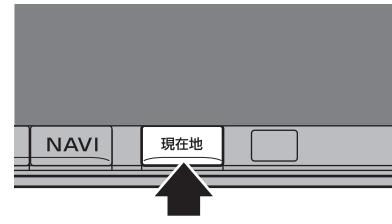
現在地画面を表示する

スクロール画面 (P35) や NAVI メニュー (P36)、地点メニュー (P37) などから現在地画面 (P34) を表示することができます。

アドバイス

- AV 画面や INFO 画面などその他の機能からも現在地画面を表示することができます。

1 現在地 キーを押す



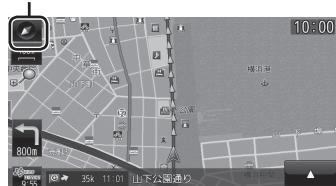
ナビゲーション画面の現在地画面を表示します。

地図画面を選択する

地図の種類や基準向きを切り換えることができます。

1 “方位アイコン”にタッチする

方位アイコン



2 “種類”または“基準向き”的いずれかにタッチする

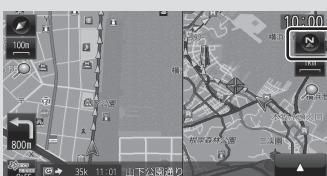
種類



地図の種類または基準向きが切り換わります。

アドバイス

- 地図の種類と基準向きは別々に選択することができます。
- スタンダード2画面の右画面を変更する場合は、右画面側の方位アイコンにタッチします。



但し、右画面に3Dビューマップは表示できません。

地図の種類について

切り換えることのできる地図の種類について説明します。

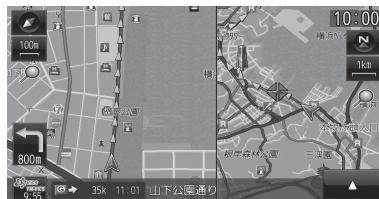
■スタンダード

標準的な地図を1画面に表示します。



■スタンダード2画面

縮尺が違う2つの地図を同時に表示することができます。



アドバイス

- 左画面を3Dビューマップにすることができます。



■ 高速略図

現在地を起点とした高速出入口やサービスエリアの一覧を表示します。



アドバイス

- ・高速略図では、さまざまな情報を確認することができます。
→「高速道路情報について」(P52)
- ・高速略図を選択するには高速道路を走行している必要があります。
- ・1画面(全面)に表示することはできません。
- ・各施設までの距離および情報を調べることができます。

■ PsidEP

地図とオーディオ画面を同時に表示します。



地図の基準向きについて

切り換えることのできる地図の基準向きについて説明します。

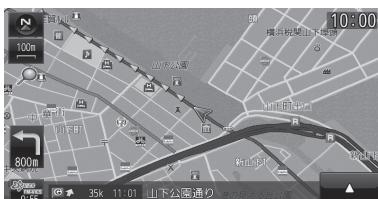
■ 自車基準 (2D)

自車の進行方向を上とした地図を表示します。



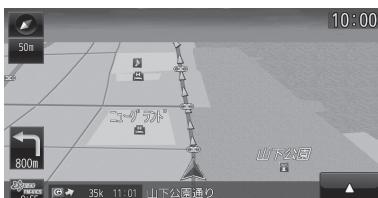
■ 北基準 (2D)

北を上とした地図を表示します。



■ 3D ビューマップ (3D)

上空から見下ろした地図を表示します。



アドバイス

- ・3D ビューマップ表示中、[▲] → [3D 視点] にタッチすると、角度を切り換えることができます。

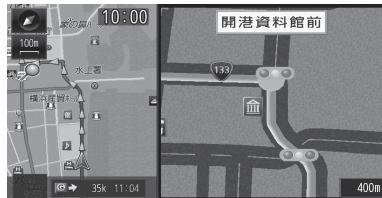
案内表示について

本機では状況に応じて、さまざまな案内を表示します。

交差点案内図

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声と共に表示します。

交差点までの距離や交差点名、方面名称を表示します。



アドバイス

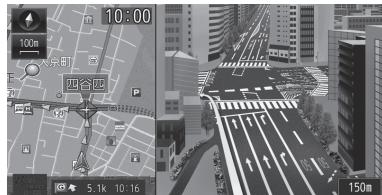
- [表示の設定] の「交差点案内図」で表示を 3D、2D と選ぶことができます。(画面は [2D 表示])
- 手動で表示する場合は、「交差点案内アイコン」にタッチしてください。



交差点案内アイコン

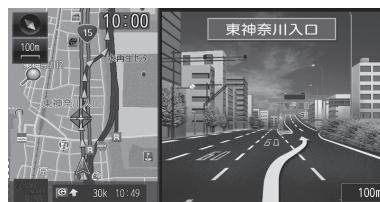
リアル交差点案内図

ルート走行中、案内ポイントに近づいたときに音声と共に表示します。(データがある交差点のみ) 曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離を表示します。



都市高速入口イラストマップ

ルート走行中、都市高速道路に進入する際に表示します。

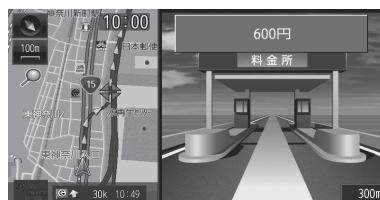


注意

- 自車位置マークは表示されません。
- 同じ入口でも進入方向によっては表示されない場合があります。

料金所案内図

走行中に料金所に近づくと表示します。

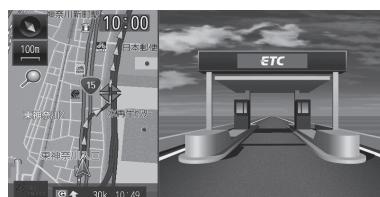


注意

- 自車位置マークは表示されません。
- すべての料金所を案内するわけではありません。
- 各種割り引き料金は計算されません。

■ ETC 料金所案内

別売の接続ケーブルおよび DSRC 車載器を接続している状態であれば、ETC レーンを表示します。



DSRC 車載器については、「DSRC 機能」(P99) をご覧ください。

県境案内

走行中、本機のシステムが県境を越えると判断したとき都道府県名の表示と音声で案内します。

[音声の設定] の「県境案内」で案内有無を選ぶことができます。

→ 「NAVIGATION の設定」(P223)



レーン案内

走行中に前方の交差点にレーン情報が存在すると表示します。

レーン情報



緑色の矢印はレーン情報を表示している交差点を示しています。

アドバイス

- 高速略図表示中は表示されません。
- ルート走行中の場合はおすすめレーンが黄色で表示され、ルートに沿って走行できるレーンは水色で表示します。
- 音声による案内を行うレーンもあります。
- すべてのレーンを案内するわけではありません。
- 実際のレーン状況と異なる場合があります。

3D リアルジャンクション

高速道路の分岐点が近づくと、3D の静止画面で実際の分岐のしかたや行き先、ジャンクション名などをリアルに表示します。



注意

- 自車位置マークは表示されません。
- 実際のジャンクションの形状と異なる場合があります。

カーブ案内

速い速度でカーブを走行しようとすると音声で警告します。

[音声の設定] の「カーブ案内」を [案内する] にしておく必要があります。

→ 「NAVIGATION の設定」(P223)

合流案内

ルート走行中、500m 前方に合流地点が存在する場合、音声で案内します。

[音声の設定] の「探索ルート上の合流案内」を [案内する] にしておく必要があります。

→ 「NAVIGATION の設定」(P223)

踏切案内

ルート走行中、300m 前方に踏切が存在する場合、音声で案内します。

[音声の設定] の「探索ルート上の踏切案内」を [案内する] にしておく必要があります。

→ 「NAVIGATION の設定」(P223)

レーンアシスト

高速略図 (P40) が表示可能な高速道路を走行中、自車がレーンからはみ出す、または、はみ出す危険性がある場合にブザー音と表示で警告します。



レーンアシストの表示

詳しくは、「レーンアシストを使う」(P48) をご覧ください。

お知らせ

- 別売のリアカメラの接続および本機の設定が必要です。
- 意図した車線変更を行った場合でも検知することがあります。

地図を操作する

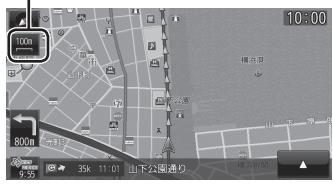
スケールの切り換えや、地図スクロールなどの操作のしかたについて説明します。

スケールの切り替え

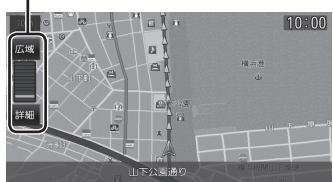
広い範囲や詳しい範囲を見ることができます。

1 “スケールアイコン”にタッチする

スケールアイコン



スケール変更バー



スケール変更バーを表示します。

2 [詳細]にタッチする

タッチするたびに詳細に表示します。

3 [広域]にタッチする

タッチするたびに広域に表示します。

アドバイス

- [詳細]または[広域]を押し続けることで連続的にスケールを切り換えることができます。

■ 市街地地図について

スケールを10/25/50mにするとビルや家の形まではっきりと見える市街地地図を表示することができます。



アドバイス

- 50mスケールには“通常の地図表示”と“市街地地図表示”的2種類があります。
- 地域によっては市街地地図が表示されない場合があります。

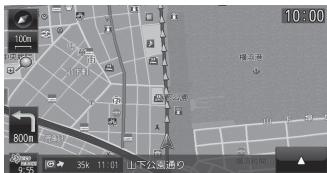
地図をスクロールする

現在地画面から別の場所に移動し、地図を確認したいときに使用します。

アドバイス

- ・スクロール中、地図の一部が表示されなくなる場合がありますが故障ではありません。
- ・スタンダード以外の地図をスクロールすると画面はスタンダードになります。

1 見たい場所にタッチする



+ マークを探している場所に合わせます。

アドバイス

- ・[戻る]にタッチすると現在地画面(P34)に戻ることができます。
- ・押し続けることで連続的にスクロールすることができます。
- ・[地点メニュー]にタッチすると地点メニューを表示し、目的地や経由地、登録地の設定ができます。

→「地点メニューからの操作」(P46)

■ スクロールの微調整

スクロール位置の微調整を行います。

1 スクロール後、[微調整]にタッチする

2 方向にタッチする



数回タッチし、微調整を行います。

3 [微調整切]にタッチする

▼
微調整を終了します。

■ スクロール方面名称表示について

スクロールすると4方向に隣接する行政区域名称を表示します。



表示される名称はスケールによって異なります。

1kmスケール以下	市区町村名
-----------	-------

2~10kmスケール	都道府県名
------------	-------

アドバイス

- ・[表示の設定]の「スクロール方面名称」で表示有無を選ぶことができます。
→「[NAVIの設定]」(P223)

地点メニューからの操作

地点メニューを表示すると目的地や経由地、登録地などの設定が行えます。

目的地に設定する

スクロール画面 (P35) の + 地点を目的地に設定します。

アドバイス

- すでにルートが設定されている場合は、そのルートを消去して + 地点を新しい目的地として設定します。

1 地点メニューを表示する (P37)

2 [ここへ行く] にタッチする



探索条件設定画面 (P68) を表示します。

3 [案内開始] にタッチする



目的地までのルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

経由地に設定する

スクロール画面 (P35) の + 地点を経由地に設定します。

アドバイス

- 目的地を設定している必要があります。

1 地点メニューを表示する (P37)

2 [ここへ寄る] にタッチする



探索条件設定画面 (P68) を表示します。

3 [案内開始] にタッチする



目的地、経由地までのルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

登録地に設定する

スクロール画面 (P35) の + 地点を登録地に設定します。

1 地点メニューを表示する (P37)

2 [登録する] にタッチする



探した場所に マークが表示され、登録地情報画面 (P84) を表示します。

3 [終了] にタッチする

地点の登録が完了します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更することができます。
→「登録地情報を変更する」(P84)

周辺の施設を探す

スクロール画面 (P35) の + 地点周辺の施設を探します。

ここでは、例として + 地点周辺のコンビニを探します。

1 地点メニューを表示する (P37)

2 [周辺施設を探す] にタッチする

3 “ジャンル” の [買物] にタッチする

ジャンル

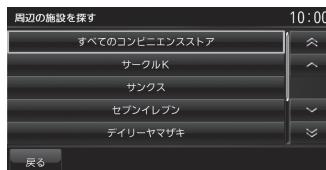


“分類” の [コンビニエンスストア] にタッチする



リストに [詳細] と表示されていない分類を選んだ場合は、手順 6 に進みます。

5 いずれかの “詳細な分類” にタッチする



6 探している “施設” にタッチする



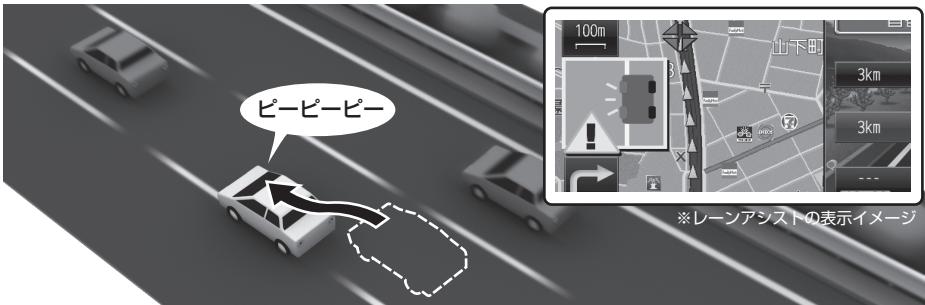
選んだ施設周辺の地図と情報を表示します。

レーンアシストを使う

高速略図 (P40) が表示可能な高速道路を走行中、自車がレーンからはみ出す、またははみ出す危険性がある場合にブザー音と表示で警告します。

⚠ 警告

- レーンアシスト機能は、注意義務を免除または軽減するものではありません。
本機能がない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。



注意

- ガイド線を表示できるカメラを接続していた場合は、カメラ側のガイド線を消してください。カメラ側のガイド線を表示したまま本機能を使用すると正しく動作しません。

お知らせ

- 本機とリアカメラが接続でき、リアカメラの映像を表示できた場合でも三菱電機ホームページで記載されていない指定外のカメラについてはレーンアシスト非対応となります。
- 意図した車線変更を行った場合でも検知することができます。

アドバイス

- 警告は、ブザー音のみまたはブザー音と表示を選ぶことができます。
→ 「レーンアシストの設定」 (P243)

ご使用になるには

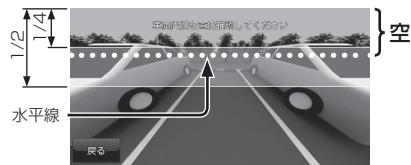
レーンアシスト機能をご使用になるには、別売のリアカメラの接続および以下の操作が必要です。

1 「リアカメラの接続設定」を行う

「リアカメラの接続設定」が [接続あり] になっている必要があります。

→「カメラの接続設定を行う」(P240)

2 別売リアカメラの取付角度を調整する



映像(画面)の中で 1/4 ~ 1/2 の範囲内に空(水平線)が収まるようリアカメラをやや下向きに調整し取り付けてください。

3 「レーンアシストの設定」を行う

「取付カメラ設定」の完了および「レーンアシスト」で [使用する] にしておく必要があります。

→「レーンアシストの設定」(P243)

ご利用上の条件

以下で示す状況下では、正しく動作しない場合や再設定が必要な場合があります。

注意

- ・リアカメラのレンズを汚したり、傷つけたりしないでください。また、水滴や結露がないことをご使用前に確認してください。
- ・リアカメラは取り付けを変更したり、取り外したりしないでください。
リアカメラの取り付けを変更した場合は、設定値を再設定する必要があります。
- ・リアカメラに強い衝撃や力を加えないでください。また、分解しないでください。

■ 車両・走行状態の影響

カメラ高さが変わった

以下の場合は、再設定が必要です。

- ・サイズの異なるタイヤに交換またはサスペンションを交換したことにより車高が著しく変わった。
- ・新しいタイヤに変更した直後。

車両が想定外の姿勢になった

以下の場合は、正しく動作しない場合があります。

- ・重い荷物を積載している。
- ・タイヤの空気圧が調整不良になっている。
- ・キャンピングカーなどを牽引(けんいん)している。
- ・車線規制や工事などによる仮設の車線を走行している。
- ・合流や分岐した道路を走行している。
- ・急カーブを走行している。
- ・急な車線変更を行った。
- ・状態が悪い、縦ぎ目があるなどの道路を走行して車両に大きな上下運動が発生した。
- ・著しく速い速度で走行している。
- ・うねりのある道路や状態の悪い道路を走行している。
- ・凸凹がある路面の走行やジグザグ走行をしている。
- ・リアカメラの光軸がずれている。
- ・マフラーからの煙がリアカメラに入っている。
- ・道路上の白(黄)線が砂ぼこりなどで見えにくくなっている。または、見えない。
- ・雨、雪、霧などで道路上の白(黄)線が見えない。または、見えにくくなっている。

設定(P243)した条件に達していない

以下の場合は、レーンアシスト機能が自動的に OFFになります。

- ・高速道路などで走行車線や追い越し車線以外を走行している。
- ・車両が停止している。または、ゆっくり走行している。

■ リアカメラの問題

以下の場合は、レンズ面の洗浄を行ってください。

- ・リアカメラのレンズ面が汚れている。

■ 明るさ、外乱光や影の影響

以下の場合は、正しく動作しない場合があります。

- ・街灯などの光源がなく暗い道路を夜間走行している。
- ・車両後方が暗い。(ランプ不点、バルブ切れ、汚れ、光学式ナンバーなど)
- ・夜間に後続車が接近している。
または、後続車のヘッドライトが上向きになっている。
- ・降雨時や雨上がりなどで、路面が濡れて光っている。
または、水溜まりがある。
- ・朝日や夕日など太陽の光がリアカメラに入る。
- ・トンネルの出入り口などを走行していて明るさが急激に変化した。
- ・照り返しなどにより明るくなった道路を走行している。

■ 道路上の白（黄）線や路面の状態 (カスレ、汚れ、隠れ) の影響

以下の場合は、正しく動作しない場合があります。

- ・路側物に道路上の白（黄）線と誤認識するような構造物や模様（ガードレール、縁石、反射ポールなど）がある。
- ・帯状に雪が残った雪道を走行している。
- ・道路上の白（黄）線と平行に近い影がある。
- ・道路上の白（黄）線が影の中にある。
- ・道路の修復などのアスファルト修復跡やペイント跡が残っている。
- ・道路上の白（黄）線が検札所や料金所手前などで途切れている。
- ・道路の白（黄）線が片側にのみある。
- ・極端に狭いまたは広い車線を走行している。
- ・道路上の白（黄）線が存在しない。
- ・道路上の白（黄）線周辺に積雪や融雪剤がある。
- ・道路上の白（黄）線を隠す障害物がある。
- ・路面の色や明るさが一様でない。
- ・カスレや汚れにより、はっきり見えない。
- ・コンクリート路のような明るい路面で、道路上の白（黄）線と路面のコントラスト差がない。
- ・キャットツアイやチャンターバー（道路上の白（黄）線に取り付けられた反射板）がある。
- ・路面補修痕、タイヤスリップ痕、道路のジョイントなどがある。
- ・道路上の白（黄）線の寸法や形状が規格外のとき。
- ・自車や他の車両、ガードレール、道路構造物（街路樹など）の影付近や影の中に白（黄）線がある。
- ・注意喚起のため以下のようなレーンにになっているとき。



表示内容について

レーンアシストの表示は、状況に応じて変わります。各状況に応じた状態をあらかじめ理解した上でご使用ください。



レーンアシストの表示

表示内容	状態 / 内容
 動作中	レーンアシスト機能 OFF 検知開始速度 (P243) で設定した速度未満で走行している。
 動作中	レーンキープ中
 動作中	レーン左側にはみ出した、または近づいた
 動作中	レーン右側にはみ出した、または近づいた
 動作中	レーンアシスト機能不能 設定変更後などによる学習中になっている。 路面の積雪、リアカメラレンズの汚れ、逆光などが原因で道路上の白（黄）線が見えない状態になっている。

お知らせ

- ・高速略図 (P40) が表示可能な高速道路を走行していない場合は表示されません。
- ・[レーンアシストの設定] の「警報の種類」が [ブザーのみ] になっていた場合は、表示は行いません。
→ 「レーンアシストの設定」 (P243)

レーンアシスト機能を一時停止する

レーンアシスト機能動作中に一時停止することができます。

1 レーンアシストスイッチにタッチする



レーンアシストスイッチ



レーンアシストスイッチの表示が「動作中」から「停止中」に変わり、一時停止状態となります。再度、動作させるときはもう一度レーンアシストスイッチにタッチします。

ブザー音について

- ・ブザー音はレーンからのはみ出し量に応じて3段階で変化します。（はみ出し量が大きいほどブザー音は大きくなります。）
- ・ブザー音は、レーン右側にはみ出したときは、右前のスピーカーが鳴り、レーン左側にはみ出したときは左前のスピーカーが鳴ります。
- ・ブザー音はレーンからはみ出している間、最長で約10秒間鳴り続けます。
10秒を過ぎてもレーンからはみ出している場合は、ブザー音が鳴り止みますのでご注意ください。

アドバイス

- ・レーンアシスト機能のブザー音の音量は「システム音の設定」(P246)に連動しており、変更することができます。
但し、「システム音の設定」(P246)で「消」にしてもレーンアシストのブザー音は消えません。

高速道路情報について

高速道路を走行すると高速略図を表示します。サービスエリアやパーキングエリアの施設情報、ジャンクションの情報を確認することができます。

アドバイス

本書で使用している高速道路の略語は以下の通りです。

- ・ SA : サービスエリア
- ・ PA : パーキングエリア
- ・ IC : インターチェンジ
- ・ JCT : ジャンクション

表示内容について



① 施設情報

入口情報や到着予想時刻、施設の情報を表示します。

SA,PA の場合

この場所にある施設のマークを表示します。

IC の場合

施設情報は表示しません。

JCT の場合

この場所より分岐している路線を選択することができます。

② スマート IC アイコン

スマート IC がある施設に表示します。

③ 到着予想時刻

施設に到着する予想時刻を表示します。

④ 路線名

現在、高速略図に表示されている高速道路の路線名を表示します。

⑤ 施設名と残り距離表示

SA,PA,IC,JCT の名称と自車位置からの距離を表示します。

降りることのできない IC は色が変わります。
1km 未満は「——」と表示し、最大 999km まで表示します。

⑥ 自車表示

現在地から最も近い施設がリストに表示しているときに表示します。

⑦ VICS 記号表示

IC,JCT などの施設を拠点とした規制は右側に表示します。

各区間にある規制は左側に表示します。

→ 「VICS 記号について」 (P93)

施設の情報について

施設の情報が表示されます。
(最大 20 件表示できます)



アイコン	マークの説明
	ガソリンスタンド (例: JX 日鉱日石エネルギー)
	コンビニエンスストア (例: ファミリーマート)
	レストラン
	スナックコーナー
	ショッピングコーナー
	ドラッグストア
	ハイウェイ情報ターミナル
	サービスエリア・コンシェルジュ
	休憩所
	身障者施設
	温泉 / お風呂
	コインシャワー
	コインランドリー
	洗車
	FAX サービス
	郵便ポスト
	ATM
	トイレ

表示するには

工場出荷時の設定では高速道路を走行すると自動で高速略図を表示するのでこの操作は必要ありません。

アドバイス

- [表示の設定] の「高速略図自動表示」を [自動表示しない] にしていた場合にこの操作を行います。
→ 「NAVI の設定」(P223)
- 高速道路上に自車がない場合、高速略図を表示することはできません。

1 “方位アイコン”にタッチする

方位アイコン



2 高速略図にタッチする



高速略図を表示します。

各エリアの情報を確認する

SA,PA,IC,JCT の各エリアの情報および周辺の地図を確認することができます。

1 ▼または▲にタッチする



高速略図を前に進めたり戻したりできます。また、施設情報を表示します。

アドバイス

- ・自車より後方には戻せません。
- ・▼または▲にタッチすると、SA や PA ごとに進めたり戻したりできます。

2 “確認したい施設”にタッチする



選んだ施設周辺の地図を表示します。

アドバイス

- ・[地点メニュー] にタッチすると地点メニューを表示し、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P46)

■ JCT を選択した場合

1 ▼または▲にタッチし、“JCT”を選ぶ



2 “確認したい路線”にタッチする



選んだ路線の高速略図を表示します。

目的地の設定

自宅を目的地に設定する

あらかじめ登録しておいた自宅 (P81) を目的地に設定します。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 [自宅] にタッチする



探索条件設定画面 (P68) を表示します。

アドバイス

- 自宅を登録していない場合は登録をうながす画面が表示され設定画面を表示します。→「自宅を登録する」(P81)

3 [案内開始] にタッチする



自宅を目的地としたルート探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を [回避する] または [回避しない] をうながすテロップが表示されます。



- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

【探した場所を目的地に設定する】

「場所を探す」(P57) から探した場所を目的地に設定する一連の操作を説明します。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す



→「場所を探す」(P57～P67)

3 探した場所が表示されたら「地点メニュー」にタッチする



アドバイス

- 検索方法の種類によって、施設名や電話番号が表示されない場合があります。

4 「ここへ行く」にタッチする



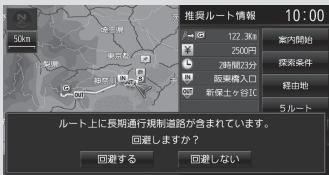
5 案内開始にタッチする



探した場所を目的地としたルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

お知らせ

- 検索したルート中に長期的な規制区間があった場合、回避ルートの探索を [回避する] または [回避しない] をうながすテロップが表示されます。



- 長期的な規制区間の期間は実際と異なる場合があります。

場所を探す

本機では、さまざまな方法で場所を探すことができます。

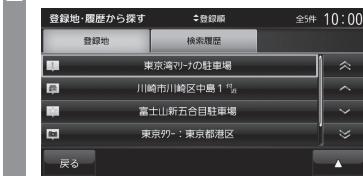
ここで探した場所は、目的地 (P55) や経由地 (P74)、登録地 (P81) を設定するときに使用します。

ここでは、NAVI メニュー (P36) からの検索方法を説明します。

登録地を呼び出す

登録地を呼び出します。

- 1 **NAVI キーを押し、
[登録地 / 履歴] にタッチする**
登録地のリストを表示します。
- 2 **呼び出したい “地点” にタッチする**



呼び出した地点周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- 周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→ 「地点メニューからの操作」 (P46)
- 周辺の地図が表示されているとき、[▲] → [1 件消去] にタッチすると、この登録地を消去することができます。
- 周辺の地図が表示されているとき、[▲] → [詳細情報] にタッチすると登録地情報画面を表示します。
→ 「登録地情報画面について」 (P84)

検索履歴を利用する

検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがある地点や地図スクロール操作から設定した目的地、登録した地点であれば、検索履歴として残り、再度周辺の地図を表示させることができます。

アドバイス

- 過去に検索機能を使用して周辺の地図を表示させたことがない場合はリスト表示されません。
- 検索履歴は新しいものから最大 50 件記録されます。

- 1 **NAVI キーを押し、
[登録地 / 履歴] にタッチする**
- 2 **検索履歴 にタッチする**
- 3 **探している “場所” にタッチする**



選んだ場所周辺の地図と情報を表示します。

■ 検索履歴を消去する

登録されている検索履歴を消去することができます。

1 「検索履歴を利用する」(P57) の手順 2 まで操作する

2 ▽, ▷ で消去したい“場所”にカーソルを合わせる



3 ▲ にタッチする

4 いずれかの“消去方法”にタッチする



1 件消去 現在選ばれている場所を履歴から消去します。

選択消去 複数の場所を選んで[消去]にタッチすると履歴から消去します。

全消去 登録されているすべての履歴を消去します。

5 [消去する] にタッチする

▼
検索履歴の消去が完了します。

住所から探す

住所から場所を探します。

1 NAVI キーを押し、[住所]にタッチする

2 いずれかの“都道府県”にタッチする



3 探している“住所”にタッチしていく



▼
周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- ・[○○主要部]で主要部を表示することもできます。
- ・周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー]にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P46)

■ 番地を直接入力する

番地を直接入力することができます。

1 「住所から探す」(P58) の手順 3 まで操作する

2 番地のリストが表示されたら ▲ にタッチする



3 [数字入力] にタッチする

4 探している “番地” や “号” をタッチして入力する



5 [決定] にタッチする

周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- 主要部を表示することもできます。
- 地図データに収録されている番地情報の整備状況により番地・号を入力しても、その地域の代表地点が表示される場合があります。
- 周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P46)

施設名称を入力して探す

施設の名称を入力し場所を探します。

1 NAVI キーを押し、[施設名称] にタッチする

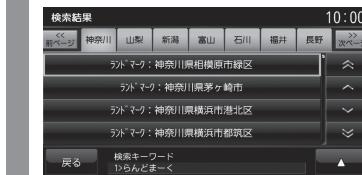
2 探している “施設名称” を入力する



→「施設名称入力用キーボード」(P22)
施設名称はすべて入力しなくとも検索は行えます。

3 [リスト] にタッチする

4 探している “施設” にタッチする



選んだ施設周辺の地図と情報を表示します。

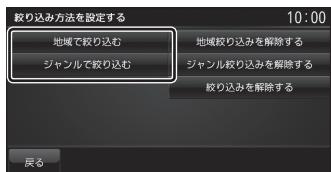
アドバイス

- ▲ にタッチすると、検索結果の絞り込みが行える [絞り込み設定](P60) や検索キーワードの変更が行える [キーワード変更](P60) を選ぶことができます。
- 周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P46)

■ 検索結果を絞り込む

検索結果を更に条件を設定して絞り込むことができます。

- 1 「施設名称を入力して探す」(P59) の手順 3 まで操作する
- 2 ▲ にタッチし、絞り込み設定にタッチする
- 3 いずれかにタッチする



地域で絞り込む	5つの地域まで選択して絞り込むことができます。
ジャンルで絞り込む	5つのジャンルまで選択して絞り込むことができます。

- 4 絞り込みたい“項目”にタッチしていく



- 5 [決定] にタッチする

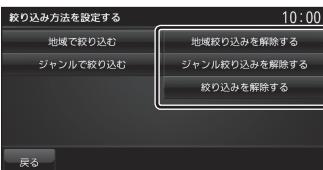
▼
検索結果を表示します。

お知らせ

- [地域で絞り込む]を選択していた場合、検索結果で都道府県を変更すると自動的に[地域で絞り込む]を解除します。

■ 絞り込みを解除する

- 1 「施設名称を入力して探す」(P59) の手順 3 まで操作する
- 2 ▲ にタッチし、絞り込み設定にタッチする
- 3 いずれかにタッチする



○○絞り込みを解除する	選んだ絞り込み条件の設定を解除します。
絞り込みを解除する	すべての絞り込み条件の設定を解除します。

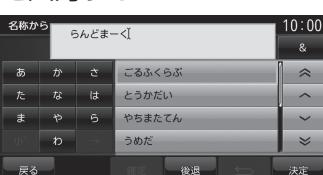
- 4 [解除する] にタッチする

▼
絞り込みの解除が完了します。

■ 検索キーワードを変更する

検索した後、別の検索キーワードに変更して検索しなおすことができます。

- 1 「施設名称を入力して探す」(P59) の手順 3 まで操作する
- 2 ▲ にタッチし、キーワード変更にタッチする
- 3 検索しなおしたい“キーワード”を入力する



→「施設名称入力用キーボード」(P22)

- 4 [決定] にタッチする

▼
検索結果を表示します。

施設ジャンルから探す

ジャンル別に施設を探します。

ここでは、例としてコンビニを探します。

- 1 NAVI キーを押し、
[施設ジャンル] にタッチする

- 2 “ジャンル” の [買物] にタッチする

ジャンル



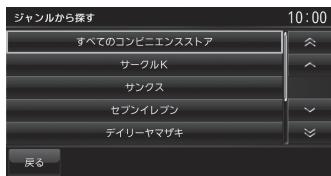
- 3 “分類” の [コンビニエンスストア]
にタッチする

分類



リストに [詳細] と表示されていない分類を選んだ場合は、手順 5 に進みます。

- 4 いずれかの “詳細な分類”
にタッチする



いずれかの “都道府県”

にタッチする



- 5 探している “施設” にタッチする



選んだ施設周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- Pマークのある施設では駐車場周辺の地図を表示します。
→ 「駐車場のある施設について」(P64)
- 周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→ 「地点メニューからの操作」(P46)

■ 検索結果を並び換える

検索結果を並び換えることができます。

1 「施設ジャンルから探す」(P61) の手順 5まで操作する

2 ▲にタッチし、いずれかにタッチする



50 音順	施設を 50 音順に並び替えます。
距離順	施設を距離順に並び替えます。
地域順	施設を地域順に並び替えます。
ジャンル順	<p>詳細 マークのあるジャンルで [すべての○○] を選んだとき、施設をジャンル順に並び換えることができます。但し、施設名称で検索している場合や 詳細 マークのないジャンルでは使用できません。また、 詳細 マークのジャンルでも個別のジャンルを選んだ場合も使用できません。</p>
距離順基準位置	検索結果を [距離順] で並び換えたときの基準を変更することができます。 →「距離順並び換え時の基準位置を変える」(P62)
絞り込み設定	検索結果を更に条件を設定して絞り込むことができます。 →「検索結果を絞り込む」(P63)

距離順並び換える時の基準位置を変える

検索結果を [距離順] で並び換えたときの基準を変更することができます。

アドバイス

- 距離順に並び換えていない場合は選べません。

1 「検索結果を並び換える」(P62) の手順 2で [距離順基準位置] にタッチする

2 いずれかにタッチする



自車位置	自車位置を基準に施設が距離順に表示されます。
地図位置指定	現在地周辺の地図が表示されますので、地図をスクロールし [決定] にタッチします。 その決めた地点を基準に、施設が距離順に表示されます。

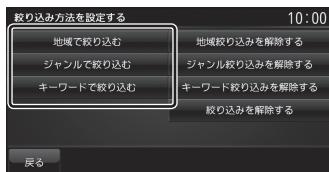
■検索結果を絞り込む

検索結果を更に条件を設定して絞り込むことができます。

1 「施設ジャンルから探す」(P61) の手順5まで操作する

2 ▲にタッチし、絞り込み設定にタッチする

3 いずれかにタッチする



地域で絞り込む 5つの地域まで選択して絞り込むことができます。

ジャンルで絞り込む 5つのジャンルまで選択して絞り込むことができます。

キーワードで絞り込む キーワード3語まで指定して絞り込むことができます。

4 絞り込みみたい“項目”にタッチしていく



5 [決定]にタッチする

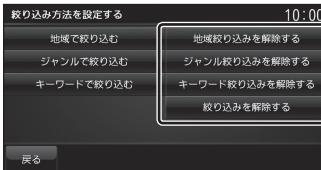
▼
検索結果を表示します。

■絞り込みを解除する

1 「施設ジャンルから探す」(P61) の手順5まで操作する

2 ▲にタッチし、絞り込み設定にタッチする

3 いずれかにタッチする



○○絞り込みを解除する 選んだ絞り込み条件の設定を解除します。

絞り込みを解除する すべての絞り込み条件の設定を解除します。

4 [解除する]にタッチする

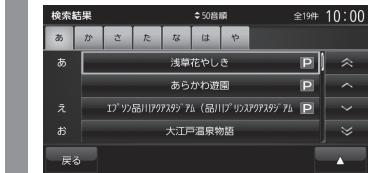
▼
絞り込みの解除が完了します。

■ 駐車場のある施設について

施設を検索する際に、**P**マークのある施設を選択するとその施設の駐車場周辺の地図を表示します。

1 「施設ジャンルから探す」(P61) の手順 6 まで操作する

2 **P**マークの施設にタッチする



選んだ施設の駐車場周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- ▲にタッチし、「次の駐車場」または「前の駐車場」にタッチすることで他の駐車場を探すことができます。(駐車場が1件の場合は選択することはできません。)
- ▲にタッチし、「施設地図」にタッチすると施設周辺の地図が表示され、「駐車場地図」は駐車場周辺の地図を表示します。
- 周辺の地図が表示されているとき、「地点メニュー」にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P46)

■ 文字情報のある施設について

施設を検索する際に、**i**マークのある施設を選択するとその施設に関する文字情報を確認することができます。

1 「施設ジャンルから探す」(P61) の手順 6 まで操作する

2 **i**マークの施設にタッチする



3 ▲にタッチする

4 「文字情報」にタッチする



選んだ施設に関する文字情報を表示します。

周辺の施設を探す

現在地や目的地、ルート周辺の施設を探すことができます。

ここでは、例としてコンビニを探します。

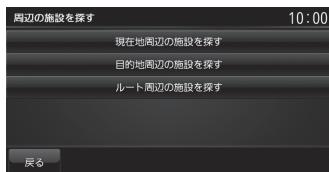
アドバイス

- 目的地を設定している場合は現在地周辺・目的地周辺・ルート周辺の施設（ガソリンスタンドやコンビニなど）を探します。
- 目的地を設定していない場合は現在地周辺の施設を探します。

1 NAVI キーを押し、[周辺検索]にタッチする

目的地を設定していない場合は、手順3に進みます。

2 検索したい“エリア”にタッチする



3 “ジャンル”の[買物]にタッチする

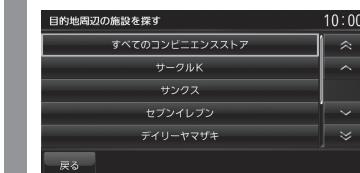


4 “分類”の[コンビニエンスストア]にタッチする



リストに [詳細] と表示されていない分類を選んだ場合は、手順6に進みます。

5 いずれかの“詳細な分類”にタッチする



6 探している“施設”にタッチする



選んだ施設周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- 地図スクロールからの地点メニューでも周辺検索を行うことができます。
→「地点メニューを表示する」(P37)
- 周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー]にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P46)
- 情報に マークがあった場合、 → [文字情報] にタッチすると文字情報を確認することができます。

電話番号から探す

探している場所の電話番号が分かっている場合に使用します。

- 1 NAVI キーを押し、
[電話 / 郵便番号] にタッチする

2 “電話番号” を入力する

→「文字入力のしかた」(P20)



- 3 [決定] にタッチする

該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- ・電話番号は市外局番から入力する必要があります。
- ・個人宅の検索はできません。
- ・タウンページに掲載の電話番号に一致した場合は、その施設周辺の地図を表示します。
- ・市外局番だけ入力した場合や、途中までしか該当する電話番号がなかった場合は、代表地点の 1km スケールの地図を表示します。
- ・周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P46)

郵便番号から探す

探している場所の郵便番号が分かっている場合に使用します。

- 1 NAVI キーを押し、
[電話 / 郵便番号] にタッチする

2 [郵便番号で検索] にタッチする

3 “郵便番号” を入力する



郵便番号をすべて入力すると該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- ・郵便番号は 7 衔すべて入力してください。
- ・該当する地点が複数ある場合は、地点のリストを表示します。探している地点にタッチしてください。



- ・周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→「地点メニューからの操作」(P46)

MAPCODE を利用する

ガイドブックなどで記載されている 1 ~ 12 衞の番号（マップコード）を利用できます。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 ➤ → MAPCODE に タッチする

3 “マップコード” を入力する



4 [決定] にタッチする

該当する周辺地図を表示します。

アドバイス

- “～ * ○○”までのマップコードを入力すると [決定] にタッチする操作は必要ありません。
- 周辺の地図が表示されているとき、[地点メニュー] にタッチすると地点メニューが表示され、目的地や経由地、登録地の設定ができます。
→ 「地点メニューからの操作」(P46)

マップコードとは

特定の場所の位置データをコード化し、1 ~ 12 衛の番号と「*」（アスタリスク）でその場所を特定することができるものです。

従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。マップコードに関することは、下記へお問い合わせください。

株式会社デンソーコミュニケーションズ

電話番号 0566-61-4210

受付時間 10:00 ~ 12:00

13:00 ~ 16:00

（土・日、会社休日を除く）

ホームページ

<http://guide2.e-mapcode.com/>

探索条件設定画面について

目的地にする場所が決まったときに表示される画面です。
この画面でできる操作について説明します。



① ルートの情報

現在探索されているルートの総距離、料金、所要時間を表示します。

② 利用するインターチェンジ

最初に利用する高速道路の入口と出口のインターチェンジを表示します。

③ ルート表示

現在探索されているルートの概略を表示します。

④ 探索条件表示

現在探索されているルートの探索条件を表示します。

⑤ 案内開始

現在探索されているルートの案内を開始します。

⑥ 探索条件

目的地までのルートの探索条件を変更することができます。

→ 「探索条件を変更する」(P73)

⑦ 経由地

経由地の追加や変更が行えます。

→ 「経由地の設定・変更」(P74)

⑧ 5ルート

異なる条件で探索する5つのルートから好みのルートを選ぶことができます。

→ 「5つのルートから選ぶ」(P78)

⑨ 渋滞予測経路^{*1} / 通常経路

[渋滞予測経路]にタッチすると、過去の統計データに基づいて予測した渋滞情報(渋滞や混雑しやすいポイント、時間帯など)を考慮したルートを探索します。
[通常経路]にタッチすると、通常のルートを探索します。

⑩ 省エネ情報

推奨で探索したルートと比べてどのくらい燃費節約ができるかの度合いを確認することができます。

度合い	葉っぱの状態
とても節約できる	
節約できる	
少々節約できる	
節約できない	

お知らせ

- ・ [5ルート] → [省エネ]を選んだときに表示します。
- ・ 標準的なガソリン車を想定しています。
- ・ ルートによっては、推奨とほぼ同じ消費燃費となる場合があります。
- ・ 実際の消費燃費は交通状況など様々な条件で変動することがあります。
そのため、省エネ情報と異なる結果となる場合があります。

*1 渋滞予測経路の元となる道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センター(JARTIC)から提供されています。また、道路交通情報データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター(VICSセンター)の技術が用いられています。

観光ルートを設定する

観光コースを都道府県ごとに探し、ルートを設定します。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

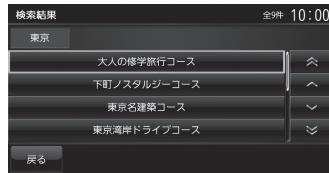
2 » → 観光ルート に タッチする

3 いずれかの “地方” にタッチする

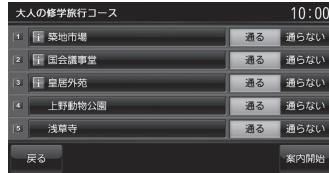


4 いずれかの “都道府県” に タッチする

5 お好みの “コース” にタッチする



6 [案内開始] にタッチする



観光コースのルート案内を開始します。

アドバイス

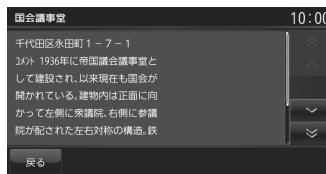
- 個別に通過したくない地点がある場合は、[通らない] にタッチします。
- 地点にタッチすると、周辺の地図を表示することができます。

■ 文字情報を表示する

i が表示されている地点は、地点の住所や電話番号などの情報を見ることができます。

1 「観光ルートを設定する」 (P69) の手順 5 まで操作する

2 見たい地点の i にタッチする



選んだ地点の文字情報を表示します。

ルートの確認・変更

ルートの確認

ルートを設定している場合に、設定したルートについて確認します。

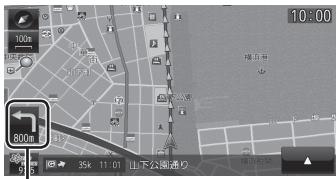
次に曲がる交差点を確認する

走行中のルートで前方に右左折する必要がある交差点がある場合は、前もって音声案内と交差点案内図を表示させることができます。

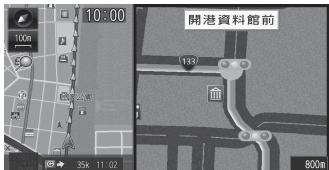
アドバイス

- ルートを走行している必要があります。
- 地図の状態によっては音声のみの案内となります。
- 直進を示すアイコンの場合は、タッチしても案内図を表示しません。

1 現在地画面で“交差点案内アイコン”にタッチする



交差点案内アイコン



次に曲がる交差点の拡大図を表示します。

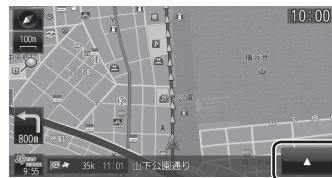
ルートを確認する

確認するルート上をなぞるようにスクロールさせ周辺の地図を確認することができます。

アドバイス

- 地図画面の種類がスタンダードのときのみこの操作が行えます。

1 現在地画面で ▲ にタッチする



2 ルート確認 にタッチする

3 ルートの“確認方法”にタッチする



選んだ確認方法によって地図が切り換わります。

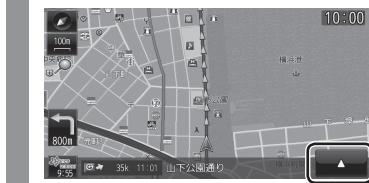
■ 確認方法の種類

▲ 地図	現在地周辺の地図を表示します。
後退	目的地→現在地に向けてスクロールします。
前進	現在地→目的地に向けてスクロールします。
■ 地図	目的地周辺の地図を表示します。
1 地図	経由地周辺の地図を表示します。設定した経由地の数だけ選択することができます。経由地がない場合は表示されません。
一時停止	後退または前進時のスクロールを停止します。
戻る	スクロールが終了します。

全ルートを確認する

現在地から目的地までのルートを画面上で確認できるスケールの地図を表示します。

1 現在地画面で ▲ にタッチする



2 全ルート にタッチする



ルート全体を表示した地図画面を表示します。

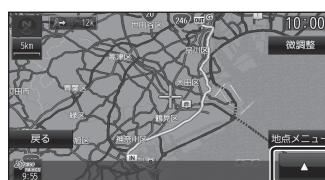
■ 地図上のアイコン種類

	出発地を表します。
	目的地を表します。
	設定された経由地を表します。
	高速道路の入口を表します。
	高速道路の出口を表します。

■ 目的地・経由地の位置を確認する

全ルート表示中に、目的地や経由地の周辺の地図を確認することができます。

1 全ルート表示中、▲ にタッチする



2 目的地 または 経由地 ○ にタッチする



選んだ地点周辺の地図を表示します。

アドバイス

- ・経由地を設定している場合は、[目的地] にタッチした後、[経由地○] を表示します。経由地がない場合は表示されません。
- ・経由地を複数設定している場合、[経由地 1] → [経由地 2] と押すたびに切り換わります。
- ・[戻る] にタッチすると、全ルート表示に戻ります。

■ 詳細情報を確認する

全ルート表示中に、現在地から目的地までの距離や所要時間、料金や使用する高速道路の情報を確認することができます。

お知らせ

- 一部の有料道路では、料金が計算に加わらない場合があります。また、新設された有料道路などの料金は対応しておりません。
- 装着車両に応じて車両区分を設定してください。普通車と軽自動車の料金データを収録しています。「NAVIの設定」(P223)で[探索の設定]の「車種」で変更できます。
- 高速料金の表示は状況(乗り継ぎ経路が異なる場合など)により正しく表示されない場合があります。

1 全ルート表示中、にタッチする



2 詳細情報にタッチする



詳細情報を表示します。

アドバイス

- [戻る]にタッチすると、全ルート表示に戻ります。

デモ走行を見る

作成したルートを仮想的に走行させ確認することができます。

アドバイス

- 実際の走行時において1つ目の経由地を過ぎていた場合はデモ走行を行うことはできません。

1 NAVI キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 ルート編集

ルートのデモを開始する
にタッチする



「デモ中」と表示され、デモ走行を開始します。

■ 終了するには

1 デモ走行中、NAVI キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 ルート編集

ルートのデモを終了する
にタッチする

デモ走行を終了します。

アドバイス

この操作以外にも次のいずれかの条件が満たされるとデモ走行は終了します。

- 実際に走行を開始した。
- 目的地や経由地の位置を変更した。
または、消去した。
- イグニッションキーを“OFF”にした。
- 探索条件を変更した。

ルートの変更

設定したルートは迂回ルートや別ルートを設定することができます。また、ルートの探索方法を変更することができます。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 ルート編集 → ルートを編集するにタッチする



探索条件設定画面 (P68) を表示します。

探索条件を変更する

ルートの探索条件を変更することができます。

■ 経由地がない場合

現在地から目的地までのルートで探索条件を変更することができます。

1 探索条件設定画面で [探索条件] にタッチする

2 設定したい “探索条件” にタッチする



設定した条件の探索が完了し、探索条件設定画面 (P68) を表示します。

■ 経由地がある場合

現在地から目的地までのルート全区間や現在地から経由地、経由地から経由地、経由地から目的地などの区間ごとに探索条件を設定することができます。

1 探索条件設定画面で [探索条件] にタッチする

2 [全区間] または [区間毎] にタッチする

[全区間] を選んだ場合は、手順 4 に進みます。

3 変更したい “区間” にタッチする



4 設定したい “探索条件” にタッチする



手順 2 で [区間毎] を選んだ場合は、手順 3 ~ 4 を繰り返し、すべての区間の条件を設定します。

5 [決定] にタッチする



設定した条件の探索が完了し、探索条件設定画面 (P68) を表示します。

■ 探索条件の種類について

探索条件は以下のの中から選ぶことができます。

推奨	目的地(経由地)まで一般的と思われるルートを探索します。
省エネ	目的地(経由地)までなるべく燃費節約となるルートを探索します。
有料優先	目的地(経由地)の近くまでなるべく有料道路を使用するルートを探索します。
一般優先	目的地(経由地)までなるべく有料道路を使用しないルートを探索します。
距離優先	目的地(経由地)までできるだけ距離が短くなるルートを探索します。

経由地の設定・変更

アドバイス

- 目的地が設定されている状態で操作してください。
- 経由地は、最大5ヶ所まで設定できます。

■ 経由地を設定する

現在、経由地が設定されていない状態での経由地の設定方法を説明します。

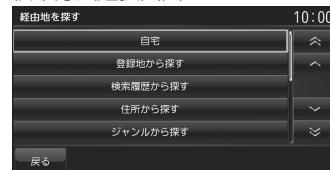
アドバイス

- 地点メニュー(P37)からでも経由地を設定することができます。

1 探索条件設定画面で [経由地] にタッチする

2 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面



→「検索方法選択画面について」(P76)

3 探した場所が表示されたら [決定] にタッチする

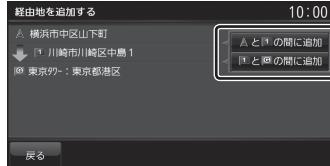


経由地が設定され、探索条件設定画面(P68)を表示します。

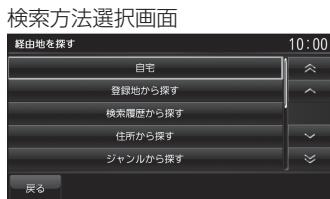
■ 経由地を追加する

すでに1つ以上の経由地が設定されている状態で、経由地の追加方法を説明します。

- 1 探索条件設定画面で [経由地] にタッチする
- 2 [追加] にタッチする
- 3 追加したい“区間”にタッチする



- 4 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す



→「検索方法選択画面について」(P76)

- 5 探した場所が表示されたら [決定] にタッチする



経由地が追加され、探索条件設定画面(P68)を表示します。

■ 経由地を変更する

設定済みの経由地の場所を変更します。

- 1 探索条件設定画面で [経由地] にタッチする
- 2 [変更] にタッチする
- 3 変更したい“経由地”にタッチする



- 4 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面



→「検索方法選択画面について」(P76)

- 5 探した場所が表示されたら [決定] にタッチする



経由地が変更され、探索条件設定画面(P68)を表示します。

■検索方法選択画面について



自宅 ^{※1}	自宅を呼び出します。
登録地から探す ^{※2}	登録地を呼び出します。「登録地を呼び出す」(P57)の手順2以降と同じ操作となります。
検索履歴から探す	検索履歴を利用します。「検索履歴を利用する」(P57)の手順3以降と同じ操作となります。
住所から探す	住所から場所を探します。「住所から探す」(P58)の手順2以降と同じ操作となります。
ジャンルから探す	ジャンル別に施設を探します。「施設ジャンルから探す」(P61)の手順2以降と同じ操作となります。
名称から探す	施設の名称を入力し場所を探します。「施設名称を入力して探す」(P59)の手順2以降と同じ操作となります。
周辺施設から探す	現在地や目的地、ルート周辺の施設を探することができます。「周辺の施設を探す」(P65)の手順2以降と同じ操作となります。
電話番号から探す	探している場所の電話番号が分かっている場合に使用します。「電話番号から探す」(P66)の手順2以降と同じ操作となります。
郵便番号から探す	探している場所の郵便番号が分かっている場合に使用します。「郵便番号から探す」(P66)の手順3以降と同じ操作となります。
マップコードから探す	探している場所のマップコードが分かっている場合に使用します。「MAPCODEを利用する」(P67)の手順2以降と同じ操作となります。
地図から探す	地図スクロール(P45)した地点を設定することができます。

※1 自宅を登録(P81)するとメニューに表示されます。

※2 登録地を設定(P82)するとメニューに表示されます。

■経由地を消去する

設定済みの経由地を消去します。

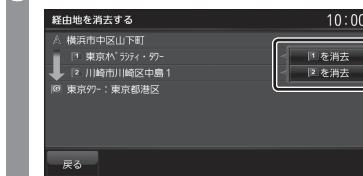
アドバイス

- すでに通過した経由地は消去できません。

1 探索条件設定画面で [経由地] にタッチする

2 [消去] にタッチする

3 消去したい“経由地”にタッチする



4 [消去する] にタッチする

▼
経由地が消去され、探索条件設定画面(P68)を表示します。

サブメニューからの操作

次に通過する予定の経由地を消去することができます。

1 現在地画面で [▲] にタッチする

2 [ルート変更] にタッチする

3 [経由地削除] にタッチする



▼
次に通過する予定の経由地を消去し、ルート探索を開始します。

アドバイス

- すべての経由地を通過すると[経由地削除]はグレー表示となり選択できません。

■ 経由地を並び替える

目的地や経由地の通過順を変更できます。

アドバイス

- すでに通過した経由地は並び替えできません。

1 探索条件設定画面で [経由地] にタッチする

2 [並び替え] にタッチする

3 移動したい “地点” にタッチする



4 移動する “地点” にタッチする



5 [完了] にタッチする



経由地の並び替えが完了し、探索条件設定画面 (P68) を表示します。

経由地を自動で並び替える

経由地間の直線距離合計が短くなる順に自動で並び替えます。

アドバイス

- 目的地やすでに通過した経由地は並び替えできません。

1 「経由地を並び替える」 (P77) の手順 2 まで操作する

2 [自動並び替え] にタッチする

3 [完了] にタッチする



経由地の並び替えが完了し、探索条件設定画面 (P68) を表示します。

5つのルートから選ぶ

5つの探索条件のルートを一度に探し、選ぶことができます。

アドバイス

- 道路の状況により5つのルートすべてを探索できない場合があります。

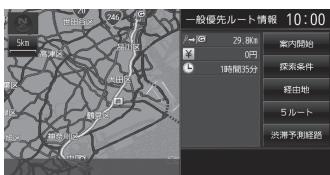
1 探索条件設定画面で [5ルート] にタッチする

2 設定したい“探索条件”にタッチする



→「探索条件の種類について」(P74)

3 [決定] にタッチする



探索条件が変更された探索条件設定画面(P68)を表示します。

迂回ルートを探索する

距離を指定して前方を迂回するルートを探索することができます。

アドバイス

- 現在地から目的地までの距離が1km未満の場合は操作できません。

1 NAVI キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 ルート編集 →

迂回ルートを探索する

にタッチする

3迂回したい“距離”にタッチする



設定した距離を迂回するルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

■ サブメニューからの操作

前方のある一定の距離を迂回するルートを探索することができます。

1 現在地画面で [▲] にタッチする

2 ルート変更 にタッチする

3 迂回ルート にタッチする

前方を迂回するルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

別ルートを探索する

現在のルートとは別のルートを探索します。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 ルート編集 →

別ルートを探索する

にタッチする



別ルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

■ サブメニューからの操作

1 現在地画面で ▲ にタッチする

2 ルート変更 にタッチする

3 別ルート にタッチする



別ルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

ルートを消去する

作成した目的地や経由地を削除し、ルートを消します。

1 NAVI キーを押す

NAVI メニューを表示します。

2 ルート編集 → ルートを消去する

にタッチする

3 消去する にタッチする

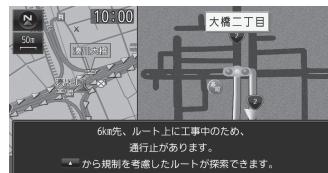


ルートの消去が完了し、現在地画面 (P34) を表示します。

VICS 規制を回避する

前方の VICS 規制（オンライン規制やオフランプ規制、通行止め）を回避するルートを探索することができます。

1 ルート走行中、前方に VICS 規制があると…

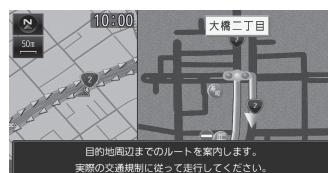


「○○先、ルート上に○○があります。…」のメッセージを表示します。

2 ▲ にタッチする

3 ルート変更 にタッチする

4 VICS 考慮 にタッチする



VICS 規制を考慮したルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

スマート IC を回避する

スマート IC を回避するルートを探索することができます。

お知らせ

- スマート IC を通過するには、ETC 車載器または DSRC 車載器が必要です。

アドバイス

- この機能をご使用いただくにはあらかじめ、[探索の設定] の「スマート IC」を [使う] にしておく必要があります。
永続的にスマート IC を回避したい場合は、[使わない] にしてください。
→ 「NAVI の設定」(P223)

1 スマート IC を通るルートを走行すると・・・



「ルート上にスマート IC があります。・・・」のメッセージを表示します。

2 ▲にタッチする

3 ルート変更にタッチする

4 スマート IC 回避にタッチする



スマート IC を回避したルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

長期通行規制を回避する

長期通行規制を回避するルートを探索することができます。

1 ルート走行中、長期通行規制があると・・・



「ルート上に長期通行規制があります。・・・」のメッセージを表示します。

2 ▲にタッチする

3 ルート変更にタッチする

4 長期通行規制回避にタッチする



長期通行規制を回避したルートの探索が完了し、ルート案内を開始します。

注意

- 長期通行規制を回避する場合は、事前に実際の規制を確認してください。

登録地の設定

自宅を登録する

自宅を登録しておくと、出かけた場所から自宅に帰るルートを簡単に設定できます。

アドバイス

- ・自宅に帰るルートを設定するときは、「**自宅を目的地に設定する**」(P55) をご覧ください。
- ・自宅を消去するときは、「**登録地を消去する**」(P87) をご覧ください。
- ・自宅は1件のみ登録できます。

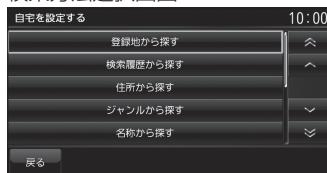
1 NAVI キーを押す

NAVIメニューを表示します。

2 [自宅] にタッチする

3 いすれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す

検索方法選択画面



→「検索方法選択画面について」(P76)

アドバイス

- ・現在地が自宅の場合、[地図から探す] にタッチすると簡単に自宅を登録できます。

4 探した場所が表示されたら [決定] にタッチする



探した場所に マークが表示された自宅の登録地情報 (P84) を表示します。

アドバイス

- ・ここで表示される登録地情報を変更することができます。
「**登録地情報を変更する**」(P84) の手順6以降の操作を行ってください。

5 [終了] にタッチする

自宅の登録が完了します。

登録地を設定する

出かけた場所や行ってみたい場所などを登録地に設定しておくと、ルート設定が簡単に行えます。

アドバイス

- 登録地は最大 99 件まで登録できます。

現在地を登録する

現在地画面から、今いる場所（自車位置）を登録します。

1 現在地画面で [現在地] キーを押し続ける



現在地の登録が完了します。

アドバイス

- 登録地情報の画面は表示されず、名称を空白とした登録地が設定されます。
- 登録地情報の空欄は目的に応じて入力してください。
→「登録地情報を変更する」(P84)

■ サブメニューからの操作

1 現在地画面で [▲] にタッチする



現在地の登録が完了します。

2 [現在地登録] にタッチする

探した場所を登録する

NAVI メニュー (P25) から探した場所を登録地に設定する一連の操作を説明します。

1 NAVI キーを押す

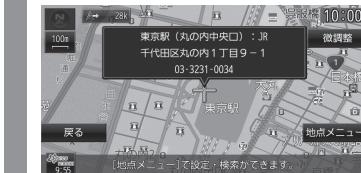
NAVI メニューを表示します。

2 いずれかの“検索方法”にタッチし、場所を探す



→「NAVI メニュー」(P25)

3 探した場所が表示されたら [地点メニュー] にタッチする

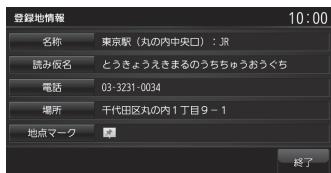


地点メニュー (P37) を表示します。

アドバイス

- 検索方法の種類によって、施設名や電話番号が表示されない場合があります。

4 [登録する] にタッチする



探した場所に マークが表示され、
登録地情報画面 (P84) を表示します。

アドバイス

- ここで表示される登録地情報を変更することができます。
「登録地情報を変更する」(P84) の手順
6 以降の操作を行ってください。

5 [終了] にタッチする

探した場所の登録が完了します。

登録地を変更する

自宅や登録地の変更および消去が行えます。

アドバイス

- あらかじめ場所を登録しておく必要があります。

登録地情報を変更する

自宅や登録地の各情報を変更することができます。

1 NAVI キーを押す

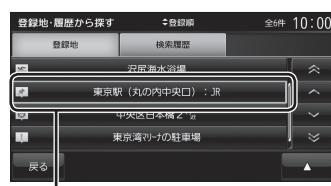
NAVI メニューを表示します。

2 登録地 / 履歴 にタッチする



自宅を変更したい場合でも、[登録地 / 履歴] にタッチします。

3 ▼, ▲ で変更したい“登録地”にカーソルを合わせる



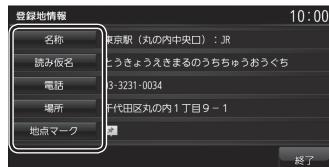
カーソル（オレンジ）

4 ▲にタッチする

5 [詳細情報] にタッチする

6 変更したい“情報”にタッチし、 変更する

登録地情報画面



登録地情報画面について

変更できる登録地情報について説明します。

■ 名称

地図画面で表示される登録地の地点マークの名称を変更することができます。

アドバイス

- 地図上に登録地の名称を表示するには [表示の設定] の「登録地名称」で表示有無を選ぶことができます。
→ 「NAVIの設定」(P223)

1 登録地情報画面で、[名称] にタッチする

2 変更したい“名称”を入力し、 [入力完了] にタッチする



→ 「文字入力のしかた」(P20)

▼
名称の変更が完了しました。

■読み仮名

登録地名称の読み仮名を変更することができます。

- 1** 登録地情報画面で、[読み仮名]にタッチする
- 2** 変更したい“読み仮名”を入力し、[入力完了]にタッチする



→「文字入力のしかた」(P20)

読み仮名の変更が完了します。

■電話

登録地に電話番号を登録しておくことができます。

- 1** 登録地情報画面で、[電話]にタッチする
- 2** “番号”にタッチして電話番号を入力し、[決定]にタッチする



▼電話番号の変更が完了します。

お知らせ

- ・電話番号は24桁まで入力できます。
- ・“-”(ハイフン)は入力できません。

■場所

自宅や登録地の場所を変更することができます。

- 1** 登録地情報画面で、[場所]にタッチする
- 2** 地図をスクロール(P45)し、変更したい“場所”に+マークを合わせる



- 3** [決定]にタッチする

▼場所の変更が完了します。

■ 地点マーク

地図画面に表示される登録地のマークを変更することができます。

アドバイス

- ・自宅の地点マークは変更することができません。

1 登録地情報画面で、**「地点マーク」**にタッチする

2 変更したい“マーク”にタッチする



地点マークの変更が完了します。

アドバイス

- ・地点マークは49種類から選べます。
- ・[マークなし]にタッチすると、地図画面にマークが表示されなくなります。

リストの順序を変更する

登録地のリストの並びを変更することができます。

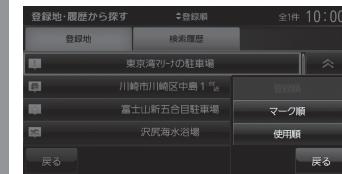
1 「登録地情報を変更する」(P84) の手順2まで操作する

自宅と登録地のリストを表示します。

2 ▲にタッチする

3 並べ替えにタッチする

4 変更したい“順序”にタッチする



選んだ順序にリストが切り替わります。

■ 順序の種類について

登録順	新規登録された順に表示されます。
マーク順	自宅を先頭にして、マーク一覧の左上からの順に並び替えます。
使用順	登録地を使っての検索やルート探索で最近使われたマークの順に並び替えます。

登録地を消去する

設定した登録地を消去します。

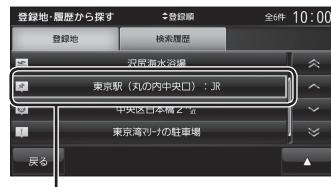
■ 1 件消去する

選んだ登録地を 1 件消去します。

1 「登録地情報を変更する」(P84) の手順 2 まで操作する

自宅と登録地のリストを表示します。

2 □▽, □△で消去したい“登録地”にカーソルを合わせる



カーソル(オレンジ)

3 □▲にタッチする

4 □消去にタッチする

5 □1件消去にタッチする



選んだ登録地周辺の地図を表示します。

6 □消去するにタッチする



選んだ登録地の消去が完了します。

■ 選択して消去する

複数の登録地を選び、消去します。

1 「登録地情報を変更する」(P84) の手順 2 まで操作する

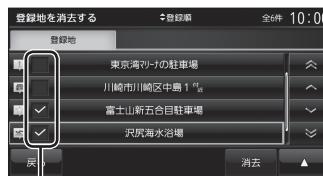
自宅と登録地のリストを表示します。

2 □▲にタッチする

3 □消去にタッチする

4 □選択消去にタッチする

5 消去したいすべての“登録地”にタッチする



消去される登録地のチェックボックスが
✓に変わります。

アドバイス

- ここで □▲にタッチすると、すべてチェックする[全選択]とすべてのチェックを解除する[全解除]が選べます。

6 □消去にタッチする

7 □消去するにタッチする



選んだ登録地の消去が完了します。

■ 全件消去する

リスト内のすべての登録地を消去します。

1 「登録地情報を変更する」(P84)

の手順 2 まで操作する

自宅と登録地のリストを表示します。

2 ▲ にタッチする

3 [消去] にタッチする

4 [全消去] にタッチする

5 [消去する] にタッチする



すべての登録地の消去が完了します。

VICS 機能

VICSについて

VICSセンターに集められた交通情報を利用することができます。

VICSのメディアと特徴

- VICSのメディアには、FM多重放送とDSRCがあります。

お知らせ

- 本章では、各メディアで対応できる機能について、以下のマークで表記します。

マーク	メディア
[FM]	FM 多重放送
[DSRC]	DSRC

■ FM 多重放送

FM放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地のFM放送局から放送されています。

■ DSRC

専用狭域(きょうういき)通信を用い、画像・文字情報に加え音声情報などを提供しています。サービスエリアは限定されますが高速大容量通信が可能なためタイムリーで広範囲の情報を送信しています。DSRC機能については、「DSRC機能」(P99)をご覧ください。

※別売の接続ケーブルおよびDSRC車載器が必要です。

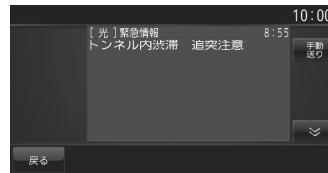
VICS情報のレベル

VICS情報にはレベル1～レベル3までの3種類の表示レベルがあります。

DSRCでは、表示に加えて音声情報が提供されています。

■ レベル1(文字)

文字による交通情報を表示します。



■ レベル2(簡易図形)

簡略化された図形・地図などで交通情報を表示します。



■ レベル3(地図)

地図上に渋滞情報や規制情報などの交通情報を直接表示します。

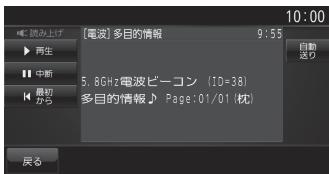


アドバイス

- 50m～1kmスケールのときに表示します。

音声情報

音声情報を受信した場合表示します。



各タッチスイッチのタッチしたときの動作は以下の通りです。

再生	先頭から音声を読み上げます。 一時停止中にタッチすると、一時停止した部分から読み上げます。
中断	音声を一時停止します。
最初から	音声を先頭から読み上げます。
自動送り / 手動送り	1ページ以上の中身がある場合、自動送りまたは手動送りを切り換えます。

表示内容について

地図上に表示される VICS 情報について説明します。



① 駐車場情報

VICS 情報で表示される駐車場情報では、空車または満車などの状況を VICS 記号で確認することができます。

② (VICS スイッチ)

VICS 情報の提供時刻および提供メディア名を表示します。

(受信した時刻ではありません。)

タッチで VICS メニューを表示します。

→ 「VICS メニューについて」(P92)

③ 渋滞情報

渋滞・混雑の状況を線で表示し確認することができます。

④ 規制情報

通行止めや車線規制などの交通規制を VICS 記号で確認することができます。

アドバイス

- 本機の VICS 機能では、VICS 記号を見やすく強調するための機能が用意されています。
一部の地図色を変更し、VICS 記号が強調されます。
- 工場出荷時は [VICS の設定] の「VICS 受信時地図色」が [变えない] に設定されていますので、VICS 記号が見にくい場合は [变える] に設定してください。
→ 「NAVI の設定」(P223)

■ VICS スイッチについて

受信した最新の提供メディア名が表示されます。

9:55	FM 多重放送
9:55	DSRC

■ VICS メニューについて



① 提供時刻

各メディアのVICS情報提供時刻を表示します。

② 駐車場情報

現在地周辺の駐車場情報を確認することができます。

→「現在地周辺を調べる」(P94)

③ 規制情報

現在地周辺の規制情報を確認することができます。

→「現在地周辺を調べる」(P94)

④ FM 多重情報

文字または図形によるVICS情報を確認することができます。

→「文字・図形情報を見る」(P96)

⑤ ビーコン情報

DSRCの安全運転支援情報(P100)から取得した文字または図形によるVICS情報を確認することができます。

→「文字・図形情報を見る」(P96)

⑥ 緊急注意情報

割り込んだ緊急情報を再度表示して確認することができます。

→「緊急情報の割り込み表示」(P97)

⑦ VICS 渋滞情報表示 / 予測渋滞情報表示

地図上にVICS渋滞情報または予測渋滞情報を表示します。

→「渋滞情報を切り換える」(P96)

■ VICS 記号について

地図上に以下のマークで各交通情報を案内します。

駐車場情報

- | | | | |
|--|------------|--|---------|
| | 空車 (青色) | | 満車 (赤色) |
| | 混雑 (オレンジ色) | | 不明 (黒色) |
| | 閉鎖 | | |

渋滞情報

黒色 (実線)	通行止め
赤色 (実線)	一般道路渋滞
赤色 (点線)	高速道路渋滞
橙色 (実線)	一般道路混雑
橙色 (点線)	高速道路混雑
紫色 (実線)	一般道路渋滞 (予測)
紫色 (点線)	高速道路渋滞 (予測)
黄色 (実線)	一般道路混雑 (予測)
黄色 (点線)	高速道路混雑 (予測)

アドバイス

- 通行止めは高速略図 (P40) で表示します。

規制情報

	事故		工事
	路上障害		通行止め
	作業		速度規制 (例 60km)
	進入禁止		車線規制
	徐行		対面通行
	片側交互通行		入口閉鎖
	チェーン規制		冬期通行止め
	入口制限		その他の規制情報
	故障車		

VICS センターへのお問い合わせ

VICS の状況や機能によって問い合わせ先が異なります。問い合わせが必要になったときは、以下の内容を参考にし「三菱電機カーアイントフォーメーションセンター」までご連絡ください。

- VICS 車載器の調子や使用方法
- VICS 車載器の受信可否に関して
- 地図表示 (レベル 3) の内容に関して
- VICS 情報の受信エリアについて
- VICS 情報の内容の概略に関して

以下の内容は、「VICS センター」までご連絡ください。

- 文字表示 (レベル 1) の内容に関して
- 簡易図形表示 (レベル 2) の内容に関して
- VICS の概念
- サービス提供エリアに関して

■ (財)VICS センター

お問い合わせ窓口: サービスサポートセンター

受付番号	0570-00-8831 全国から市内通話料金でご利用になれます PHS、IP 電話などからはご利用できません
電話受付時間	9:30 ~ 17:45 (土曜、日曜、祝日、年末年始休暇を除く)
受付 FAX 番号	03-3562-1719
FAX 受付時間	24 時間
ホームページ アドレス	http://www.vics.or.jp/ VICS の最新情報や FM 多重放送局の周波数の情報などをご覧いただけます。

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの販売店または、別紙に記載の「三菱電機カーアイントフォーメーションセンター」にご連絡いただくことをお勧めします。

交通情報を調べる

VICS を利用することで、さまざまな放送で交通情報を確認することができます。

アドバイス

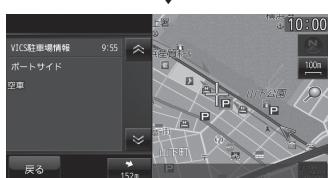
- ・駐車場情報は 200m スケールまでの地図で表示することができます。但し、200m スケールより広域の場合は該当する駐車場マーク 1 件のみを表示します。
- ・規制情報は 1km スケールまでの地図で表示することができます。

FM DSRC

現在地周辺を調べる

現在地周辺の駐車場情報や規制情報を調べます。

- 1 現在地画面で  にタッチする
- 2 駐車場情報 または 規制情報 にタッチする



VICS 記号の枠が点滅するとともに文字情報を表示します。

アドバイス

- ・[駐車場情報] は周辺の駐車場情報が表示され、[規制情報] または [規制 / SA 情報] は周辺の交通規制や道路工事の情報を表示します。

- ・[FM 多重情報] にタッチすると、文字または图形による VICS 情報を確認することができます。
→ 「文字・图形情報を見る」(P96)

3 または にタッチする

4 “位置確認アイコン” にタッチする



選んだ交通情報周辺の地図と情報を表示します。

アドバイス

- ・“位置確認アイコン” は、駐車場情報のときはのみ表示します。規制情報のときは表示しません。

- ・[地点メニュー] にタッチすると地点メニューを表示し、目的地や経由地、登録地の設定ができます。

→ 「地点メニューからの操作」(P46)

[FM] [DSRC]

スクロール地点周辺を調べる

地図をスクロールして、+ 地点周辺の駐車場情報や規制情報を調べることができます。

1 地図をスクロール (P45) し、調べたい地点に + を合わせる



[FM] [DSRC]

2 にタッチする



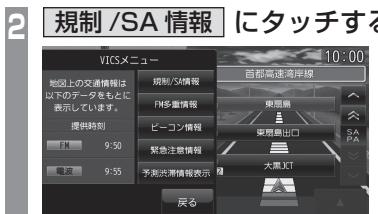
以降の操作は、「現在地周辺を調べる」(P94)の手順 2 以降と同じです。

[FM] [DSRC]

高速道路を調べる

走行中の高速道路（高速略図表示中）の駐車場情報や規制情報を調べることができます。

1 高速略図 (P40) 表示中で [] にタッチする



以降の操作は、「現在地周辺を調べる」(P94)の手順 3 以降と同じです。

アドバイス

- ・高速道路を走行している必要があります。
- ・高速略図の規制情報を探す場合、選択するメニューは [規制情報] ではなく [規制 / SA 情報] になります。
- ・位置確認を行った場合、高速略図中の位置を表示します。
- ・[FM 多重情報] にタッチすると、文字または図形による VICS 情報を確認することができます。
→ 「文字・図形情報を見る」(P96)

[FM] [DSRC]

文字・図形情報を見る

文字または図形による VICS 情報を確認することができます。

お知らせ

- ここでは、現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面 (P45) や高速略図 (P40) からも同じ操作となります。

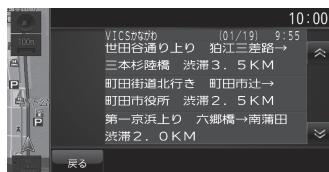
1 現在地画面で [VICS SERVICES 9:55] にタッチする

2 [FM 多重情報] または [ビーコン情報] にタッチする

3 知りたい情報の“番号”にタッチする



4 知りたい情報の“番号”にタッチする



選んだ情報を表示します。

[FM]

渋滞情報を切り換える

渋滞情報を現在の情報または予測情報に切り換えることができます。

1 現在地画面で [VICS SERVICES 9:55] にタッチする

2 [VICS 渋滞情報表示] または [予測渋滞情報表示] にタッチする



アドバイス

- [VICS 渋滞情報表示] または [予測渋滞情報表示] を押すたびに切り换わります。

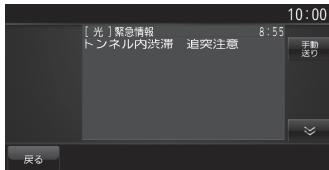
VICSによる自動処理

VICSには、安全で快適な運転をしていただくため、自動で処理される機能があります。

[FM] [DSRC]

緊急情報の割り込み表示

走行中、緊急情報を受信すると、受信音とともに自動的に表示します。



[戻る]にタッチすると元の画面に戻ります。

アドバイス

- 1 ページ以上ある場合、[自動送り]/[手動送り]にタッチすると自動送り、または手動送りに切り換えることができます。
- 表示できる情報が複数ページある場合は[▽]にタッチしてページを送ることができます。

■ 再表示するには

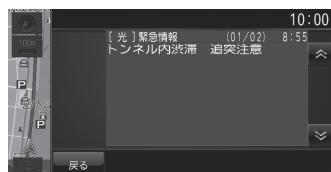
割り込んできた緊急情報を再度表示して、確認することができます。

お知らせ

- ここでは、現在地画面からの操作を説明しますが、スクロール画面(P45)や高速略図(P40)からも同じ操作となります。

1 現在地画面で [] にタッチする

2 緊急注意情報 [] にタッチする



緊急情報を表示します。

[FM] [DSRC]

ルート自動更新

ルート走行中、ルート前方に通行止めやその他の規制が発生した場合、回避するためのルートが自動的に再探索され、新しいルート案内を開始します。



アドバイス

- [探索の設定]の「ルート自動更新」を[自動更新する]に設定しておく必要があります。→「NAVIGATIONの設定」(P223)

[DSRC]

图形情報の割り込み表示

走行中、DSRCの情報を受信すると、受信音とともに图形情報が自動的に表示されます。



[戻る]にタッチすると元の画面に戻ります。

アドバイス

- 操作をしなければ約10秒間で元の画面に戻ります。
- 图形情報を自動で表示させたくない場合は、[VICSの設定]の「受信情報割り込み」を[割込表示しない]に設定してください。→「NAVIGATIONの設定」(P223)

FM

VICS 局を選ぶ

工場出荷時は、自車位置の都道府県の放送局を優先的に選局する〔自動選局〕に設定されていますが、都道府県を指定する方法、周波数を入力して指定する方法を選択することもできます。

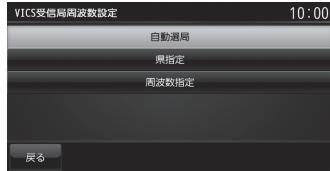
1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 [設定] → [Navi の設定] にタッチする

3 [VICS の設定] にタッチする

4 「VICS 受信局周波数設定」の項目にタッチする



VICS 受信局周波数設定画面を表示します。

自動選局

自車位置の都道府県の VICS 局を優先的に選局します。

1 VICS 受信局周波数設定画面で [自動選局] にタッチする

VICS 局を自動選局に変更します。

県指定

選択した都道府県を VICS 局に指定することができます。

1 VICS 受信局周波数設定画面で [県指定] にタッチする

2 変更したい “都道府県” にタッチする



選んだ都道府県に VICS 局を変更します。

周波数指定

入力した周波数を VICS 局に指定することができます。

1 VICS 受信局周波数設定画面で [周波数指定] にタッチする

2 変更したい “周波数” を入力する



3 [決定] にタッチする

入力した周波数に VICS 局を変更します。

DSRC 機能

DSRC サービスとは

別売の接続ケーブルおよび DSRC 車載器を本機に接続すると、さまざまな機能がご利用になります。

DSRC とは

Dedicated Short Range Communication の略で、専用狭域（きょういき）通信による情報提供や料金決済などのサービスのことです。今後幅広いサービスが提供される予定です。本機に別売の三菱電機製 DSRC 車載器を接続すると、交通情報などの表示や音声情報の案内が行われます。

お知らせ

- ・本機能をご利用いただくには、別売の三菱電機製 DSRC 車載器と ETC カードおよび接続ケーブルが必要です。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- ・ETC カード未挿入や DSRC 車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し、DSRC 車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- ・料金所は名称で表示する場合と番号で表示する場合があります。
- ・本機側で ETC 利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、または ETC マイレージサービスのユーザー登録時に受けのことのできる照会サービスで確認してください。
- ・DSRC 車載器本体の詳細については、DSRC 車載器の取扱説明書をご覧ください。

DSRC サービスについて

今後、さまざまなサービスが始まる予定です。

お知らせ

- ・DSRC サービスは、一部開始されていない場合があります。
- ・本機は情報接続サービス（道の駅における情報接続、SA・PA における情報接続など）には対応していません。

■ 音声情報

音声情報を受信すると音声で読み上げを行います。→「音声情報」(P90)

受信した音声情報を、自動で読み上げないように設定する場合は [VICS の設定] で「受信情報読み上げ」を [手動] に設定します。

→「VICS の設定」(P228)

■ アップリンク機能

走行情報などをサービス事業者に提供し、より充実した道路交通情報や、安全運転支援情報の提供に役立てます。

走行情報を提供しない場合は、[VICS の設定] で「走行情報 (DSRC)」を [送信しない] に設定します。

→「VICS の設定」(P228)

NAVI

DSRC 機能

■ 安全運転支援情報

以下のような情報がリアルタイムに提供されます。

注意

- 安全運転支援情報は参考情報で、実際の交通状況とは異なる場合があります。
必ず実際の交通状況を確認し、安全運転を心がけて走行してください。

お知らせ

- 状況によってはその他の情報が表示される場合があります。

前方の障害物情報



合流支援情報



事故多発地点情報



AV

オーディオ機能に関する操作の説明を行います。

オーディオ機能について	104
基本操作	104
オーディオを ON/OFF する	104
オーディオ機能が ON のとき	104
オーディオ機能が OFF のとき	104
音量を調節する	104
ディスクを挿入する / 取り出す	105
ディスクを挿入する	105
ディスクを取り出す	105
AV アイコンについて	106
ディスクの取り扱いについて	107
取り扱い上のご注意	107
お手入れについて	107
保管上のご注意	107
ディスク再生の環境について	107
著作権について	107
再生できるディスクの種類	108
再生できないディスク	108
CD 規格外ディスクについて	109
DualDisc について	109
DVD ビデオに関して	109
DVD ビデオに 表示されているマークの意味	109
音楽ファイル	
(MP3/WMA/AAC) について	110
フォルダの構成について	111
MP3 とは	112
再生できる	
MP3 ファイルの規格について	112
WMA とは	113
再生できる	
WMA ファイルの規格について	113
AAC とは	114
再生できる	
AAC ファイルの規格について	114
ラジオ / 交通情報	115
ラジオを聴く	115
好みの放送局を登録する	115
表示内容について	116
再生情報画面について	116
サブメニューについて	117
受信状態の良い放送局を探す	117
シークを開始する	117
スキャンを開始する	118
オートセレクトを開始する	118
交通情報を聴く	119
交通情報を OFF にする	119
表示内容について	119
DISC	120
音楽 CD を聴く	120
リストを表示する	120
表示内容について	121
再生情報画面について	121
リストについて	122
サブメニューについて	123
再生モードを変更する	123
再生モードについて	123
タイトル情報を取得する	124
取得できる情報について	124
Gracenote について	124
Gracenote データベースを SD カードで更新する	125
手動で取得する	126
ディスクの音楽ファイルを聴く	127
リストを表示する	127
表示内容について	128
再生情報画面について	128
リストについて	129
サブメニューについて	130
再生モードを変更する	130
再生モードについて	131

DVD ビデオを見る	132	プレイリストを編集する	154
DVD ビデオの操作画面を表示する	133	プレイリストの タイトルを変更する	154
表示内容について	134	プレイリストの 再生順序を変更する	155
再生中の操作画面	134	プレイリストを消去する	156
停止中の操作画面	136	トラックリストを表示する	157
タイトル番号やチャプター番号を選ぶ	137	全曲再生の トラックリストを表示する	157
停止画面からの操作	137	プレイリスト内の トラックリストを表示する	157
音声 / 字幕を切り換える	138	トラックを編集する	158
画面表示を切り換える	138	トラックの情報を編集する	158
アングルを切り換える	139	トラックの再生順序を変更する	158
メニューを操作する	139	トラックを消去する	159
タイトルメニューの場合	139	再生モードを変更する	160
メインメニューの場合	140	再生モードについて	160
数字入力でメニューを選ぶ	140	タイトル情報を取得する	161
視聴制限のある DVD ビデオを再生したとき	141	本体から取得する	161
静止画を送る	141	タイトル候補の選択画面について	161
音声多重を切り換える	142	NoTitle リストを管理する	162
タイトルリストを表示する	142	本機からタイトル情報を取得する	162
SD/MusicFolder	143	パソコンから タイトル情報を取得する	163
SD カードの曲を聴く	143	NoTitle リストから消去する	164
表示内容について	144	MusicFolder 内の曲をすべて消す	164
再生情報画面について	144		
リストについて	145		
サブメニューについて	146		
リストを表示する	146		
再生モードを変更する	147		
再生モードについて	147		
MusicFolder に録音する	148		
MusicFolder への録音について	148		
録音を開始 / 停止する	149		
MusicFolder を聴く	150		
SD-Audio について	150		
表示内容について	151		
再生情報画面について	151		
プレイリスト選択画面	152		
トラックリストについて	153		
プレイリスト選択画面を表示する	154		
		iPod/USB	165
		接続する	165
		iPod を接続する	165
		iPod を外す	165
		USB デバイスを接続する	166
		USB デバイスを外す	166
		iPod を再生する	167
		iPod のビデオを見る	167
		表示内容について	168
		ミュージック 再生情報画面について	168
		ミュージックメニューについて	169
		ビデオ再生情報画面について	169
		ビデオメニューについて	170
		再生モードを変更する	170
		再生モードについて	171

リストで探す	171	好みの放送局を登録する	189
再生情報の画面を表示する	172	ホーム CH スキャンを行う	189
チャプターリストを表示する	172	初期ホーム CH スキャン	189
USB デバイスの曲を聞く	173	再ホーム CH スキャン	189
表示内容について	174	ドライブ CH スキャンを行う	190
再生情報画面について	174	初期ドライブ CH スキャン	190
リストについて	175	再ドライブ CH スキャンを行う	191
サブメニューについて	176	情報を確認する	192
リストを表示する	176	メールを確認する	192
再生モードを変更する	177	IC カードを確認する	192
再生モードについて	177	ソフトウェアバージョンを確認する	193
地上デジタル TV	178	その他の操作	194
テレビ機能について	178	リモコン番号を変更する	194
受信について	178	フルセグとワンセグを切り換える	194
miniB-CAS カードについて	178	自動ワンセグ切り換えるについて	195
miniB-CAS カード		映像や音声を切り換える	196
取扱上の注意点	178		
miniB-CAS カードについての			
お問い合わせ先	178		
miniB-CAS カードを入れる	179		
miniB-CAS カードを抜く	179		
テレビを見る	180		
はじめてテレビを見るとき	180		
放送局を選ぶ	181		
表示内容について	182		
操作パネルについて	182		
ロングバーについて	183		
走行制限の表示について	184		
CH モードを切り換える	184		
番組の内容を見る	185		
記号について	185		
放送局を探す	186		
番組表で探す	186		
現在放送中の番組から探す	186		
番組表を取得するには	186		
番組表の内容を確認する	187		
チャンネルリストから探す	187		
系列局を探す	188		
受信状態の良い放送局を探す	188		
		外部入力機器	197
		AUX を使う	197
		表示するには	197
		画面表示を切り換える	197

オーディオ機能について

基本操作

お知らせ

- 本書のオーディオ機能およびそれに関連する機能で使用している画像について、タイトル情報のアルバム名やタイトル名などは説明用に作成したものです。実際に存在するタイトル情報とは一切関係ありません。

オーディオを ON/OFF する

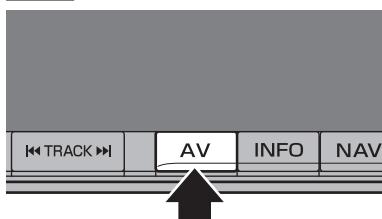
オーディオ機能の ON/OFF が行えます。

アドバイス

- [AV] キーを押し続けることでも、オーディオ機能の ON/OFF を行うことができます。

■ オーディオ機能が ON のとき

1 AV キーを押す



AV メニューを表示します。

2 Audio OFF にタッチする



オーディオ機能が OFF になります。

■ オーディオ機能が OFF のとき

1 AV キーを押す

AV メニューを表示します。

2 [Audio ON] にタッチする

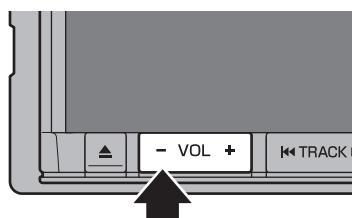


▼
オーディオ機能が ON になります。
直前に使用していたオーディオソースの画面に戻ります。

音量を調節する

オーディオ機能の音量を調節します。

1 オーディオ再生中に -VOL キーを押す



音量が小さくなります。

2 VOL + キーを押す

音量が大きくなります。

■ ディスクを挿入する / 取り出す

本機にディスクを挿入する方法を説明します。

注意

- ・ディスク交換は、駐停車禁止区域以外の安全な場所に停車してから行ってください。
- ・ディスク挿入口に手や指、異物を入れないでください。ケガや発煙、発火の原因になります。
- ・パネル上に物（ジュースなど）を置かないでください。
- ・パネル開閉時に手や指をはさみ込まないよう注意してください。

■ ディスクを挿入する

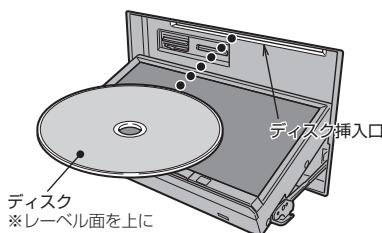
1 ▲ キーを押す

2 モニター OPEN にタッチする



▼
パネルが開きます。

3 ディスク挿入口に、レベル面を上にしてディスクを差し込む



ある程度差し込むと自動的に引き込まれます。

4 ▲ キーを押す

▼
パネルが閉まり再生を開始します。

■ ディスクを取り出す

1 ▲ キーを押す

2 [DISC Eject] にタッチする



▼
パネルが開き、本機からディスクが排出されますので、ディスクを抜き取ってください。

3 ▲ キーを押し、パネルを閉める

[DISC] を選択する前のオーディオソース画面を表示します。

ディスクを強制的に取り出す

通常は、ディスクローディングが正常に完了すれば、「ディスクを取り出す」の方法で挿入されているディスクを取り出すことができますが、万が一ディスクローディングが失敗して、再生情報画面が表示できなかった場合は、次の方法でディスクを強制的に取り出すことができます。

1 電源を入れる際に ▲ キーを押し続ける

▼
本機からディスクが強制的に排出されます。

AV アイコンについて

オーディオ再生中、ナビ画面では以下のように現在再生中のオーディオソースを示すアイコンを表示します。

AVアイコン



アイコン	オーディオソース
	オーディオ OFF 状態
	FM ラジオ
	AM ラジオ
	交通情報
	音楽 CD(CD-DA/CD-TEXT)
	ディスクの音楽ファイル (MP3)
	ディスクの音楽ファイル (WMA)
	ディスクの音楽ファイル (AAC)
	DVD Video
	DVD-VR
	SD カードの音楽ファイル (MP3)
	SD カードの音楽ファイル (WMA)
	SD カードの音楽ファイル (AAC)
	MusicFolder
	iPod
	USB メモリーの音楽ファイル (MP3)
	USB メモリーの音楽ファイル (WMA)
	USB メモリーの音楽ファイル (AAC)
	地上デジタル TV *1
	AUX

*1 一部の機種は、表示しません。

アドバイス

- AV アイコンにタッチすると、現在再生中のオーディオソース画面を表示します。

■ ディスクの取り扱いについて

ディスクの取り扱いについてお守りいただきたいこと、注意していただきたいことを説明します。

■ 取り扱い上のご注意

- ・ディスクの信号面に指紋などの汚れが付着すると、読み取りにくくなることがあります。ディスクを持つときは、信号面を触らないように、両側を挟むように持つか中央の穴と端を挟んで持つようにしてください。
- ・ディスクに紙やシールを貼り付けたり、傷をつけたりしないでください。
- ・すでにディスクが挿入された状態で他のディスクを無理に挿入しないでください。ディスクの傷や故障の原因となります。

■ お手入れについて

- ・ディスクの信号面は定期的にクリーニングしてください。クリーニングする場合はやわらかい布で回転せずに内側から外側へ軽く拭いてください。
- ・新しいディスクにはディスクの外周や中心の穴にバリが残っている場合がありますので確認してください。バリが残っている状態で使用すると誤動作の原因となりますのでバリを取り除いてください。

■ 保管上のご注意

- ・使用しないときは必ずケースに入れ、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- ・長時間使用しない場合は、必ず本機から取り出してください。

■ ディスク再生の環境について

真冬の車内など極度の低温状態でヒーターを入れてすぐご使用になると、ディスクや内部の光学部分に露（水滴）が付き正常に動作しない場合があります。

このような場合は、ディスクを取り出してしばらくお待ちになってからご使用ください。

■ 著作権について

私的使用以外の目的でディスクを無断で複製や放送、公開演奏やレンタルする行為は法律により禁じられています。

再生できるディスクの種類

以下のマークはディスクのレーベル面やパッケージ、ジャケットなどに記載されています。

種類	サイズ	最大再生時間	備考
DVD ビデオ 	12cm/ 片面 12cm/ 両面	133 分 (1 層) / 242 分 (2 層) 266 分 (1 層) / 484 分 (2 層) (MPEG2 方式)	・リージョン番号に「2」を含むもの。または、「ALL」 ・NTSC 方式で記録されたもの
DVD ± R/RW	12cm/ 片面 12cm/ 両面	—	・CPRM/2 層ディスクを含む ・DVD VIDEO/DVD-VR フォーマット規格で記録 されたディスク ・MP3/WMA/AAC ファイルが記録されたディスク
CD-DA 	12cm/ 片面	74 分	—
CD-TEXT 	12cm/ 片面	74 分	・日本語と英語以外の言語には対応しておりません。 また、「Àä」などのウムラウト記号付きの文字は 対応しておりません。
CD ± R/RW 	12cm/ 片面	—	・MP3/WMA/AAC ファイルが記録されたディスク

■ 再生できないディスク

- ・「再生できるディスクの種類」に記載のないディスクの再生は保証いたしかねます。
- ・8cm ディスクは使用できません。
- ・異形のディスク(ハート形など)は故障の原因となるため、使用しないでください。
また、一部が透明なディスクは再生できません。
- ・ファイナライズしていないディスクは再生できません。
- ・レコーダーやPC(パソコン)によって正しいフォーマットで記録したディスクでも、アプリケーションソフトの設定や環境もしくはディスクの特性や傷、汚れ、または本機内部のレンズの汚れ、露などにより、本機で再生できない場合があります。
- ・ディスクによっては、一部機能が使用できない場合や再生できない場合があります。
- ・ヒビの入ったディスクや反ったディスクは使用しないでください。
- ・ディスクにシールを貼っている場合、はがれかかっているもの、のりあとが付着しているものは使用できません。
- ・ディスクに飾り用のラベルやシールを貼ったものは使用できません。

注意

- ・DTS CD(5.1ch Music Disc)は、録音 / 再生できません。本機に挿入してもノイズのみが再生されますので挿入しないでください。

■ CD 規格外ディスクについて

本機では音楽CDをお楽しみいただけますが、CDの規格について以下の点にご注意ください。

- ・ディスクラベル面に  の入ったもののJIS規格に合致したディスクをご使用ください。
- ・CD規格外ディスクを使用された場合には再生の保証をいたしかねます。また再生できた場合であっても音質の保証はいたしかねます。
- ・CD規格外ディスクを再生した場合、次の症状が発生することがあります。
 - 再生時に雑音が混入する。
 - 音飛びする。
 - ディスクを認識しない。
 - 1曲目を再生しない。
 - 頭出しの時間が通常より長い。
 - 曲の途中から再生する。
 - 部分的に再生できない箇所がある。
 - 再生の途中でフリーズする。
 - 誤表示する。

■ DualDiscについて

DualDiscは、片面にDVD規格準拠の映像やオーディオ、もう片面にCD再生機での再生を目的としたオーディオが収録されています。

注意

- ・DualDiscを挿入時や取り出し時に再生面の反対側の面に傷がつく恐れがあります。
- ・DualDiscの仕様や規格などの詳細は、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

■ DVDビデオについて

DVDビデオによっては、一部の機能がご使用になれない場合や再生できない場合があります。

■ DVDビデオに表示されているマークの意味

DVDビデオディスクのラベル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または言語のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
	音声言語の数
	字幕言語の数
	アングルの数
	画面サイズ(アスペクト比:横と縦の比率)の種別
 	再生可能な地域を限定する番号。 本機で再生可能なリージョン番号(地域番号)は、「2」を含んだもの、または「ALL」です。
NTSC	日本で対応している映像方式です。この方式以外は再生できません。

音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) について

本機では CD-ROM や CD-R/RW、DVD 土 R/RW、USB デバイス、SD カード^{*1}に記録された MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイルを再生することができます。

^{*1} MUSIC スロットに挿入した SD カード

使用できるファイルやメディアについては制限がありますので MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイルをディスクに書き込む前に以下の内容をよくお読みください。

また、お手持ちの CD-R/RW ドライブや DVD 土 R/RW ドライブ、ライティングソフトの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。

MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイル内にタイトル情報などのデータが記録されている場合は、ディスプレイに表示できます。

注意

- 音楽 CD から書き込んだ（コピーした）ディスクやファイルを無償・有償にかかわらず他人に配るなどの行為、インターネットなどのサーバーへアップロードする行為は違法ですので決して行わないでください。
- MP3/WMA/AAC 形式以外のファイルに拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」「.aac」を付けないでください。そのようなファイルが書き込まれたディスクを再生すると誤認識して再生する可能性がある為、大きな雑音がでてスピーカーの破損や思わぬ事故につながる恐れがあります。

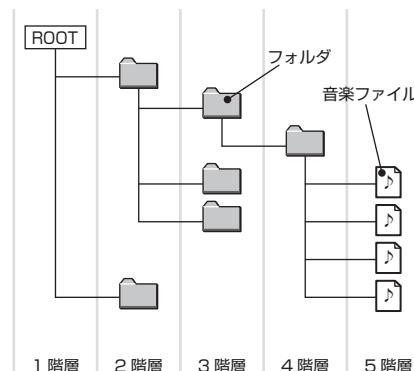
アドバイス

- ディスク書き込みに使用したレコーダーやレコーディングソフトの状態によっては正しく再生できない場合があります。その場合はご使用になった機器・ソフトの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンの OS の種類やバージョン、ソフト、設定によって拡張子が付かない場合があります。その場合はファイルの最後に拡張子「.mp3」「.wma」「.m4a」「.aac」を付けてからディスクに書き込んでください。
- 2GB を超えるサイズのファイルは再生することができません。
- MP3/WMA/AAC 形式の音楽ファイルが混在したディスクも再生することができます。

フォルダの構成について

フォルダは8階層まで認識することができます。

ジャンル→アーティスト→アルバム→トラック (MP3/WMA/AAC形式の音楽ファイル) といった階層を作成して曲を管理することができます。



名称	規格	説明	
フォーマット仕様	ISO9660	レベル1	最大8文字のファイル名と3文字の拡張子を持つ。 (半角英大文字と半角数字、"_"が使用可能)
	ISO9660 拡張	Joliet	最大64文字までをファイル名として使用可能である。
マルチセッション	非対応(先頭のセッションのみ対象)		
最大階層数	8階層(Rootを1階層目とした場合)		
最大フォルダ数	300 フォルダ(Rootを含む)		
最大ファイル数 ^{※1}	3000 ファイル(メディア内合計数。MP3、WMA、AACファイル以外は含まず)		
ファイル名、 フォルダ名の制限	上限128バイト(Unicode対応のため64文字となる)とし、上限を超えるファイル名、フォルダ名を持つファイルやフォルダは表示および再生の対象外。		
USB、SDカードの 対応フォーマット	推奨ファイルシステムは、FAT32です。 1パーティションのみ SDカードの対応容量は、最大32GB(SDHC規格対応)です。 SDカードの推奨クラスは、Class10以上です。		

※1 MP3/WMA/AACファイル以外は含みます。但し、同じフォルダに多数の楽曲を格納している場合は最大曲数以下の場合でも認識しない場合があります。その場合は複数のフォルダに分けて格納してください。

お知らせ

- 本機で表示されるフォルダおよび音楽ファイルの順番はPCで表示される順番と異なる場合があります。

MP3 とは

MP3 とは「MPEG-1 AudioLayer3」の略称。MPEG とは「Motion Picture Experts Group」の略称でビデオ CD などに採用されている映像圧縮規格です。

MP3 は MPEG の音声に関する規格に含まれる音声圧縮方式の 1 つで、人間の耳で聞こえない範囲の音や大きい音に埋もれて聞き取れない音を処理することにより、高音質で小さなデータ容量のファイルを作ることができます。

音楽 CD の音質をほとんど損なうことなく約 1/10 のデータ容量に圧縮することができる為、約 10 枚分の音楽 CD を 1 枚の CD-R/RW へ書き込むことが可能になります。

■ 再生できる MP3 ファイルの規格について

再生できる MP3 ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	MPEG-1 AUDIO LAYER3
	MPEG-2 AUDIO LAYER3
サンプリング周波数 [kHz]	MPEG-1 : 32/44.1/48
	MPEG-2 : 16/22.05/24
ビットレート [kbps]	MPEG-1 : 32 ~ 320
	MPEG-2 : 32 ~ 160
VBR(可変ビットレート)	対応
チャンネルモード	ステレオ / ジョイントステレオ / デュアルチャンネル / モノラル
拡張子	mp3
対応タグ情報	ID3 タグ Ver.1.0.、Ver.1.1.、Ver.2.2.、Ver.2.3.、Ver.2.4 (ISO-8859-1、UTF-16(Unicode)) タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル
ソースプレートに表示できる 最大文字数	ファイル名 半角 18 文字(全角 9 文字) フォルダ名 半角 41 文字(全角 20 文字)
リストに表示できる最大文字数	プレイリスト名 : 半角 46 文字(全角 23 文字) タイトル名 : 半角 34 文字(全角 17 文字)
	フォルダリスト表示時 半角 48 文字(全角 24 文字) ※ 第 2 階層(Root を第 1 階層とする)において。 ※ 階層の表示により、表示文字数は変化します。 1 階層下がるごとに半角 2 文字(全角 1 文字) 減少します。
	トラックリスト表示時 ファイル名: 半角 49 文字(全角 24 文字)

注意

- 上記規格以外で書き込まれた MP3 ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

WMA とは

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、Microsoft 社の音声圧縮フォーマットです。MP3 よりも高い圧縮率で音声データを圧縮する方式です。

※ Microsoft、Windows Media、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

注意

- WMA は著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、本オーディオシステムでは著作権で保護された WMA ファイルを再生することはできません。

■ 再生できる WMA ファイルの規格について

再生できる WMA ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容
規格	Windows Media Audio Version7.0
サンプリング周波数 [kHz]	16/22.05/32/44.1/48
ビットレート [kbps]	32 ~ 192
VBR(可変ビットレート)	対応
チャンネルモード	ステレオ / モノラル
拡張子	wma
対応タグ情報	WMA タグ タイトル名、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル
ソースプレートに表示できる 最大文字数	ファイル名 半角 18 文字 (全角 9 文字) フォルダ名 半角 41 文字 (全角 20 文字)
リストに表示できる最大文字数	プレイリスト名 : 半角 46 文字 (全角 23 文字) タイトル名 : 半角 34 文字 (全角 17 文字)
	フォルダリスト表示時 半角 48 文字 (全角 24 文字) ※ 第 2 階層(Root を第 1 階層とする)において。 ※ 階層の表示により、表示文字数は変化します。 1 階層下がるごとに半角 2 文字 (全角 1 文字) 減少します。
	トラックリスト表示時 ファイル名: 半角 49 文字 (全角 24 文字)

注意

- 上記規格以外で書き込まれた WMA ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。
- 「Pro」「Lossless」「Voice」には対応しておりません。

AAC とは

AAC とは Advanced Audio Coding の略称で、映像の圧縮規格「MPEG-2」や「MPEG-4」で使われている音声圧縮方式です。MP3 よりも約 1.4 倍圧縮効率が高く、音質はほぼ同じです。

注意

- AAC は著作権保護機能 (DRM) をサポートしており、本オーディオシステムでは著作権で保護された AAC ファイルを再生することはできません。

■ 再生できる AAC ファイルの規格について

再生できる AAC ファイルの仕様は以下のとおりです。

項目	内容	
規格	Advanced Audio Coding MPEG4/AAC-LC MPEG2/AAC-LC	
サンプリング周波数 [kHz]	MPEG4	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/64/88.2/96kHz
	MPEG2	8/11.025/12/16/22.05/24/32/44.1/48/64/88.2/96kHz
ビットレート [kbps]	MPEG4	16 ~ 576Kbps
	MPEG2	16 ~ 576Kbps
VBR(可変ビットレート)	対応	
チャンネルモード	ステレオ / モノラル	
拡張子	m4a および aac	
対応タグ情報	AAC タグまたは ID3 タグ タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャケット写真、ジャンル	
ソースプレートに表示できる最大文字数	ファイル名 半角 18 文字 (全角 9 文字) フォルダ名 半角 41 文字 (全角 20 文字)	
リストに表示できる最大文字数	プレイリスト名 : 半角 46 文字 (全角 23 文字) タイトル名 : 半角 34 文字 (全角 17 文字)	フォルダリスト表示時 半角 48 文字 (全角 24 文字) ※ 第 2 階層 (Root を第 1 階層とする) において。 ※ 階層の表示により、表示文字数は変化します。 1 階層下がるごとに半角 2 文字 (全角 1 文字) 減少します。
	トラックリスト表示時 ファイル名: 半角 49 文字 (全角 24 文字)	

注意

- 上記規格以外で書き込まれた AAC ファイルは正常に再生できない場合やファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

ラジオ / 交通情報

ラジオを聴く

FM放送やAM放送のラジオの聴きかたについて説明します。

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 [RADIO] にタッチする

ラジオの再生情報画面を表示します。

3 聴きたい“放送の種類”にタッチする



4 ▼ TUNE ▲ にタッチして選局する



▼
選局した周波数の音声が流れます。

好みの放送局を登録する

お好みの放送局をFM1に6局、FM2に6局、AMに6局まで記憶することができます。

1 ラジオ再生情報画面で

▼ TUNE ▲ にタッチし、
登録したい“放送局”を探す

2 登録したい“プリセットスイッチ” に「ピッ！」と鳴るまでタッチする



プリセットスイッチ

▼
タッチしたプリセットCH番号のスイッチに選局した放送局を登録します。

AV

ラジオ / 交通情報

■再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名、プリセットCH番号、受信中の周波数を表示します。

② [FM1], [FM2], [AM]

FM放送、AM放送を切り換えるときに使用します。

それぞれ各6局までお好みの放送局を登録することができます。

③ プリセットスイッチ

お好みの放送局を登録することができます。
希望のプリセットCH番号のスイッチを
「ピッ！」と鳴るまでタッチし続けると、現在
受信中の放送局を登録することができます。
→「好みの放送局を登録する」(P115)

④ [▼ TUNE ▲]

周波数を変更するときに使用します。

⑤ [▲]

タッチすると、サブメニューを表示します。
→「サブメニューについて」(P117)
[スキャン]、[オートセレクト]が選べます。

■ サブメニューについて

ラジオの再生情報画面で ▲ にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。



スキャン (スキャン解除)	受信できる放送局をまとめて探します。放送局を受信すると10秒間だけ音声を流し次の放送局を探します。 →「スキャンを開始する」(P118) また、スキャンをやめるときは再度サブメニューを表示し、[スキャン解除]にタッチします。 →「スキャンを解除する」(P118)
オートセレクト	受信できる放送局を探し、受信できた放送局は自動的にプリセットスイッチに登録します。→「オートセレクトを開始する」(P118)
オートセレクト 解除	オートセレクトをやめるときに使用します。 →「オートセレクトを解除する」(P118)
戻る	サブメニューを閉じます。

受信状態の良い放送局を探す

旅行先など受信周波数の異なる地域に移動したときに受信できる放送局を探す場合に便利です。

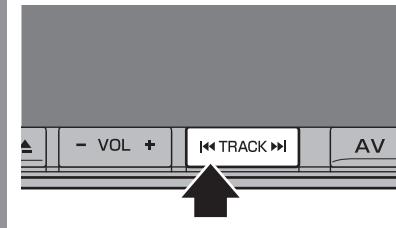
ここでは、ラジオの再生情報画面からの操作方法を説明します。

■ シークを開始する

受信できる放送局を1つずつ探しします。

1 ラジオの再生情報画面で「ピッ！」

と鳴るまで **[◀TRACK▶]** キーを押し続ける



受信できる放送局が見つかると、音声が流れます。

■ スキャンを開始する

受信できる放送局をまとめて探しします。

1 ラジオの再生情報画面で

▲にタッチする

サブメニューを表示します。

2 [スキャン]にタッチする



スキャン中の表示



放送局を受信すると 10 秒間だけ音声を流し
次の放送局を探します。

スキャンを解除する

1 スキャン中に ▲にタッチする

再び、サブメニューを表示します。

2 [スキャン解除]にタッチする



スキャンを解除します。

■ オートセレクトを開始する

受信できる放送局を探し、受信できた放送局は自動的にプリセットスイッチに登録します。

アドバイス

- 滞在する地域の放送局を一時的に登録するためあります。

(FM1、FM2 の各 6 局と AM の 6 局)

- オートセレクトを解除すれば、元の状態に戻ります。

1 ラジオの再生情報画面で

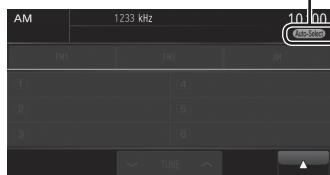
▲にタッチする

サブメニューを表示します。

2 [オートセレクト]にタッチする



オートセレクト中の表示



受信できる放送局を探し始めます。

受信できた放送局は自動的にプリセットスイッチに登録します。

オートセレクト終了後は一番受信状態がよかつた CH を選択します。

オートセレクトを解除する

オートセレクトを解除すると、登録したプリセットスイッチは元の状態に戻ります。

1 オートセレクト中に ▲にタッチする

再び、サブメニューを表示します。

2 [オートセレクト解除]にタッチする



オートセレクトを解除します。

プリセットスイッチが元の状態に戻ります。

交通情報を聞く

交通情報の聞きかたについて説明します。

1 AV キーを押す

AV メニューを表示します。

2 [交通情報] にタッチする

交通情報の再生情報画面を表示します。

3 聴きたい“周波数”にタッチする



選んだ周波数の交通情報が流れます。

交通情報を OFF にする

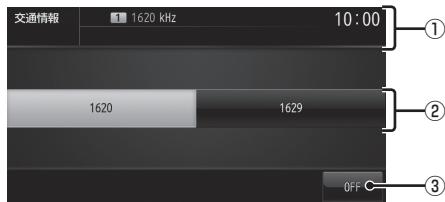
1 交通情報の再生情報画面で [OFF] にタッチする

交通情報を終了し、交通情報を聞く前のオーディオソースの再生を再開します。

アドバイス

- 交通情報を聞く前がオーディオ OFF だった場合は、オーディオ OFF となります。

表示内容について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名、受信中の周波数を表示します。

② [1620], [1629]

交通情報の周波数、1620kHz もしくは 1629kHz を選ぶときにタッチします。

③ [OFF]

タッチすると、交通情報を終了し、交通情報を聞く前のオーディオソースの再生を再開します。

音楽 CD を聴く

音楽 CD(CD-DA/CD-TEXT) の聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。

→「ディスクを挿入する」(P105)

また、工場出荷時の設定であれば本機に音楽 CD 挿入後、[開始する] にタッチすることで MusicFolder への録音を開始します。

→「音楽 CD の録音方法を変更する」(P232)

お知らせ

- 一部の機種は、MusicFolder の録音機能に対応しておりません。
- 音楽 CD を本機に挿入した状態で操作してください。

1 AV キーを押す

AV メニューを表示します。

2 [DISC] にタッチする

音楽 CD の再生情報画面を表示します。

3 [◀◀TRACK▶▶] キーを押して曲を選ぶ

選んだ曲を再生します。

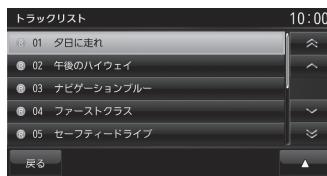
アドバイス

- [◀◀TRACK] キーまたは [TRACK▶▶] キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

リストを表示する

トラックリストを表示することができます。ここでは、音楽 CD の再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽 CD の再生情報画面で [TRACKLIST] にタッチする



トラックリストを表示します。

2 [戻る] にタッチする

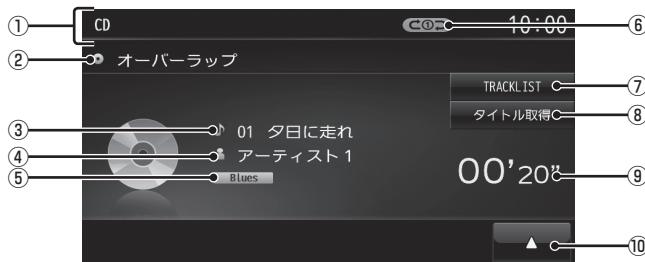
音楽 CD の再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [▲] や [▼] や [↑] や [↓] にタッチしてトラックを選ぶことができます。

表示内容について

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② アルバム名

タイトル情報があればアルバム名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

③ トラック番号 / 曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。

④ アーティスト名

タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。
→「再生モードを変更する」(P123)

: リピート再生中

: スキャン再生中

: ランダム再生中

⑦ TRACKLIST

トラックリストを表示します。

→「リストを表示する」(P120)

⑧ タイトル取得

タイトル情報を取得します。

→「タイトル情報を取得する」(P124)

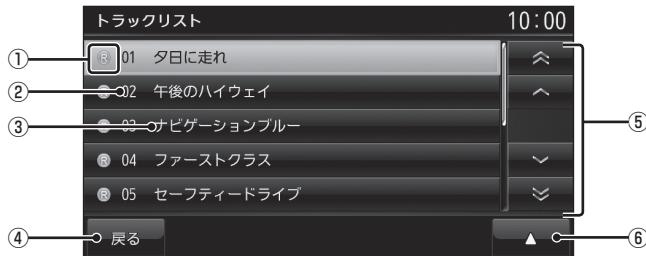
⑨ 再生時間

⑩ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる[再生方法]が選べます。

→「再生モードを変更する」(P123)

■ リストについて



① 録音状態アイコン

Ⓐ (青): 未録音

Ⓑ (赤): 録音中

※ 録音済は表示されません。

② トラック番号

③ トラック名

トラック名を表示します。

トラック名の情報が空白だった場合は、
「NO TITLE」と表示します。

④ [戻る]

音楽 CD の再生情報画面に戻ります。

⑤ カーソルスイッチ

トラックを選択できます。

⑥ [▲]

サブメニューを表示します。

→ 「サブメニューについて」 (P123)

[再生方法]、[録音設定]、[録音開始]など
が選べます。

■ サブメニューについて

音楽 CD の再生情報画面で ▲ にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。再生方法についての変更や録音の設定、録音の開始 / 停止が行えます。

トラックリスト	
01 夕日に走れ	10:00
02 午後のハイウェイ	▲
03 ナビゲーションブルー	再生方法
04 ファーストクラス	録音設定
05 セーフティードライブ	録音開始
戻る	戻る

再生方法	再生モードを変更することができます。 →「再生モードを変更する」(P123)
録音設定	録音方法の設定が行えます。 →「音楽 CD の録音方法を変更する」(P232)
録音開始 (録音停止)	録音の開始や停止が行えます。 →「録音を開始/停止する」(P149)

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生が行えます。ここでは、音楽 CD の再生情報画面からの操作方法を説明します。

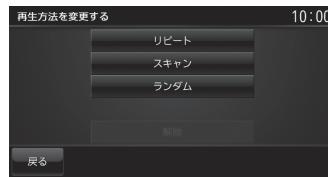
1 音楽 CD の再生情報画面で

▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 再生方法 にタッチする

3 変更したい “モード” にタッチする



4 戻る にタッチする



選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 再生モードの内容について、詳しくは「再生モードについて」(P123) をご覧ください。

■ 再生モードについて

リピート	再生中の曲を繰り返して再生します。
スキャン	ディスク内のすべての曲が対象で、始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
ランダム	ディスク内の曲を順不同に再生します。
解除	リピート、スキャン、ランダムのいずれかのモードが再生中の場合に、それらのモードを解除します。

タイトル情報を取得する

音楽 CD を本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得します。

お知らせ

- ・ タイトル情報は、地図カードに記録されている Gracenote データベースを利用してタイトル情報を取得します。
- ・ CD-TEXT の場合は CD 内から TEXT 情報を取得して表示します。TEXT 情報が無い場合は、地図カード内の Gracenote データベースからタイトル情報を取得して表示します。
- ・ タイトル情報が取得できない場合は、「NO TITLE」や「NO NAME」などと表示され、NoTitle リストに登録されます。
- ・ 本機の発売時期以降に発売された音楽 CD のタイトル情報は地図カードに記録された Gracenote データベースから取得することはできません。また、それ以前の音楽 CD でも情報を取得できない場合があります。
- ・ 複数の情報を表示する場合や異なった情報を表示する場合があります。
- ・ CD-TEXT は日本語と英語以外の言語には対応していません。
- ・ タイトル情報の取得が完了するまでに時間がかかる場合があります。

■ 取得できる情報について

- ・ アルバム名
- ・ アルバム名の読み
- ・ アルバムのアーティスト名
- ・ アルバムのアーティスト名の読み
- ・ トラック名
- ・ トラック名の読み
- ・ トラックのアーティスト名
- ・ ジャンル名

■ Gracenote について

音楽認識技術と関連情報は Gracenote® 社によって提供されています。

Gracenote は、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。

詳細は、Gracenote® 社のホームページ www.gracenote.com をご覧ください。



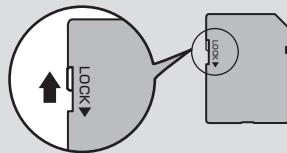
著作権、使用許諾について詳しくは「Gracenote サービス」(P277)をご覧ください。

■ Gracenote データベースを SD カードで更新する

ご自宅のパソコンからインターネットを利用して Gracenote のデータベースを SD カードで取得することができます。

お知らせ

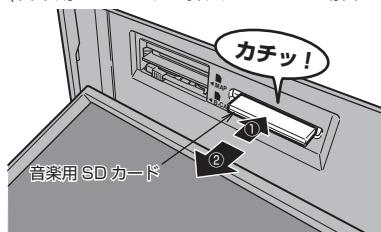
- ・あらかじめ地図カードおよび音楽用 SD カードのロックを解除しておいてください。



- ・あらかじめ Gracenote データベースバージョンを確認しておいてください。
→ 「バージョンを確認する」(P220)

1 本機から音楽用 SD カードを取り出す

(音楽用 SD カードが挿入されている場合のみ)



→ 「SD カードを取り出す」(P18)

2 ご自宅のパソコンから Gracenote データベースを取得する

三菱電機ホームページから Gracenote データベースをダウンロードします。

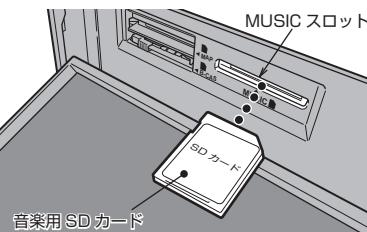
3 ダウンロードした圧縮ファイルを解凍する

ZIP 圧縮されているファイルは、解凍しておく必要があります。

4 解凍したファイルをすべて音楽用 SD カードにコピーする

解凍したファイルの容量を確認し、容量にあった SD カードを準備してください。

5 ファイルがコピーされた音楽用 SD カードを本機に挿入する



→ 「SD カードを挿入する」(P17)

6 「更新する」にタッチする

本機データベースのバージョンよりも新しいバージョンであれば、以下の画面を表示します



Gracenote データベースの更新が完了しました。

アドバイス

- ・CD-R に解凍済のファイルを書き込めば、本機に挿入することで手順 6 以降の操作で Gracenote データベースを更新することができます。

■ 手動で取得する

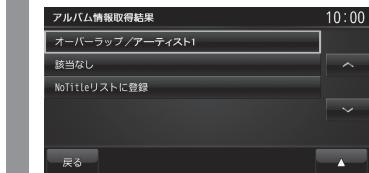
ここでは、音楽 CD の再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽 CD の再生情報画面で [タイトル取得] にタッチする



タイトル情報の検索を開始します。タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

2 いずれかにタッチする



アルバム名 / アーティスト名	タイトル情報が取得できた場合に表示します。タッチすることでそのタイトル情報を適用します。
該当なし	タイトル情報なしの状態となります。NoTitle リスト (P162)への登録も行いません。
NoTitle リスト に登録	MusicFolder の NoTitle リストにこの音楽 CD の情報を登録します。後でまとめてタイトル情報を取得することができます。 →[NoTitle リストを管理する]/(P162)
[▲]	サブメニューを表示します。選択しているタイトル候補のトラック情報を確認することができます。

ディスクの音楽ファイルを聴く

ディスク内の音楽ファイルの聴きかたについて説明します。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P105)

お知らせ

- 音楽ファイルのディスクを本機に挿入した状態で操作してください。

1 AV キーを押す

AV メニューを表示します。

2 [DISC] にタッチする

音楽ファイルの再生情報画面を表示します。

3 ▼ FOLDER ▲ にタッチして フォルダを選ぶ



4 ▶◀TRACK▶▶ キーを押して 曲を選ぶ

選んだ曲を再生します。

アドバイス

- ▶◀TRACK▶▶ キーまたは TRACK▶▶ キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダの階層を確認しながら曲を探すことができます。

ここでは、音楽ファイルの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 音楽ファイルの再生情報画面で [リスト表示] にタッチする



リストを表示します。

2 戻るにタッチする

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOT] にタッチすると、フォルダを開けます。
- ▲ ▼ や ▶◀ ▶▶ にタッチして フォルダやトラックを選ぶことができます。

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。

③ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

④ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。※1

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。

タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。

Stereo : ステレオ

JointStereo : ジョイントステレオ

DualChannel : デュアルチャンネル

Monoral : モノラル

⑦ FOLDER ▲▼

フォルダを選ぶときに使用します。

タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑧ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

→「再生モードを変更する」(P130)

COP : リピート再生中

COP : フォルダリピート再生中

SCAN : スキャン再生中

SCAN : フォルダスキャン再生中

RND : ランダム再生中

ALL RND : オールランダム再生中

⑨ リスト表示

フォルダリストを表示します。

→「リストについて」(P129)

⑩ トラック番号 / 曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。

⑪ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。

⑫ 再生時間

⑬ ▲▼

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる[再生方法]が選べます。

→「再生モードを変更する」(P130)

※1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

■ リストについて



① 階層位置表示アイコン
選択中のファイルまたはフォルダの階層位置を示します。

② ROOT
階層の最上位を示します。

③ フォルダ名
タッチすると、フォルダを展開します。

④ ファイル名
タッチすると、曲の再生を開始します。

⑤ [戻る]
音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

⑥ カーソルスイッチ
フォルダやファイルを選択できます。

⑦ [▲]
サブメニューを表示します。
→「サブメニューについて」(P130)

[再生方法]、[再生曲へ移動]、[ROOTへ移動]、[1階層上がる]が選べます。

⑧ [▼ FOLDER ▲]
フォルダの階層を移動します。

■ サブメニューについて

音楽ファイルのリスト表示中に ▲ にタップすると表示するサブメニューについて説明します。

このサブメニューでは、再生モードの変更(P130)や各階層への移動などが行えます。



再生方法	リピート再生やスキャン再生、ランダム再生などの再生モードを変更する設定画面を表示します。 →「再生モードを変更する」(P130)
再生曲へ移動	リスト表示が再生曲の位置になるように移動します。
ROOTへ移動	リスト表示が最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。
1階層上がる	階層が1つ上がります。
戻る	サブメニューを消去します。

再生モードを変更する

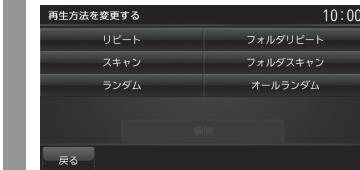
リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

1 音楽ファイルの再生情報画面またはリスト表示中に ▲ にタップする

サブメニューを表示します。

2 「再生方法」にタップする

3 変更したい「モード」にタッチする



4 「戻る」にタッチする



選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 再生モードの内容について、詳しくは「再生モードについて」(P131)をご覧ください。

■ 再生モードについて

リピート	再生中の曲を繰り返して再生します。
フォルダ リピート	再生中の曲があるフォルダを 繰り返して再生します。
スキャン	再生中の曲があるフォルダ内のす べての曲が対象で、始めの部分を 約 10 秒間ずつ順番に再生します。
フォルダ スキャン	ディスク内の全フォルダの 1 曲 目を約 10 秒間ずつ順番に再生 します。
ランダム	再生中の曲があるフォルダ内の 曲を順不同に再生します。
オール ランダム	ディスク内の曲すべてを順不同 に再生します。
解除	リピートやスキャン、ランダムな どいすれかのモードが再生中の場 合にそれらのモードを解除します。

DVD ビデオを見る

DVD ビデオの見かたについて説明します。

注意

- ・DVD ビデオの映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。
- ・DVD ビデオをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- ・エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

お知らせ

- ・DVD ビデオによってはメニューがない場合や場面によって表示できない場合があります。また、DVD ビデオ側の規制から早送りやチャプタースキップなどの操作ができない場合があります。そのようなときは、マークを表示します。
- ・本機は「dts」(P270) には対応しておりませんので、「dts」を選んでいた場合は音声が出力されません。必ず「dts」以外の音声を選んでください。
- ・DOLBY DIGITAL や MPEG2 オーディオなどの多チャンネル方式で記録した音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。
- ・DVD ビデオはディスクによって録音レベルが異なるため、他のメディアから DVD ビデオに切り換えると、音量に差を感じられることがあります。

本機にディスクを挿入すると、自動的に再生します。→「ディスクを挿入する」(P105)

お知らせ

- ・DVD ビデオを本機に挿入した状態で操作してください。

1 AV キーを押す

AV メニューを表示します。

2 DISC にタッチする

DVD ビデオの再生画面を表示します。

3 ▶◀TRACK▶▶ キーを押して

チャプターを選ぶ

選んだチャプターの再生を開始します。

アドバイス

- ・▶◀TRACK▶▶ キーまたは ▶TRACK▶▶ キーを押し続けることで早送り、早戻しができます。

DVD ビデオの操作画面を表示する

DVD ビデオを操作するためのメニューを表示します。

1 画面のいずれかにタッチする



操作画面を表示します。

お知らせ

- 本書では DVD ビデオの各モードを区別するために以下のように表記しています。

DVD VIDEO	ビデオモードで記録されたディスク
DVD-VR	VR モードで記録されたディスク

■ 再生中の操作画面

DVD VIDEO の場合

再生中、画面にタッチしたときに表示する操作画面について説明します。



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

状態アイコン

- ▶ : 再生中
- II : 一時停止中
- ▶▶ : 早送り中
- ◀◀ : 早戻し中
- 1/2 ▶ : スロー再生中

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。→「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P137)

③ 切換

音声の言語 / 種別や字幕情報の選択(P138)や画面表示の切り換え(P138)、アングルの切り換え(P139)が行えます。

④ 数字入力

DVD ビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。

→「数字入力でメニューを選ぶ」(P140)

⑤ メニュー

記録されているタイトルメニューを表示し、メニュー操作パネルを表示します。→「メニューを操作する」(P139)

⑥ メニュー操作

メニュー操作パネルを表示します。

⑦ ▼TITLE▲

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑧ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑨ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑩ 停止

再生を停止し、ブルーバック画面に切り換わります。停止中は操作画面が変わります。(P136)

⑪ スロー

タッチするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2] …
と再生速度が変わります。(スロー再生)

⑫ リターン

あらかじめ DVD ビデオ側で決められた特定の範囲を再生します。(リターン再生)

DVD-VR の場合



① ソースプレート

現在選ばれているメディア名およびタイトル番号、チャプター番号、状態アイコン、再生経過時間を表示します。

状態アイコン

- ▶ : 再生中
- II : 一時停止中
- ▶▶ : 早送り中
- ◀◀ : 早戻し中
- 1/2 ▶ : スロー再生中

② サーチ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。→「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P137)

③ 切換

音声の番号 / 種別や字幕 ON/OFF の選択 (P138) や画面表示の切り換え (P138) が行えます。

④ メニュー

記録されているタイトルリストを表示します。→「タイトルリストを表示する」(P142)

⑤ 音声多重切換

二ヶ国語放送のような複数の音声が収録されていた場合、タッチするたびに [主音声] → [副音声] → [主 + 副] → [主音声] … のように音声を切り換えることができます。→「音声多重を切り換える」(P142)

⑥ ▼TITLE▲

前後のタイトルを選ぶときに使用します。

⑦ 再生

一時停止、スロー再生の状態を解除して通常の再生に戻ります。

⑧ 一時停止

映像が表示された状態で停止します。

⑨ 停止

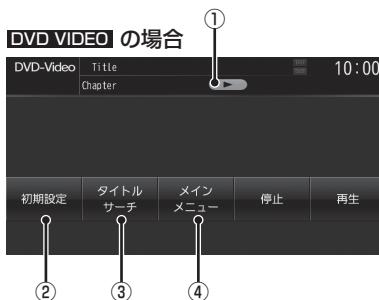
再生を停止し、ブルーバック画面に切り換わります。停止中は操作画面が変わります。(P136)

⑩ スロー

タッチするたびに
[1/2] → [1/8] → [1/32] → [1/2] …
と再生速度が変わります。(スロー再生)

■ 停止中の操作画面

停止中、画面にタッチしたときに表示する操作画面について説明します。



① 状態アイコン

- ▶ (点滅)：停止中（続き再生可能）
■：停止中（続き再生不可）

② 初期設定

音声言語や字幕言語などの初期設定を行うことができます。毎回音声や字幕の言語を切り換えるなくともよくなります。

→ 「DVD ビデオの初期設定」(P234)

③ タイトルサーチ

タイトル番号を入力して選ぶことができます。→ 「タイトル番号やチャプター番号を選ぶ」(P137)

④ メインメニュー

記録されているメインメニューを表示し、メニュー操作パネルを表示します。
→ 「メニューを操作する」(P139)

⑤ メニュー

記録されているタイトルリストを表示します。→ 「タイトルリストを表示する」(P142)

⑥ 停止

再生中から停止にしたとき（状態アイコンが点滅状態）は続き再生（リピート再生）ができます。
再度 [停止] にタッチすると状態アイコンが ■ になり続き再生ができなくなります。

⑦ 再生

状態アイコン ▶ が点滅状態であれば、続き再生ができます。
状態アイコンが ■ であれば、続き再生は行われず最初からの再生となります。

DVD VIDEO [DVD-VR]

タイトル番号やチャプター番号を選ぶ

タイトル番号やチャプター番号を入力して選ぶことができます。

- 1** 再生中、画面にタッチする
- 2** [サーチ] にタッチする
- 3** [タイトル] または [チャプター] にタッチする



- 4** 再生したい “番号” を入力する



→ 「文字入力のしかた」 (P20)

- 5** [決定] にタッチする

指定した番号のタイトルまたはチャプターから再生します。

アドバイス

- ・ タイトルの場合は最大で 2 行、チャプターの場合は最大 3 行まで入力できます。
- ・ 手順 4 で最大桁数まで入力した場合は、手順 5 の [決定] は必要ありません。

■ 停止画面からの操作

停止中では、タイトル番号の変更のみ行えます。

- 1** 停止中、画面にタッチする
- 2** [タイトルサーチ] にタッチする
- 3** 再生したい “番号” を入力する
→ 「文字入力のしかた」 (P20)
- 4** [決定] にタッチする

▼
指定した番号のタイトルから再生します。

アドバイス

- ・ 手順 3 で最大桁数の 2 行まで入力した場合は、手順 4 の [決定] は必要ありません。

音声 / 字幕を切り換える

DVD VIDEO では音声の言語 / 種別や字幕情報の選択が行え、DVD-VR では音声の番号 / 種別や字幕 ON/OFF の選択が行えます。

- 1 再生中、画面にタッチする**
- 2 切換 にタッチする**
- 3 音声 または 字幕 にタッチする**



音声または字幕の切換メニューを表示します。

- 4 音声 または 字幕 にタッチする**



タッチするたびに、音声または字幕が切り換わります。

アドバイス

- 変更中には音声情報または字幕情報がソースプレートに表示されます。

画面表示を切り換える

DVD ビデオでは 4 種類のモードが用意されており、表示方法を切り換えることができます。

- 1 再生中、画面にタッチする**
- 2 切換 にタッチする**
- 3 ワイド にタッチする**
モードの切換メニューを表示します。
- 4 いずれかの “モード” にタッチする**



モード



画面表示のモードが切り換わります。

お知らせ

- 通常画面は縦横比 4:3、ワイド画面は縦横比 16:9 です。
- ズームでは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行う）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがあります。

DVD VIDEO**アングルを切り換える**

複数のアングルが収録されたDVDビデオであればアングルを切り換えることができます。

1 再生中、画面にタッチする**2 [切換]にタッチする****3 [アングル]にタッチする**

アングルの切換メニューを表示します。

4 [アングル]にタッチする

タッチするたびに、アングルが切り換わります。

アドバイス

- 変更中にはアングル番号がソースプレートに表示されます。

DVD VIDEO**メニューを操作する**

タイトルメニューやメインメニューを表示し、各メニューの選択および決定が行えます。

■ タイトルメニューの場合**1 再生中、画面にタッチする****2 [メニュー]にタッチする**

タイトルメニューを表示します。

3 カーソルスイッチにタッチしてメニューを選ぶ

カーソルスイッチ

4 [決定]にタッチする

選択したメニューの項目の再生を開始します。

アドバイス

- メニュー操作パネルで[戻る]にタッチすると映像はタイトルメニューのまま操作画面を表示します。
- [左に移動]または[右に移動]にタッチすると、メニュー操作パネルを移動させることができます。

■ メインメニューの場合

- 1 停止中、画面にタッチする
- 2 [メインメニュー] にタッチする
メインメニューを表示します。
- 3 カーソルスイッチにタッチして
メニューを選ぶ



カーソルスイッチ

- 4 [決定] にタッチする



選択したメニューの項目の再生を開始します。

アドバイス

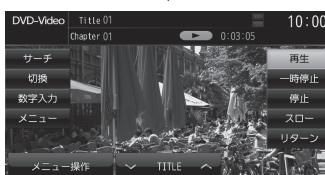
- ・メニュー操作パネルで [戻る] にタッチすると映像はメインメニューのまま操作画面を表示します。
- ・[左に移動] または [右に移動] にタッチすると、メニュー操作パネルを移動させることができます。

DVD VIDEO

数字入力でメニューを選ぶ

DVDビデオのメニューに番号が設定されていれば、数字入力でメニューを選ぶことができます。

- 1 メニューを表示する
→「メニューを操作する」(P139)
- 2 [戻る] にタッチする



操作画面を表示します。

アドバイス

- ・再び、メニュー操作パネルを表示するときは、[メニュー操作] にタッチします。

- 3 [数字入力] にタッチする

- 4 再生したい「メニュー番号」を入力する



→「文字入力のしかた」(P20)

- 5 [決定] にタッチする

指定したメニュー番号の項目を再生します。

DVD VIDEO

視聴制限のあるDVDビデオを再生したとき

「視聴制限のレベルを設定する」(P235)で再生できるシーンを限定していた場合に、視聴制限のあるDVDビデオを再生すると、視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。また、DVDビデオによっては、視聴制限のあるシーンに差し掛かるとパスワードを入力する画面を表示する場合があります。ここでは、パスワードを入力する画面が表示された場合の説明をします。

視聴制限のあるシーンに差し掛かり、
パスワードを入力する画面が表示されたら…

1 戻るにタッチする



視聴制限のあるシーンを飛ばして再生します。

お知らせ

- DVDビデオによっては、「戻る」にタッチしても継続して再生することができない場合があります。
- パスワードを入力すると視聴制限のあるシーンを飛ばすことなく再生することができます。パスワードは「視聴制限のレベルを設定する」(P235)で設定したパスワードとなります。

DVD-VR

静止画を送る

静止画表示中に、次の静止画を表示することができます。

1 静止画表示中、画面にタッチする

2 次の静止画にタッチする



タッチするたびに、次の静止画の表示に切り換わります。

DVD-VR**音声多重を切り換える**

二ヶ国語放送のような複数の音声が収録されていた場合、[主音声] → [副音声] → [主+副] → [主音声] … のように音声を切り換えることができます。

- 1 再生中、画面にタッチする**
- 2 音声多重切換** にタッチする



タッチするたびに、[主音声] → [副音声] → [主+副] → [主音声] … と切り換わります。

DVD-VR**タイトルリストを表示する**

- 1 再生中または停止中、画面にタッチする**
- 2 メニュー** にタッチする
- 3 オリジナル** または **プレイリスト** にタッチする



- 4 再生したい“メニュー”にタッチする**



選んだメニューの再生を開始します。

SD/MusicFolder

SD カードの曲を聴く

MUSIC スロットに挿入された、音楽用 SD カード（音楽ファイルが記録された SD カード）を本機で再生することができます。

お知らせ

- SD カードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- SD カードの推奨ファイルシステムは、FAT32 です。
- SD カードの対応容量は、最大 32GB (SDHC 規格対応) です。
- 音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) が記録された SD カードを本機の MUSIC スロットに挿入した状態で操作してください。
- 本書では、MUSIC スロットに挿入された SD カードのことを“音楽用 SD カード”と説明しています。

注意

- データ破損の恐れがあるためファイルのバックアップをお勧めします。
- 音楽用 SD カードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証は致しかねます。

1 AV キーを押す

AV メニューを表示します。

2 SD/MusicFolder にタッチする

MusicFolder の再生情報画面を表示します。

3 SD Card にタッチする

SD Card の再生情報画面を表示します。

4 ▼ FOLDER ▲ にタッチして フォルダを選ぶ



5 ◀TRACK▶ キーを押して 曲を選ぶ

▼
選んだ曲を再生します。

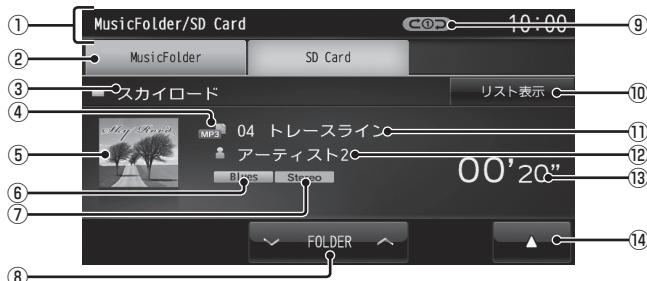
アドバイス

- ◀TRACK キーまたは TRACK▶ キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

AV

SD/MusicFolder

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② [MusicFolder]

再生情報画面を MusicFolder に切り替え、MusicFolder の再生を開始します。

→ 「MusicFolder を聞く」(P150)

③ アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。

④ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

⑤ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。^{※1}

⑥ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑦ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。

Stereo : ステレオ

JointStereo : ジョイントステレオ

DualChannel : デュアルチャンネル

Monoral : モノラル

⑧ [▼ FOLDER ▲]

フォルダを選択するときに使用します。タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑨ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

→ 「再生モードを変更する」(P147)

C① : リピート再生中

C□□ : フォルダリピート再生中

□SCAN : スキャン再生中

□SCAN : フォルダスキャン再生中

□X : ランダム再生中

ALL□X : オールランダム再生中

⑩ [リスト表示]

フォルダリストを表示します。

→ 「リストについて」(P145)

⑪ [トラック番号 / 曲名]

タイトル情報に曲名があれば表示します。

⑫ [アーティスト名]

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。

⑬ [再生時間]

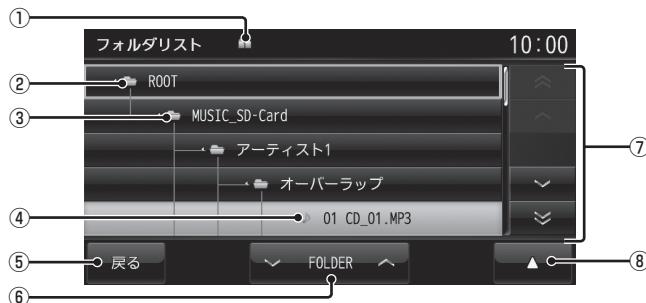
⑭ [▲]

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。

→ 「再生モードを変更する」(P147)

*1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

■ リストについて



① 階層位置表示アイコン

選択中のファイルまたはフォルダの階層位置を示します。

② ROOT

階層の最上位を示します。

③ フォルダ名

タッチすると、フォルダを展開します。

④ ファイル名

タッチすると、曲の再生を開始します。

⑤ [戻る]

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

⑥ [▼ FOLDER ▲]

フォルダの階層を移動します。

⑦ カーソルスイッチ

フォルダやファイルが選択できます。

⑧ [▲]

サブメニューを表示します。

→「サブメニューについて」(P146)

[再生方法]、[再生曲へ移動]、[ROOT ^ 移動]、[1 階層上がる] が選べます。

■ サブメニューについて

音楽ファイルのリスト表示中に ▲ にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。

このサブメニューでは、再生モードの変更(P147)や各階層への移動などが行えます。



再生方法	リピート再生やスキャン再生、ランダム再生などの再生モードを変更する設定画面を表示します。→ /再生モードを変更する (P147)
再生曲へ移動	リスト表示が再生曲の位置になるように移動します。
ROOTへ移動	リスト表示が最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。
1階層上がる	階層が1つ上がります。
戻る	サブメニューを消去します。

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダの階層を確認しながら曲を探すことができます。

ここでは、SDカードの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 SDカードの再生情報画面で リスト表示にタッチする



リストを表示します。

2 戻るにタッチする

SDカードの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOT]にタッチすると、フォルダを開けます。
- [▲] [▼] や [↖] [↙] にタッチしてフォルダやトラックを選ぶことができます。

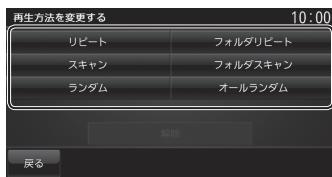
再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

- SD カードの再生情報画面またはリスト表示中に ▲ にタッチする
サブメニューを表示します。

- 【再生方法】にタッチする

- 変更したい“モード”にタッチする



- 戻るにタッチする



選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 再生モードの内容について、詳しくは「再生モードについて」(P147)をご覧ください。

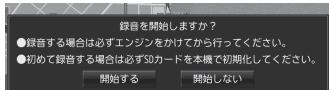
■ 再生モードについて

リピート	再生中の曲を繰り返して再生します。
フォルダリピート	再生中の曲があるフォルダを繰り返して再生します。
スキャン	再生中の曲があるフォルダ内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
フォルダスキャン	SDカード内の全フォルダの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
ランダム	再生中の曲があるフォルダ内の曲を順不同に再生します。
オールランダム	SDカード内の曲すべてを順不同に再生します。
解除	リピートやスキャン、ランダムなど、いずれかのモードが再生中の場合にこれらのモードを解除します。

MusicFolder に録音する

MusicFolder への録音について

本機は、挿入した音楽 CD の曲を等倍～約 4 倍速で MUSIC スロットに挿入された SD カード（音楽用 SD カード）に録音することができます。工場出荷時の設定であれば、本機に音楽 CD を挿入後、[開始する] にタッチすることで音楽 CD 内の曲をすべて MusicFolder に録音します。



注意

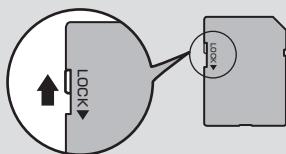
- ・録音したものを個人で楽しむなど以外の目的で使用することは、著作権法上禁止されています。
- ・MusicFolder に録音できるのは音楽 CD (CD-DA) からのみです。MP3/WMA/AAC の音楽ファイルが記録されたディスクやその他のメディア (SD カードや USB メモリーなど) からの録音はできません。
- ・録音はエンジンがかかっている状態のときに行ってください。録音中にエンジンをかけると正しく録音できない場合があります。

お知らせ

- ・SD カードの推奨クラスは、Class10 以上です。
- ・音楽用 SD カードは、あらかじめ「メモリ初期化」(P247) の [音楽用 SD カードの初期化] で SD-Audio フォーマットに初期化しておく必要があります。
- ・1 枚の SD カードに最大 CD99 枚まで録音することができます。
- ・録音ビットレートは 128kbps です。
- ・録音したものは原音とは音質が異なる場合やノイズが混入する可能性があります。
- ・MusicFolder に録音した曲を別のメディア (CD-R/RW、ハードディスク、USB メモリー、SD カードなど) に複製 / 移動することはできません。
- ・すでに録音した曲は同じ音楽 CD から重複して録音することはできません。
- ・録音中は本機の操作に時間がかかることがあります。
- ・本機の処理負荷の状態や音楽 CD 側の状態により、等倍速より遅くなる場合があります。
- ・音飛びなどのエラーがあった場合は、その曲の始めに戻り録音を再開します。
- ・曲と曲の間にブランクがない場合は、曲間に無音が録音されます。

お知らせ

- ・一部の機種は、MusicFolder の録音機能に対応しておりません。
- ・SD カードの対応容量は、最大 32GB (SDHC 規格対応) です。
SD カードによっては、正常に録音できない場合があります。
- ・読み書き可能な SD カードを本機の MUSIC スロットに挿入した状態で操作してください。(SD カードの Lock は解除しておいてください。)



録音を開始 / 停止する

ここでは、音楽 CD の再生情報画面からの操作方法を説明します。→「音楽 CD を聞く」(P120)

アドバイス

- ・録音設定が「シングル録音」だった場合、1 曲目以外を録音することはできません。

1 録音したい曲を再生する

2 音楽 CD の再生情報画面で

▲ → 録音開始 にタッチする



選んだ曲の録音を開始し、追いかけ再生を行います。

3 録音を停止するときは、

▲ → 録音停止 にタッチする



録音を停止します。

MusicFolder を聴く

MusicFolder とは、MUSIC スロットに挿入された SD カードに音楽 CD の曲を録音し、再生する機能です。

アドバイス

- 工場出荷時の状態であれば、音楽 CD を本機に挿入後、[録音する] にタッチすることで MusicFolder への録音を開始します。
- 録音方法を変更することができます。
→「音楽 CD の録音方法を変更する」(P232)

お知らせ

- 一部の機種は、MusicFolder の録音機能に対応しておりません。
- SCMS (孫コピー防止技術) の働きにより、音楽 CD をデジタル録音したディスクから MusicFolder へ録音することはできません。
- 本機能で録音した曲を別のメディア (CD-R, SD カード, USB メモリー, ハードディスクなど) に複製・移動することはできません。
- 本製品を譲渡するときなどは、著作権法上すべての曲を消去してください。
→「メモリ初期化」(P247)
- SD カードの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- SD カードの対応容量は、最大 32GB (SDHC 規格対応) です。
- 読み書き可能な SD カードを本機の MUSIC スロットに挿入した状態で操作してください。(SD カードの Lock は解除しておいてください。)
- 本書では、MUSIC スロットに挿入された SD カードのことを“音楽用 SD カード”と説明しています。

注意

- 音楽用 SD カードの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証は致しかねます。

1 AV キーを押す

AV メニューを表示します。

2 SD/MusicFolder にタッチする

MusicFolder の再生情報画面を表示します。

3 [◀TRACK▶] キーを押して曲を選ぶ



選んだ曲を再生します。

アドバイス

- [◀TRACK▶] キーまたは [TRACK▶] キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。
- プレイリスト内の曲を再生している場合は、[▼ PLAYLIST ▲] にタッチすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

■ SD-Audio について

本機の MusicFolder は SD-Audio 規格に対応しています。

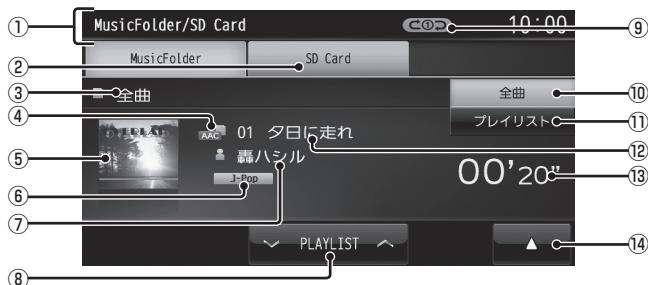
ご家庭のパソコンなどで SD-Audio 規格で録音した音楽ファイルの SD カードを本機の MUSIC スロットに挿入することで、MusicFolder として再生することができます。

他の機器で録音したプレイリストの情報について他の機器で録音したプレイリストの情報を本機で編集すると、以下になります。

- ・プレイリスト名 / トラック名 / アルバム名 / アーティスト名 / ジャンル名以外の情報は消去されます。
- ・各名称の 31 文字以降はカットされます。
- ・半角文字 (カタカナ、英数字) は全角文字になります。
- ・規定外の文字コードで入力されている文字は “□” で表示されます。

表示内容について

■ 再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② SD Card

再生情報画面を SD Card に切り換え、SD カードの再生を開始します。

→ 「SD カードの曲を聴く」(P143)

③ 全曲 / プレイリスト名

全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

④ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

⑤ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。※¹

⑥ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑦ アーティスト名

タイトル情報があればアーティスト名を表示します。タイトル情報がなければ「NO NAME」と表示します。

⑧ ▼ PLAYLIST ▲

プレイリストを選ぶときに使用します。(プレイリスト内の曲を再生しているときに選択できます。)

タッチすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑨ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

→ 「再生モードを変更する」(P160)

: リピート再生中

: プレイリストリピート再生中

: スキャン再生中

: プレイリストスキャン再生中

: ランダム再生中

: プレイリストランダム再生中

: オールランダム再生中

⑩ 全曲

全曲のトラックリストを表示します。

→ 「トラックリストについて」(P153)

⑪ プレイリスト

プレイリスト選択画面を表示します。

→ 「プレイリスト選択画面」(P152)

⑫ トラック番号 / 曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。

タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。録音中であれば、「NOW RECORDING」と表示します。

⑬ 生存時間

⑭ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更(P160)や NoTitle リストの表示(P162)、MusicFolder の全消去(P164)が行えます。

※ 1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

■ プレイリスト選択画面



① プレイリスト名

タッチすると、そのプレイリスト内のトラックリストを表示します。
→「トラックリストについて」(P153)

② 戻る

MusicFolder の再生情報画面 (P151) に戻ります。

③ ▼ PLAYLIST ▲

プレイリストを選ぶときに使用します。
タッチすると、前後のプレイリストへと切り換わり、最初の曲を再生します。

④ カーソルスイッチ

フォルダやファイルが選択できます。

⑤ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更 (P160) やプレイリストのタイトル変更 (P154)、再生順序の変更 (P155)、消去 (P156) が行えます。

■ トラックリストについて



① 全曲 / プレイリスト名

全曲再生の場合は、「全曲」と表示します。
プレイリスト内の曲を再生している場合は、再生中のプレイリスト名を表示します。

② トラック番号 / 曲名

タイトル情報があれば曲名を表示します。
タイトル情報がなければ「NO TITLE」と表示します。録音中であれば、「NOW RECORDING」と表示します。

タッチすると、選択した曲の再生を開始します。

③ [戻る]

全曲再生の場合は、再生情報画面(P151)を表示し、プレイリスト内の曲を再生している場合は、プレイリスト選択画面(P152)を表示します。

④ [▼ PLAYLIST ▲]

プレイリストを選ぶときに使用します。
タッチすると、前後のプレイリストへと切り替わり、最初の曲を再生します。

⑤ カーソルスイッチ

フォルダやファイルが選択できます。

⑥ [▲]

サブメニューを表示します。再生モードの変更(P160)やトラックの情報編集(P158)、再生順序の変更(P158)、消去(P159)が行えます。

⑦ [再生画面]

MusicFolderの再生情報画面(P151)に戻ります。

プレイリスト選択画面を表示する

MusicFolder に音楽 CD の曲を録音すると、自動的にアルバムごとのプレイリストが作成されます。このプレイリストをアルバムごとに選択することができます。

ここでは、MusicFolder の再生情報画面からの操作方法を説明します。

お知らせ

- MusicFolder に 1 曲も録音されていない場合は、以下の操作ができません。

1 MusicFolder の再生情報画面で、

【プレイリスト】にタッチする



プレイリスト選択画面を表示します。
各プレイリストにタッチすると、そのプレイリストのトラックリストを表示します。

2 【戻る】にタッチする



MusicFolder の再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- □ ▾ や □ ▷ にタッチしてプレイリストを選ぶことができます。

プレイリストを編集する

プレイリストのタイトルや再生順序の変更、消去が行えます。

■ プレイリストのタイトルを変更する

プレイリスト名を変更することができます。
ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」(P154)

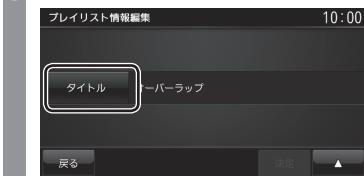
1 カーソルスイッチでタイトルを変更したい“プレイリスト”を選ぶ



2 □ → プレイリスト情報編集 にタッチする

プレイリストの情報編集画面を表示します。

3 タイトルにタッチする

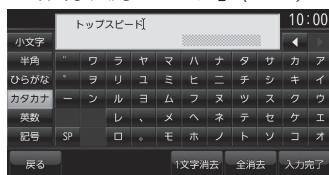


アドバイス

- □ にタッチすると、選択しているプレイリストのタイトル情報を取得できます。→「タイトル情報を取得する」(P161)

**4 変更したい“タイトル”を入力し、
[入力完了]にタッチする**

→「文字入力のしかた」(P20)



▼
プレイリストの情報編集画面に戻ります。

5 [決定]にタッチする

▼
選択したプレイリストのタイトル変更が完了します。

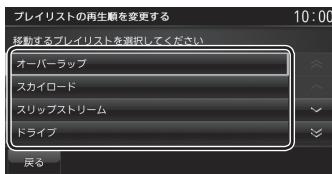
■ プレイリストの再生順序を変更する
MusicFolder内のプレイリストは録音順に格納され、通常その順序で再生されます。本機能は、プレイリストの再生順序を変更することができます。ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。

→「プレイリスト選択画面を表示する」(P154)

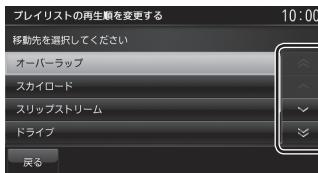
**1 ▲→[プレイリスト再生順変更]
にタッチする**

再生順序を変更する画面を表示します。

**2 再生順序を変更したい
“プレイリスト”にタッチする**

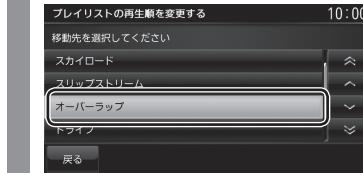


**3 カーソルスイッチで
“プレイリスト”を移動する**



**4 移動した“プレイリスト”
にタッチする**

手順2で選択したプレイリストにタッチします。



▼
再生順序の変更が完了しました。

アドバイス

- 手順3でプレイリストを直接タッチすることでタッチしたトラックの位置に移動します。

■ プレイリストを消去する

1 件のみ消去する場合と選択して消去する場合の方法があります。
ここでは、プレイリスト選択画面からの操作方法を説明します。
→「プレイリスト選択画面を表示する」(P154)

アドバイス

- ・録音中にこの操作は行えません。

1 件を消去する場合

1 カーソルスイッチで消去したい“プレイリスト”を選ぶ



2 ▲ → プレイリスト消去にタッチする

3 [1 件消去] にタッチする

4 [消去する] にタッチする

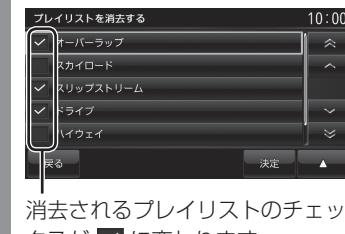
▼
選択したプレイリストの消去が完了します。

選択して消去する場合

1 ▲ → [プレイリスト消去] にタッチする

2 [選択消去] にタッチする

3 消去したいすべての“プレイリスト”にタッチする



消去されるプレイリストのチェックボックスが に変わります。

アドバイス

- ・ここで ▲ にタッチすると、すべてチェックする [全選択] とすべてのチェックを解除する [全解除] が選べます。

4 [決定] にタッチする

5 [消去する] にタッチする

▼
選択したすべてのプレイリストの消去が完了します。

トラックリストを表示する

お知らせ

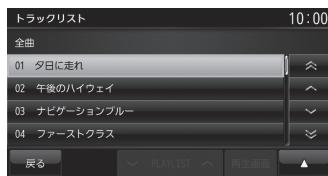
- MusicFolder に 1 曲も録音されていない場合は、以下の操作ができません。

全曲再生のトラックリストを表示する

MusicFolder 内に録音されたすべてのトラックリストを表示します。

ここでは、MusicFolder の再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 MusicFolder の再生情報画面で、 [全曲] にタッチする



全曲のトラックリストを表示します。
各トラックにタッチすると、そのトラックの再生を開始します。

2 [戻る] にタッチする

MusicFolder の再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [▲] [▼] や [▲] [▼] にタッチしてトラックを選ぶことができます。

プレイリスト内のトラックリストを表示する

アルバムごとに管理されたプレイリストを選択し、そのトラックリストを表示します。

1 MusicFolder の再生情報画面で、 [プレイリスト] にタッチする

プレイリスト選択画面を表示します。

2 再生したい “プレイリスト” にタッチする



選択したプレイリストのトラックリストを表示し、1 曲目の再生を開始します。
各トラックにタッチすると、そのトラックの再生を開始します。

3 [戻る] にタッチする

プレイリスト選択画面に戻ります。

アドバイス

- [▲] [▼] や [▲] [▼] にタッチしてトラックを選ぶことができます。

トラックを編集する

トラックの情報や再生順序の変更、消去が行えます。

■ トラックの情報を編集する

トラックのタイトルやアルバム名、アーティスト名、ジャンル名を変更できます。ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。
→「トラックリストを表示する」(P157)

1 カーソルスイッチでタイトルを変更したい“トラック”を選ぶ



2 ▲ → トラック情報編集にタッチする

トラックの情報編集画面を表示します。

3 変更したいいずれかの“入力ボックス”にタッチし、入力する



→「文字入力のしかた」(P20)

アドバイス

- ▲にタッチすると、選択しているトラックのタイトル情報を取得できます。
→「タイトル情報を取得する」(P161)

4 決定にタッチする

選択したトラック情報の変更が完了します。

■ トラックの再生順序を変更する

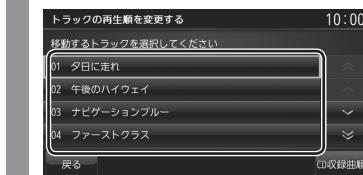
トラックの再生順序を変更することができます。ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「トラックリストを表示する」(P157)

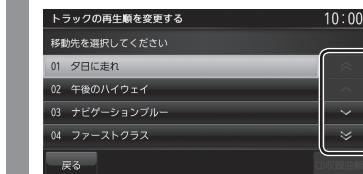
1 ▲ → トラック再生順変更にタッチする

再生順序を変更する画面を表示します。

2 再生順序を変更したい“トラック”にタッチする

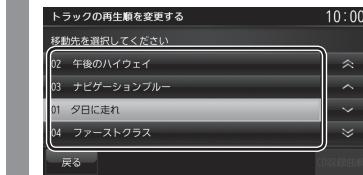


3 カーソルスイッチで“トラック”を移動する



4 移動した“トラック”にタッチする

手順2で選択したトラックにタッチします。



再生順序の変更が完了します。

アドバイス

- 手順3でトラックを直接タッチすることでタッチしたトラックの位置に移動します。

■ トラックを消去する

1 件のみ消去する場合と選択して消去する場合の方法があります。ここでは、トラックリストからの操作方法を説明します。

→「トラックリストを表示する」(P157)

1 件を消去する場合

1 カーソルスイッチで消去したい“トラック”を選ぶ



2 ▲ → [トラック消去]にタッチする

3 [1件消去]にタッチする

4 [消去する]にタッチする



選択したトラックの消去が完了します。

選択して消去する場合

1 ▲ → [トラック消去]にタッチする

2 [選択消去]にタッチする

3 消去したいすべての“トラック”にタッチする



消去されるトラックのチェックボックスが に変わります。

アドバイス

- ここで ▲ にタッチすると、すべてチェックする [全選択] とすべてのチェックを解除する [全解除] が選べます。

4 [決定]にタッチする

5 [消去する]にタッチする



選択したすべてのトラックの消去が完了します。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。
この操作は、MusicFolder の再生情報画面 (P151) やプレイリスト選択画面 (P152)、トラックリスト (P153) から行えます。

1 MusicFolder の再生情報画面などで、**[▲]** にタッチする
サブメニューを表示します。

2 [再生方法] にタッチする

3 変更したい “モード” にタッチする



選んだ再生モードの再生を開始します。

■ 再生モードについて

リピート	再生中の曲を繰り返して再生します。
プレイリスト リピート	再生中の曲があるプレイリストを繰り返して再生します。
スキャン	再生中の曲があるプレイリスト内のすべての曲が対象で、始めの部分を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
プレイリスト スキャン	MusicFolder 内の全プレイリストの 1 曲目を約 10 秒間ずつ順番に再生します。
ランダム	再生中の曲があるプレイリスト内の曲を順不同に再生します。
プレイリスト ランダム	MusicFolder 内の全プレイリストを順不同に選択し、プレイリスト内の曲を順番に再生します。
オールランダム	MusicFolder 内の曲すべてを順不同に再生します。
解除	リピートやスキャン、ランダムなど、いずれかのモードが再生中の場合にそれらのモードを解除します。

■ タイトル情報を取得する

通常は、音楽 CD を本機に挿入すると、自動的にタイトル情報を取得しますが、MusicFolder に録音した後の再取得について説明します。
MusicFolder からのタイトル情報の取得は、プレイリストの情報編集画面 (P154) またはトラックの情報編集画面 (P158) から行うことができます。

お知らせ

- ・タイトル情報について詳しくは「タイトル情報を取得する」(P124) をご覧ください。
- ・本機の Gracenote データベースを更新する場合は、「Gracenote データベースを SD カードで更新する」(P125) をご覧ください。

■ タイトル候補の選択画面について

アルバム名 / アーティスト名	タイトル情報が取得できた場合に表示します。タッチすることでそのタイトル情報を適用します。
該当なし	現在のタイトル情報から変更を行いません。NoTitle リスト (P162) への登録も行いません。
NoTitle リストに登録	MusicFolder の NoTitle リストにこの音楽 CD の情報を登録します。別の方法を使い、後でまとめてタイトル情報を取得することができます。 →「NoTitle リストを管理する」(P162)
▲	サブメニューを表示します。 選択しているタイトル候補のトラック情報を確認することができます。

■ 本体から取得する

地図カードに記録されているデータからタイトル情報を取得します。

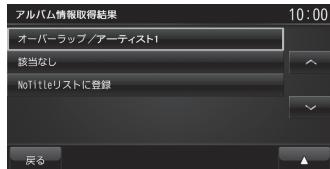
1 各情報編集画面で ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 本体から取得 ▲ にタッチする

タイトル情報の検索を開始します。タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

3 いずれかにタッチする



→「タイトル候補の選択画面について」(P161)

NoTitle リストを管理する

タイトル情報が取得できなかったアルバムをあらかじめ NoTitle リストに登録しておくと、さまざまな方法でタイトル情報を取得することができます。

1 MusicFolder の再生情報画面で

▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 NoTitle リスト にタッチする



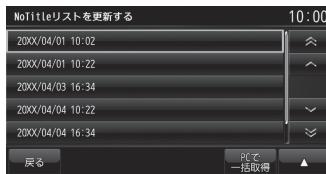
NoTitle リストを表示します。

■ 本機からタイトル情報を取得する

Gracenote データベースを更新 (P125) したときや本機のバージョンアップ (P220) を行ったときは、以下の方法でタイトル情報を取得することができます。

ここでは、NoTitle リストからの操作方法を説明します。

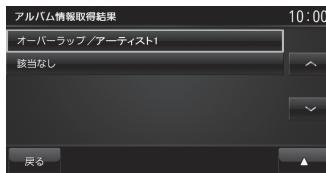
1 NoTitle リストで、タイトル情報を取得したい“アルバム”にタッチする



タイトル情報の検索を開始します。

タイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面を表示します。

2 いずれかにタッチする



→「タイトル候補の選択画面について」(P161)

■ パソコンからタイトル情報を取得する
ご自宅のパソコンからインターネットを利用して登録されている NoTitle リストすべてのタイトル情報を取得します。ここでは、NoTitle リストからの操作方法を説明します。

お知らせ

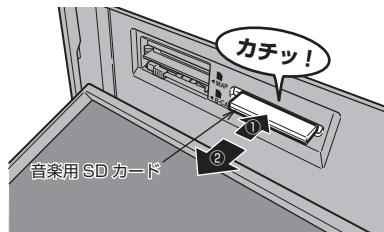
- あらかじめ三菱電機ホームページから専用ソフトをダウンロードし、ご自宅のパソコンにインストールしておく必要があります。

URL : <http://www.mitsubishielectric.co.jp/carele/>

- NoTitle リストで、
[PC で一括取得] にタッチする
- [書き出し] にタッチする

▼
音楽用 SD カードに NoTitle リスト情報を書き出します。

- 本機から音楽用 SD カードを取り出す



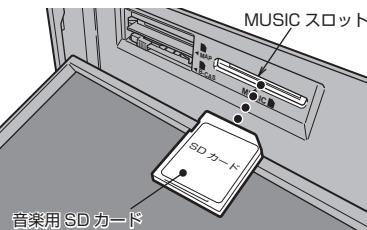
→ 「SD カードを取り出す」(P18)

- ご自宅のパソコンからタイトル情報を取得する

音楽用 SD カードを本機から取り出し、ご自宅のパソコンにインストールした専用のソフトを使ってタイトル情報を取得します。

▼
音楽用 SD カードにタイトル情報が保存されます。

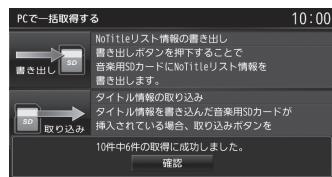
- “タイトル情報”が保存された音楽用 SD カードを本機に挿入する



→ 「SD カードを挿入する」(P17)

- NoTitle リストで、
[PC で一括取得] にタッチする
- [取り込み] にタッチする

タイトル情報の取り込みを開始します。



NoTitle リストの中でタイトル情報が取得できたタイトルを表示し、各タイトルへ適用します。

- [確認] にタッチする

▼
タイトル情報が取得できたタイトルは、NoTitle リストから消去されます。

■ NoTitle リストから消去する

NoTitle リストの登録を解除したいアルバムがあった場合、この機能を使って NoTitle リストから消去することができます。ここでは、NoTitle リストからの操作方法を説明します。

アドバイス

- この操作を行うことで MusicFolder から曲が消去されるわけではありません。

1 件を消去する場合

1 カーソルスイッチで消去したい“アルバム”を選ぶ



2 ▲ → [NoTitle リストから消去]にタッチする

3 [1 件消去]にタッチする

4 [消去する]にタッチする

▼
選択したアルバムを NoTitle リストから消去します。

選択して消去する場合

1 NoTitle リストで ▲ → [NoTitle リストから消去] にタッチする

2 [選択消去]にタッチする

3 消去したいすべての“アルバム” にタッチする



4 [決定]にタッチする

5 [消去する]にタッチする

▼
選択したすべてのアルバムを NoTitle リストから消去します。

MusicFolder 内の曲をすべて消す

MusicFolder(挿入中の音楽用 SD カード)内にあるすべての曲を消去します。

ここでは、MusicFolder の再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 MusicFolder の再生情報画面で

▲にタッチする

サブメニューを表示します。

2 [MusicFolder 全消去]

にタッチする

3 [消去する]にタッチする

4 再度、[消去する]にタッチする

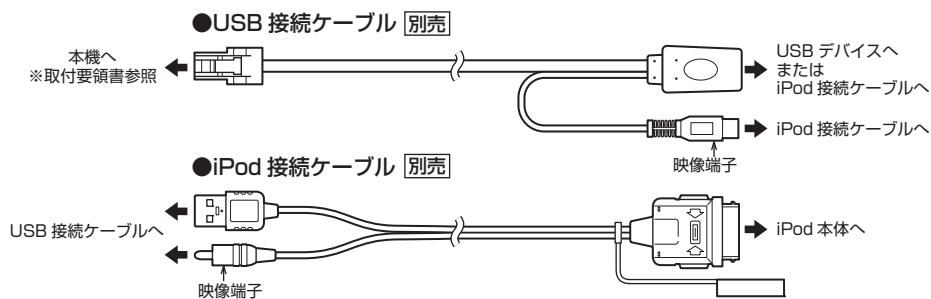


▼
MusicFolder 内にあるすべての曲の消去が完了しました。

接続する

別売の接続ケーブルと iPod および USB デバイスの接続方法を説明します。

接続ケーブルについて

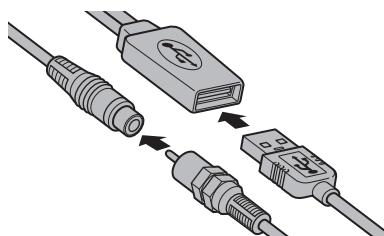


注意

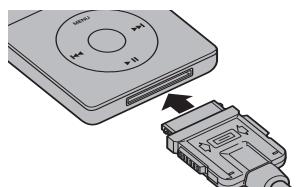
- iPod を接続する場合は、当社指定の iPod 接続ケーブルをお買い求めください。
他社製 (Apple 純正を含む) を接続した場合は動作保証致しかねますのでご了承ください。

iPod を接続する

1 USB 接続ケーブルの入力端子に iPod 接続ケーブルの出力端子を接続する



2 iPod 本体に iPod 接続ケーブルの Dock コネクターを接続する



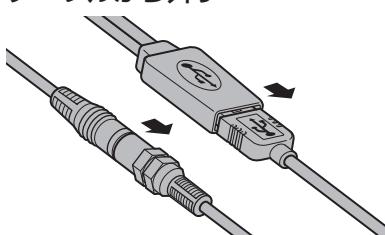
iPod を外す

1 iPod 本体から iPod 接続ケーブルの Dock コネクターを外す

Dock コネクターの左右ロックボタンを押しながら外してください。

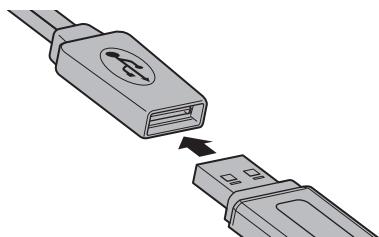


2 iPod 接続ケーブルを USB 接続ケーブルから外す



USB デバイスを接続する

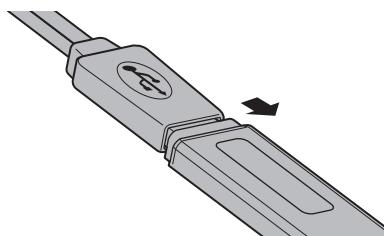
1 USB 接続ケーブルの USB ジャックに USB デバイスを接続する



USB 接続ケーブルの映像端子は、使用しません。

■ USB デバイスを外す

1 USB ジャックから USB デバイスを外す



注意

- Dock コネクターや USB のコネクター方向に注意してください。
コネクター方向を間違えた状態で無理に接続すると、接続ケーブルのコネクター や iPod 本体、USB デバイスの破損の原因となります。

iPod を再生する

別売の USB 接続ケーブルおよび別売の iPod 接続ケーブル、市販されている iPod を本機に接続することで、iPod の映像や音声を本機に入力し、再生することができます。

お知らせ

- iPod/iPhone の世代や機種、ソフトウェアバージョンにより本機で再生できない場合があります。 (→P8) また、本書で説明する操作方法通りに再生できない場合があります。詳しくは、三菱電機ホームページをご覧ください。

URL : <http://www.mitsubishielectric.co.jp/carele/>

- iPod/iPhone を本機に接続した状態で操作してください。
- iPod が正しく動作しないときは、iPod を本機から外してリセットし、再度接続してください。
- iPod/iPhone 本体を車内に放置しないでください。
- 本機と iPod を接続して使用しているときに iPod のデータが消失しても、その補償は致しかねます。

1 AV キーを押す

AV メニューを表示します。

2 iPod にタッチする

ミュージック再生情報画面を表示します。

3 [◀◀TRACK▶▶] キーを押して曲を選ぶ



選んだ曲を再生します。

アドバイス

- [◀◀TRACK] キーまたは [TRACK▶▶] キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

iPod のビデオを見る

iPod内のビデオの見かたについて説明します。

お知らせ

- ビデオ再生機能のない iPod では本機能をご使用になれません。
- iPod ビデオの映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。
- iPod 側の出力設定は、「TV 画面：ワイドスクリーン」「画面に合わせる：OFF」としておくことをおすすめします。詳細は iPod のユーザーガイドをご覧ください。

1 AV キーを押す

AV メニューを表示します。

2 iPod にタッチする

ミュージック再生情報画面を表示します。

3 iPod メニュー → ビデオ にタッチする

4 “カテゴリー” にタッチする



5 再生したい“トラック”にタッチする



選んだトラックのビデオを再生します。

アドバイス

- 手順 4 で [ビデオプレイリスト] にタッチした場合は、再生したいプレイリストを選ぶ必要があります。
- その後、手順 5 に続けます。

■ ミュージック再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や状態アイコン、再生モードを表示します。

② アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。

③ トラック番号 / 曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。

④ アートワーク

iPod 内にアートワーク情報があれば、画像を表示します。

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ iPodメニュー

ミュージックメニューを表示します。
→「ミュージックメニューについて」(P169)

⑦ 状態アイコン

- : 再生中 (再生速度: 普通)
- : 再生中 (再生速度: 速い)^{※1}
- : 再生中 (再生速度: 遅い)^{※1}
- : 一時停止中
- : 停止中
- : 早送り中
- : 早戻し中

※ 1 オーディオブック再生中のみ

⑧ 再生モード表示 (ミュージックのみ)

現在の再生モードを表示します。

→「再生モードを変更する」(P170)

: シングルリピート再生中

: シャッフル再生中

: アルバムシャッフル再生中

: シングルリピート / シャッフル再生中

: シングルリピート / アルバムシャッフル再生中

⑨

再生を開始します。

⑩

再生を一時停止します。

⑪ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。

⑫ 再生時間 (ミュージックのみ)

⑬

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。
→「再生モードを変更する」(P170)

※ チャプターリスト

(オーディオブック再生中のみ)

オーディオブックのチャプターリストを表示します。

→「チャプターリストを表示する」(P172)

■ ミュージックメニューについて
ミュージック再生情報画面で [iPod メニュー] にタッチすると表示します。
ミュージックメニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示することができます。

カテゴリーメニュー



カテゴリー メニュー	各カテゴリーのリストを表示します。 →「リストで探す」(P171)
戻る	再生情報画面に戻ります。 →「ミュージック再生情報画面について」(P168)
ビデオ	ビデオメニューを表示します。 →「ビデオメニューについて」(P170)
[▲]	サブメニューを表示します。 再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。 →「再生モードを変更する」(P170)

■ ビデオ再生情報画面について
ビデオ再生中に画面にタッチすると表示するビデオ再生情報画面について説明します。



iPod メニュー	ビデオメニューを表示します。 →「ビデオメニューについて」(P170)
[▲]	サブメニューを表示します。 再生モードの変更ができる [再生方法] が選べます。 →「再生モードを変更する」(P170)
チャプターリスト (オーディオブック再生中のみ)	オーディオブックのチャプターリストを表示します。 →「チャプターリストを表示する」(P172)
[▶]	再生を開始します。
[II]	再生を一時停止します。

■ ビデオメニューについて

ビデオ再生情報画面で「iPod メニュー」にタッチすると表示します。ビデオメニューからさまざまなカテゴリーのリストを表示することができます。

お知らせ

- ・ビデオメニューのカテゴリーメニューは iPod から情報を取得しています。そのため、iPod の世代や機種、ソフトウェアバージョンにより表示内容が異なります。

カテゴリーメニュー



カテゴリー メニュー	各カテゴリーのリストを表示します。 →「リストで探す」(P171)
戻る	ビデオ再生情報画面に戻ります。 →「ビデオ再生情報画面について」(P169)
ミュージック	ミュージックメニューを表示します。 →「ミュージックメニューについて」(P169)
▲	サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる[再生方法]が選べます。 →「再生モードを変更する」(P170)

再生モードを変更する

リピート再生やシャッフル再生、オーディオブックの再生スピードなどの設定が行えます。ここでは、ミュージック再生情報画面からの操作を説明します。

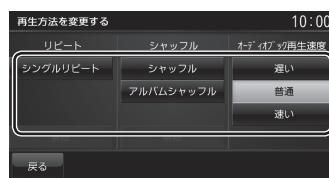
1 ミュージック再生情報画面で

▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

2 [再生方法] にタッチする

3 変更したい“モード”にタッチする



4 戻る にタッチする



選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- ・再生モードの内容について、詳しくは「再生モードについて」(P171)をご覧ください。

■再生モードについて

リピート

シングルリピート	現在再生中の曲またはビデオを繰り返して再生します。(シングルリピート再生)
解除	シングルリピート再生を解除します。「リピート」が「解除」のとき、再生中の階層内にある曲を繰り返して再生します。

シャッフル

シャッフル	再生中の階層内にある曲を順不同に再生します。(シャッフル再生)
アルバム シャッフル	再生中の階層内にあるすべてのアルバムを順不同に再生します。(アルバムシャッフル再生) アルバム内の曲順は変わりません。
解除	各シャッフル再生を解除します。

オーディオブック再生速度

遅い	通常よりも遅い速度でオーディオブックを再生します。
普通	通常の速度でオーディオブックを再生します。
速い	通常よりも速い速度でオーディオブックを再生します。

アドバイス

- ・シングルリピート中は、シャッフル再生やアルバムシャッフル再生を行ってもシングルリピートを継続します。

リストで探す

ミュージックメニュー(P169)やビデオメニュー(P170)でカテゴリーにタッチするとそのカテゴリーのリストを表示します。リストにタッチしていくことで、アルバム名や曲名を確認しながら聴きたい曲やビデオのトラックを探すことができます。

ここでは、ミュージック再生情報画面(またはビデオ再生情報画面)からの操作を説明します。

1 iPod の再生情報画面で

iPod メニューにタッチする

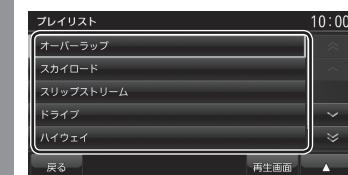
ミュージックメニューまたはビデオメニューを表示します。

2 “カテゴリー”にタッチする



▼ 選んだカテゴリーのリストを表示します。

3 リストから再生したい“項目”にタッチする



▼ 選んだ項目内のリストを表示します。

手順3の操作を繰り返し、曲(トラック)を探します。

リストから再生したい曲(トラック)にタッチすると、再生を開始します。

アドバイス

- ・手順2で選んだカテゴリーによって、手順3で操作する項目の階層が変わります。
- ・表示するリストには、iPodに記録されているタイトル情報を表示します。

■ 再生情報の画面を表示する

リスト表示しているとき、現在再生しているミュージック再生情報画面やビデオ再生情報画面を表示することができます。

1 リスト表示画面で

再生画面 にタッチする



■ チャプターリストを表示する

iPod 内にオーディオブックが収録されていれば、オーディオブックのチャプターリストを表示することができ、チャプターごとに再生することができます。

ここでは、ミュージック再生情報画面からの操作を説明します。

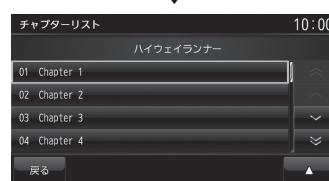
お知らせ

- ・オーディオブック再生機能のない iPod では本機能はご使用になれません。
- ・ビデオ再生情報画面からはこの操作はできません。

1 オーディオブック再生中、

ミュージック再生情報画面で

チャプターリスト にタッチする



USB デバイスの曲を聴く

別売の USB 接続ケーブルおよび市販されている USB デバイスを本機に接続することで、USB メモリーなどの USB デバイスに記録された音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) を本機で再生することができます。

お知らせ

- USB デバイスの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- USB メモリーの推奨ファイルシステムは、FAT32 です。
- USB メモリーの対応容量は、最大 32GB です。
- 音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) が記録された USB デバイスを本機に接続した状態で操作してください。

注意

- USB デバイスを車内に放置しないでください。
- ハードディスクやカードリーダー、メモリーリーダーは機器およびデータが破損することがあるため、使用しないでください。誤って接続した場合は車のイグニッショングキーを “OFF” にしてから取り外してください。
- データ破損の恐れがあるためファイルのバックアップをお勧めします。
- USB デバイスの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証は致しかねます。

1 AV キーを押す

AV メニューを表示します。

2 USB メモリ にタッチする

USB デバイスの再生情報画面を表示します。

3 ▼ FOLDER ▲ にタッチして フォルダを選ぶ



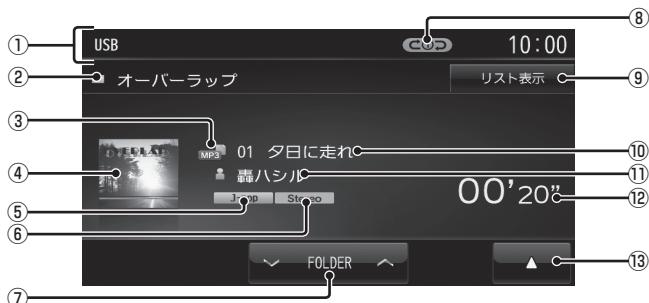
4 KKTRACK KK キーを押して 曲を選ぶ

▼
選んだ曲を再生します。

アドバイス

- KKTRACK キーまたは KKTRACK キーを押し続けると再生中の曲を早送り、早戻しすることができます。

■再生情報画面について



① ソースプレート

現在選ばれているソース名や再生モードを表示します。

② アルバム名

タイトル情報にアルバム名があれば表示します。

③ ファイル形式

再生中の音楽ファイルのファイル形式を表示します。

④ ジャケット

タイトル情報にジャケット写真があれば表示します。^{※1}

⑤ ジャンル

再生しているトラックのジャンル名を表示します。

タイトル情報にジャンル情報があれば表示します。

⑥ チャンネルモード

タイトル情報にチャンネルモードの情報があれば以下のアイコンを表示します。

Stereo : ステレオ

JointStereo : ジョイントステレオ

DualChannel : デュアルチャンネル

Monoral : モノラル

⑦ ▼ FOLDER ▲

フォルダを選ぶときに使用します。

タッチすると、前後のフォルダへと切り換わり、最初の曲を再生します。

⑧ 再生モード表示

現在の再生モードを表示します。

→「再生モードを変更する」(P177)

⟳⟳ : リピート再生中

⟳⟳⟳ : フォルダリピート再生中

SCAN : スキャン再生中

SCAN : フォルダスキャン再生中

⟳ : ランダム再生中

ALL ⟳ : オールランダム再生中

⑨ リスト表示

フォルダリストを表示します。

→「リストについて」(P175)

⑩ トラック番号 / 曲名

タイトル情報に曲名があれば表示します。

⑪ アーティスト名

タイトル情報にアーティスト名があれば表示します。

⑫ 再生時間

⑬ ▲

サブメニューを表示します。再生モードの変更ができる[再生方法]が選べます。

→「再生モードを変更する」(P177)

※1 画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。

■ リストについて



① 階層位置表示アイコン

選択中のファイルまたはフォルダの階層位置を示します。

② ROOT

階層の最上位を示します。

③ フォルダ名

タッチすると、フォルダを展開します。

④ ファイル名

タッチすると、曲の再生を開始します。

⑤ 戻る

音楽ファイルの再生情報画面に戻ります。

⑥ ▼ FOLDER ▲

フォルダの階層を移動します。

⑦ カーソルスイッチ

フォルダやファイルが選択できます。

⑧ ▲

サブメニューを表示します。

→「サブメニューについて」(P176)

[再生方法]、[再生曲へ移動]、[ROOTへ移動]、[↑ 階層上がる]が選べます。

■ サブメニューについて

音楽ファイルのリスト表示中に ▲ にタッチすると表示するサブメニューについて説明します。

このサブメニューでは、再生モードの変更(P177)や各階層への移動などが行えます。



再生方法	リピート再生やスキャン再生、ランダム再生などの再生モードを変更する設定画面を表示します。→「再生モードを変更する」(P177)
再生曲へ移動	リスト表示が再生曲の位置になるように移動します。
ROOTへ移動	リスト表示が最上位の階層に移動し、各フォルダの展開はすべて閉じられます。
1階層上がる	階層が1つ上がります。
戻る	サブメニューを消去します。

リストを表示する

リストを表示すると、フォルダの階層を確認しながら曲を探すことができます。

ここでは、USB デバイスの再生情報画面からの操作方法を説明します。

1 USB デバイスの再生情報画面で リスト表示 にタッチする



リストを表示します。

2 戻る にタッチする

USB デバイスの再生情報画面に戻ります。

アドバイス

- [ROOT] にタッチすると、フォルダを開します。
- [▲] [▼] や [◀] [▶] にタッチして フォルダやトラックを選ぶことができます。

再生モードを変更する

リピート再生、スキャン再生、ランダム再生などが行えます。

- USB デバイスの再生情報画面またはリスト表示中に ▲ にタッチする

サブメニューを表示します。

- 再生方法 にタッチする

- 変更したい“モード”にタッチする



- 戻る にタッチする



選んだモードの再生を開始します。

アドバイス

- 再生モードの内容について、詳しくは「再生モードについて」(P177)をご覧ください。

■ 再生モードについて

リピート	再生中の曲を繰り返して再生します。
フォルダリピート	再生中の曲があるフォルダを繰り返して再生します。
スキャン	再生中の曲があるフォルダ内のすべての曲が対象で、始めの部分を約10秒間ずつ順番に再生します。
フォルダスキャン	USB デバイス内の全フォルダの1曲目を約10秒間ずつ順番に再生します。
ランダム	再生中の曲があるフォルダ内の曲を順不同に再生します。
オールランダム	USB デバイス内の曲すべてを順不同に再生します。
解除	リピートやランダムなど、いずれかのモードが再生中の場合にそれらのモードを解除します。

地上デジタル TV

テレビ機能について

本機では、内蔵の地上デジタル TV チューナーを使った地上デジタル TV 放送をご覧になることができます。

お知らせ

- 一部の機種は、テレビ機能には対応しておりません。

受信について

走行にともない、受信状態が変わる場合や障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

注意

- テレビの映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧ることができます。
- テレビをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。
- 電車の架線や高圧線、信号機やネオンなどの近くでは、画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなることがあります。
- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ・鉄塔の近くでは画像が乱れることや雑音が入ることがあります。
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。
- PPV 番組(有料番組)に対応していません。
- 地上デジタル TV 放送は放送方式の特性上、従来のアナログ放送に比べチャンネルの切り替え時間が長くなります。

miniB-CAS カードについて

本機には、miniB-CAS カードを付属しています。付属の miniB-CAS カードは地上デジタル TV 放送を視聴していただくためにお客さまへ貸与された大切なカードです。番組の著作権保護のため、miniB-CAS カードを本機に挿入しないと地上デジタル TV 放送を見ることができません。

お知らせ

- 一部の機種は、miniB-CAS カードは付属しておりません。
- 別紙 miniB-CAS カードの使用許諾契約書および裏面の注意や警告を必ずお読みください。
- 破損や紛失などの場合はただちに B-CAS(株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ) のカスタマーセンターへご連絡ください。
- お客様の責任で破損・紛失した場合は、再発行費用が請求されます。

■ miniB-CAS カード取扱上の注意点

- ダッシュボードの上など、高温になるところに放置しないでください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- カードの IC 面には手を触れないでください。
- 分解・加工はしないでください。

■ miniB-CAS カードについてのお問い合わせ先

株式会社ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ
カスタマーセンター

電話 : 0570-000-250
045-680-2868
(IP 電話からの場合)

受付時間 : 10:00 ~ 20:00
(年中無休)

ホームページアドレス :
<http://www.b-cas.co.jp>

■ miniB-CAS カードを入れる

1 ▲ キーを押す

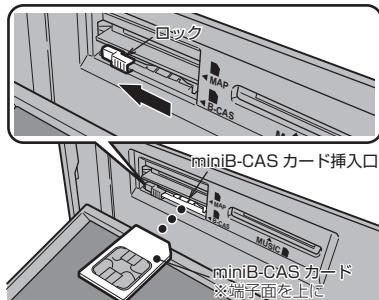
2 モニター OPEN にタッチする



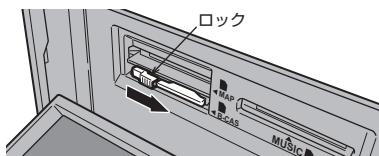
パネルが開きます。

3 miniB-CAS カードを挿入する

ロックを外し、miniB-CAS カードの端子面を上にして「カチッ」と音がするまでゆっくりと差し込んでください。



4 ロックする



5 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

注意

- 本機専用の miniB-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
故障や破損の原因になります。
- 挿入の向きを確認してください。挿入方向を間違えると miniB-CAS カードが機能しません。
- 画面に miniB-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

■ miniB-CAS カードを抜く

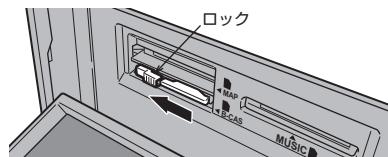
1 ▲ キーを押す

2 モニター OPEN にタッチする



パネルが開きます。

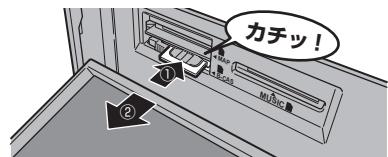
3 ロックを外す



注意

- ロックをスライドさせる際に手・指のけがに注意してください。

4 miniB-CAS カードを「カチッ」と音がするまで押す



カードが飛び出し抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

5 ロックする

ロックが外れているとパネルが閉まりません。

6 ▲ キーを押し、パネルを閉じる

注意

- 地上デジタルTV 使用中は miniB-CAS カードを抜き差ししないでください。
- カードには IC(集積回路) が組み込まれているため、画面に miniB-CAS カードに関するメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

テレビを見る

本機内蔵の地上デジタルTVチューナーでは、フルセグ放送およびワンセグ放送をご覧になれます。

はじめてテレビを見るとき

(ホームCHスキャン)

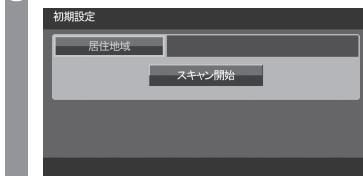
はじめてテレビを見るときは、最初に地域設定とホームCHスキャンを行う必要があります。設定した地域で受信できる放送局を調べ、ホームCHの“リモコン番号”に登録する操作です。

1 AVキーを押す

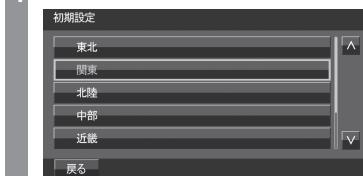
AVメニューを表示します。

2 DTVにタッチする

3 居住地域にタッチする



4 設定したい“地方”にタッチする



5 設定したい“都道府県”にタッチする



6 [スキャン開始]にタッチする



ホームCHスキャンを開始します。

お知らせ

- 受信状態によりしばらく時間がかかります。
- スキャン中に[中止]にタッチすると、中止します。
- スキャン中に中止した場合は、ホームCHへ登録される放送局が少なくなる場合があります。

7 完了にタッチする

受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

お知らせ

- ホームCHには最大12局まで登録することができます。
- [キャンセル]にタッチした場合はホームCHに登録されません。

放送局を選ぶ

初期設定のスキャンで登録した放送局を選びます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 見たい放送局の“リモコン番号” にタッチする



選んだ放送局の番組を表示します。

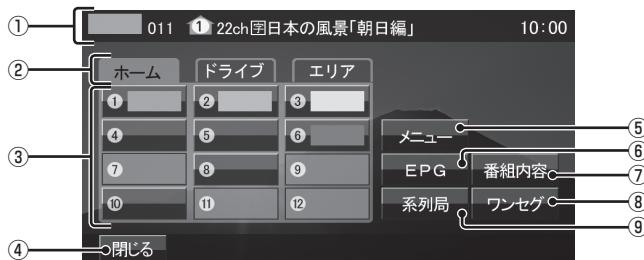
アドバイス

- **[◀◀TRACK]** キーまたは **[TRACK▶▶]** キーを押すと、登録した放送局をリモコン番号の順に、または逆順に選局できます。
- CH モードが [ホーム] のとき、
[◀◀TRACK] キーまたは **[TRACK▶▶]** キーを押し続けると、受信可能な放送局の自動選局を開始します。
→「受信状態の良い放送局を探す」(P188)
- CH モードが [ドライブ] のとき、
[TRACK▶▶] キーを押し続けると、初期ドライブ CH スキャン (P190) を行い、
[◀◀TRACK] キーを押し続けると再ドライブ CH スキャン (P191) を行います。

表示内容について

画面にタッチして表示するテレビの操作画面について説明します。

■ 操作パネルについて



① ノーマルバナー

受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号および番組名を表示します。

② マーク

マークでCHモードおよび選局中のリモコン番号を表示します。

① : ホーム CH

① : ドライブ CH

① : エリア CH

(画面のリモコン番号は「1」)

③ CHモード

【ホーム】にタッチすると、ホームCHスキャン(P189)で登録した放送局を選べます。

【ドライブ】にタッチすると、ドライブCHスキャン(P190)で登録した放送局を選べます。

【エリア】にタッチすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

④ 閉じる

操作パネルを消しテレビ映像のみにします

⑤ メニュー (P192, 196, 251, 254)
各種設定を行います。

⑥ EPG (P186)

電子番組表(EPG)を表示します。

⑦ 番組内容 (P185)

現在選局中の番組の内容を表示します。

⑧ ワンセグ / フルセグ (P194)

フルセグとワンセグを切り替えます。
タッチし続けることで、自動ワンセグ切り換え(P195)の設定ができます。

⑨ 系列局 (P188)

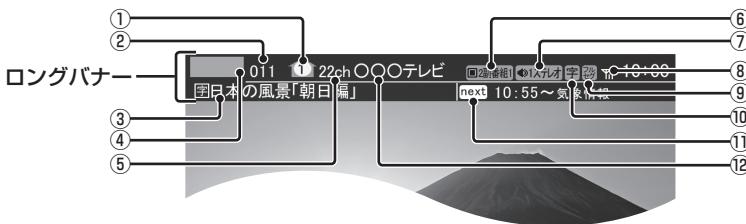
系列局の放送局を表示します。タッチし続けることで系列局サーチを開始します。

⑤ リモコン番号 (P181, 194)

タッチすると、登録された放送局を表示します。タッチし続けることで“リモコン番号”的割り当てを変更することができます。

■ ロングバナーについて

チャンネルリスト (P187) から選局した後などに表示するロングバナーについて説明します。ノーマルバナー (P182) よりも詳しい情報を表示します。



① マーク

マークで CH モードおよび選局中のリモコン番号を表示します。

① : ホーム CH

① : ドライブ CH

① : エリア CH

(画面のリモコン番号は「1」)

② 術チャンネル番号

複数の番組が放送されているとき、それぞれの番組を区別するためにリモコン番号と組み合わされた番号を表示します。フルセグでは、011 番から、ワンセグは 611 番から始まります。

③ 番組名

現在放送中の番組名を表示します。

④ ロゴマーク

放送局のロゴマークまたは放送局名(省略名)を表示します。

⑤ 物理チャンネル番号

リモコン番号とは異なる、実際に送信されているテレビのチャンネル番号(13ch ~ 62chまで)です。

⑥ 映像情報

複数の映像があるときに表示します。

⑦ 音声モード

放送中の音声モードを表示します。

①ステレオ : ステレオ

①モノラル : モノラル

①サラウンド : サラウンド

※ サラウンド音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。

⑧ 受信強度

受信中の放送局の受信強度を表示します。

⑨ 放送モード

フルセグを見ているときは 、ワンセグを見ているときは を表示します。

放送モードは切り換えることができます。

⑩ 字幕情報

字幕放送中の番組で表示します。

「視聴設定」の[字幕 / 音声]で切り換えることができます。

→ 「DTV の設定」(P251)

⑪ 次の番組名

次に放送される番組名を表示します。

⑫ 放送局名

放送局名を表示します。

■ 走行制限の表示について

走行中は操作が制限され、映像は表示されません。



① ソースプレート

現在選ばれている受信中の3桁チャンネル番号、リモコン番号、物理チャンネル番号、放送局名および番組名を表示します。

② CH モード

【ホーム CH】にタッチすると、ホーム CH スキャン(P189)で登録した放送局を選べます。

【ドライブ CH】にタッチすると、ドライブ CH スキャン(P190)で登録した放送局を選べます。

【エリア CH】にタッチすると、現在地で見ることができる放送局を選べます。

③ リモコン番号 (P181, 194)

タッチすると、登録された放送局を表示します。

④ 【ワンセグ / フルセグ】 (P194)

フルセグとワンセグを切り替えます。

⑤ 【系列局サーチ】 (P188)

系列局サーチを開始します。再度、タッチすると中止します。

⑥ 【ドライブ CH スキャン】 (P190)

タッチすると、ドライブ CH スキャンを行うことができます。

お知らせ

- 走行中は操作が制限され、映像は表示されません。
- 走行中はホーム CH スキャンを行うことができません。

CH モードを切り換える

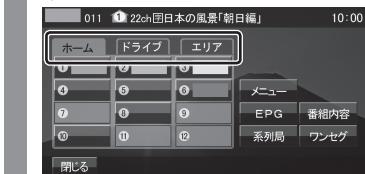
ホーム CH、ドライブ CH、エリア CH を切り替えます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

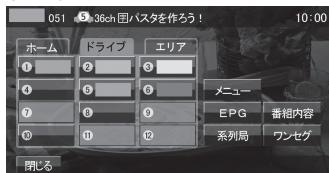
2 切り替えたい “CH モード” にタッチする

ホーム CH



▼

ドライブ CH



CH モードが切り換わります。

CH モードについて

ホーム

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）の放送局を登録しています。あらかじめ「ホーム CH スキャン」を行う必要があります。
→「はじめてテレビを見るとき」(P180)

ドライブ

旅行先など（一時的に滞在する地域）で放送局を登録しています。あらかじめ「ドライブ CH スキャン」を行う必要があります。
→「ドライブ CH スキャンを行う」(P190)

エリア

位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができる放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

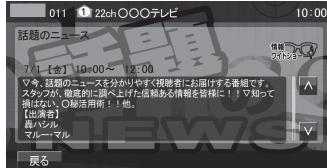
番組の内容を見る

現在選局中の番組の内容を表示します。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [番組内容] にタッチする



選局中の番組の内容を表示します。

アドバイス

- 放送局の都合により、番組が変更になる場合があります。この場合実際の内容と番組内容が異なることがあります。
- [戻る] にタッチすることで閉じることができます。

■ 記号について

番組内容の画面では記号で番組情報を示しています。

番組属性例

	マルチ番組
	二重音声
	サラウンド ※ サラウンド音声は、本機ではステレオ 2ch で出力します。
	字幕あり

ジャンル

以下のマークを表示します。

放送局を探す

いろいろな方法で放送局・番組を探します。

番組表で探す

電子番組表(EPG)を表示し、見たい番組を探すことができます。

■ 現在放送中の番組から探す

現在放送中の番組をリストで確認できます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 EPGにタッチする

現在放送中の番組のリストを表示します。

3 見たい“番組”にタッチする



選択した番組の放送局を選局します。

アドバイス

- 本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示するため、すべて表示するまでしばらく時間がかかることがあります。
- [戻る]にタッチすることで番組表を閉じ、選択した番組を表示します。

■ 番組表を取得するには

番組表を手動で取得することができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 EPGにタッチする

3 更新にタッチする

▼
番組表の取得を開始します。

アドバイス

- 番組データをすべて取得するにはしばらく時間がかかります。
- 取得中に再度[更新中止]にタッチすると更新を中止します。

■ 番組表の内容を確認する

現在放送中の番組、または2日分の詳細な番組内容を確認することができます。

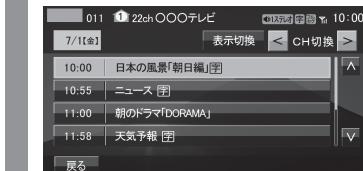
1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

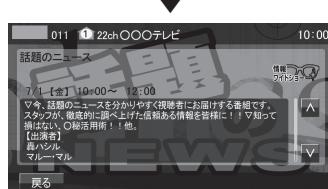
2 [EPG] にタッチする

3 [表示切換] にタッチする

4 “CH 切換” の [<] , [>] にタッチし、見たい“放送局”を選ぶ



5 見たい“番組”にタッチする



番組の詳細な内容を表示します。

アドバイス

- データ取得中は空欄になります。
- 通常番組データは視聴中の放送局からしか取得できません。本機が番組データを取得できていないときには取得できたものから順に表示しますので、すべて表示するまでしばらくかかることがあります。

チャンネルリストから探す

ホーム CH スキャン (P189) や ドライブ CH スキャン (P190)、エリア CH (P184) で登録した放送局のリストを表示してリモコン番号の確認や選局が行えます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [メニュー] にタッチする

設定メニューを表示します。

3 [情報確認] → [CH一覧] にタッチする

現在見ているホーム CH または ドライブ CH の一覧を表示します。

4 [フルセグ] または [ワンセグ] にタッチする



5 見たい“放送局”にタッチする

選択した放送局を選局します。

系列局を探す

移動中に受信ができなくなったとき、同じ系列局の放送局に切り換えて、引き続き見ることができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [系列局] にタッチする



系列局の放送局に切り換わります。

アドバイス

- ・[系列局] にタッチし続けると系列局サーチを開始します。系列局が見つかると切り換わります。中止する場合は [中止] にタッチします。また、受信状態によりしばらく時間がかかる場合があります。
- ・系列局がない場合や、サーチを行っても見つからない場合があります。また、系列局があった場合でも放送局の都合により同じ番組にならないことがあります。
- ・現在見ている番組の放送局がチャンネルリストにない場合は切り換わりません。

受信状態の良い放送局を探す

現在受信可能な放送局を探します。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [ホーム] にタッチする

3 [◀ TRACK ▶] キーを押し続ける



シークを開始し、受信できる放送局が見つかると表示します。

アドバイス

- ・放送局が見つかるまでシークを行います。中止する場合は [中止] にタッチします。
- ・電波状況によってはシークを行っても放送局が見つからない場合があります。
- ・ホーム CH またはエリア CH のときのみ操作が可能です。

好みの放送局を登録する

受信可能な放送局を探し、ホーム CH やドライブ CH に放送局を登録します。

ホーム CH スキャンを行う

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときや新しい放送局が開局されたときなどに行います。

■ 初期ホーム CH スキャン

お住まいの地域（長期的に滞在する地域）が変わったときなどに行います。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニュー にタッチする

3 初期設定 →

4 ホーム CH スキャン にタッチする

5 初期ホーム CH スキャン にタッチする

6 居住地域 にタッチする



7 “都道府県” にタッチする

8 スキャン開始 にタッチする



初期ホーム CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

9 完了 にタッチする



受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

アドバイス

- ・ホーム CH には最大 12 局まで登録することができます。
- ・[キャンセル] にタッチした場合はホーム CH に登録されません。

■ 再ホーム CH スキャン

新しい放送局が開局されたときなどに行います。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

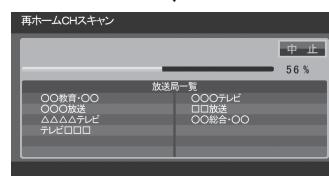
2 メニュー にタッチする

3 初期設定 →

4 ホーム CH スキャン にタッチする

5 再ホーム CH スキャン にタッチする

6 スキャン開始 にタッチする



再ホーム CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

7 表示された内容を確認し、

8 次へ にタッチする

以降の操作は、「初期ホーム CH スキャン」(P189) の手順 9 以降と同じです。

ドライブ CH スキャンを行う

旅行先など（一時的に滞在する地域）で受信可能な放送局を探し、ドライブ CH のリモコン番号に登録します。

■ 初期ドライブ CH スキャン

現在のドライブ CH を消して、新たにドライブ CH を登録しなおします。

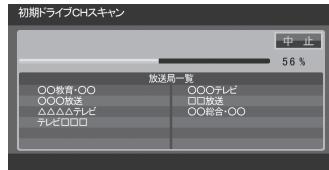
1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [ドライブ] にタッチする

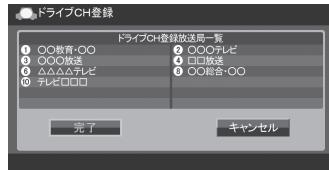
ドライブ CH に切り替えます。

3 [TRACK▶] キーを押し続ける



初期ドライブ CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

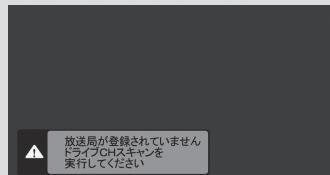
4 [完了] にタッチする



受信可能な放送局をリモコン番号に登録します。

アドバイス

- はじめてドライブ CH スキャンを行う場合は、以下の画面を表示します。この画面のときに [TRACK▶] キーを押し続けてください。



- ドライブ CH は最大 12 局まで登録することができます。
- [キャンセル] にタッチした場合はドライブ CH に登録されません。

■ 再ドライブ CH スキャンを行う

初期ドライブ CH スキャンで登録したチャンネルを消さずに新たに受信できる放送局があったとき追加で登録します。

アドバイス

- 再ドライブ CH スキャンで登録する放送局の合計が 13 局以上になったときは、追加できない放送局があります。その場合は初期ドライブ CH スキャンを行ってください。

→「初期ドライブ CH スキャン」(P190)

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 ドライブ にタッチする

ドライブ CH に切り替えます。

3 KKTRACK キーを押し続ける



再ドライブ CH スキャンを開始し、受信可能な放送局一覧を表示します。

4 表示された内容を確認し、次へ にタッチする

以降の操作は、「初期ドライブ CH スキャン」(P190) の手順 4 以降と同じです。

情報を確認する

本機に関する各種情報を確認することができます。

メールを確認する

放送局から送られる放送メールや本機からお知らせする内部メールを確認することができます。

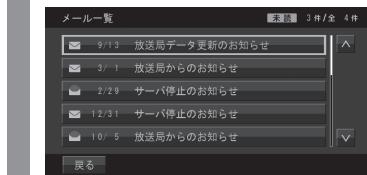
1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニューにタッチする

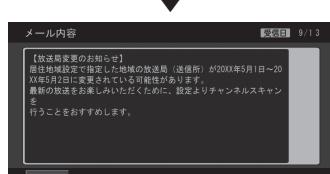
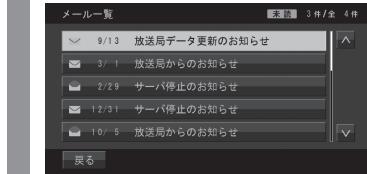
設定メニューを表示します。

3 情報確認 → メールにタッチする



メール一覧を表示します。

4 読みたい“メール”にタッチする



選んだメールの内容を表示します。

アドバイス

- ・[戻る]にタッチするとメール一覧に戻ります。
- ・メールの保存件数は放送メールと内部メールを合わせて14通までです。
14通を超えた場合、既読メールの受信日が古いものから削除されます。すべて未読だった場合でも受信日が古いものから削除されます。

ICカードを確認する

本機に入れられているminiB-CASカードの情報を確認することができます。

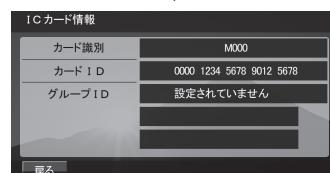
1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニューにタッチする

設定メニューを表示します。

3 情報確認 → ICカードにタッチする



miniB-CASカードの情報を表示します。

注意

- ・ICカード情報画面で「カードが抜けているかロックが外れています」と表示されていた場合は、本機にminiB-CASカードが正しく挿入されていません。
正しくminiB-CASカードを挿入してください。
→「miniB-CASカードを入れる」(P179)

ソフトウェアバージョンを確認する

本機のソフトウェアバージョンを確認するこ
とができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニューにタッチする

設定メニューを表示します。

3 情報確認 → S/Wバージョン

にタッチする



本機のソフトウェアバージョンを表示します。

【他の操作】

リモコン番号を変更する

登録しているリモコン番号(P271)を変更することができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 変更したい“リモコン番号”にタッチする

3 変更先の“リモコン番号”をタッチし続ける



変更先のリモコン番号への登録が完了します。

お知らせ

- 同じ放送局を複数の“リモコン番号”に登録することはできません。変更前のリモコン番号は登録が解除されます。

フルセグとワンセグを切り換える

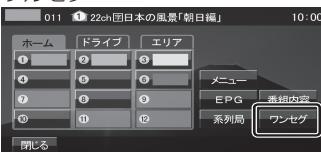
フルセグとワンセグの切り換えについて説明します。

1 画面にタッチする

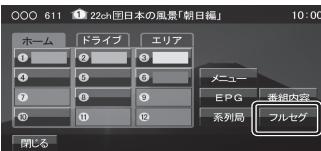
テレビの操作画面を表示します。

2 ワンセグ / フルセグにタッチする

フルセグ



ワンセグ



[ワンセグ / フルセグ] をタッチするたびにフルセグ→ワンセグ→フルセグと切り換わります。

■ 自動ワンセグ切り換えについて

フルセグからワンセグへの自動切り換えの設定を変更します。

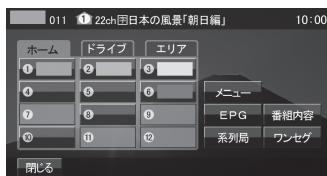
アドバイス

- 工場出荷時、フルセグを優先的に視聴する設定になっています。ワンセグ優先にしたい場合や、手動切り換えのみの設定にしたい場合にこの設定を行います。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 [ワンセグ / フルセグ] にタッチし続ける



[ワンセグ / フルセグ] にタッチし続けるたびに「ON(フルセグ視聴優先)」→「ON(ワンセグ視聴優先)」→「OFF」と切り換わります。

アドバイス

・「受信機設定」の【自動選局】でも設定を変更することができます。

→「DTVの設定」(P251)

・地上デジタルTV放送では、1つの放送局が複数の番組を送信することが可能で、また一部の番組では、フルセグとは異なるワンセグ独自サービスを行っています。

このような場合、自動ワンセグ切換をON(フルセグ視聴優先 / ワンセグ視聴優先)に設定していると、ワンセグに切り換わったとき、番組内容が異なることがあります。同じ番組を続けて見たい場合は、自動ワンセグ切換をOFFに設定してお使いください。

ON(フルセグ 視聴優先)	フルセグの受信状態が著しく悪くなったときに自動でワンセグに切り換えます。可能な限り高画質な状態で視聴したい方にお勧めします。
ON(ワンセグ 視聴優先)	フルセグの受信状態が少しでも悪くなると自動でワンセグに切り換えます。安定した受信状態で視聴したい方にお勧めします。
OFF	自動切り換えを行いません。[ワンセグ / フルセグ] にタッチする操作でのみ切り換えます。

映像や音声を切り換える

現在見ている番組で、複数の映像や音声の情報があるときに切り換えることができます。

1 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

2 メニューにタッチする

設定メニューを表示します。

3 視聴設定 → 信号切換にタッチする

4 映像または音声にタッチする



5 切り換えたい“情報”にタッチする



選択した情報の設定に切り換わります。

映像について

1つのチャンネルでアングルの違う映像などが複数あるときに切り換えることができます。

音声について

1つのチャンネルで同時に「主音声」、「副音声」に分けた2種類の言語を放送しているとき（二ヶ国語放送）に切り換えることができます。また、二重音声放送の場合は、[視聴設定] → [字幕 / 音声] の「二重音声設定」で切り換えることができます。

→ 「DTVの設定」(P251)

外部入力機器

AUX を使う

別売の外部入力ケーブルおよびAUX機器を本機に接続することで、映像や音声を本機に入力し、再生することができます。

注意

- AUX機器の映像は安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。
- AUX機器の映像をご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

アドバイス

- AUX機器の接続方法については、別紙の取付要領書をご覧ください。

表示するには

1 AV キーを押す

AVメニューを表示します。

2 ➤ → [AUX] にタッチする



AUX機器の映像を表示します。

お知らせ

- タッチスイッチの[AUX]は、別売の外部入力ケーブルおよびAUX機器を本機に接続していない場合でも表示されますが、タッチしても映像を表示できません。

画面表示を切り換える

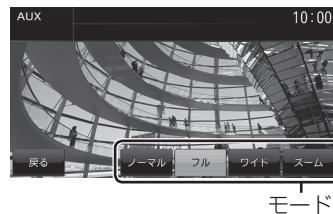
AUXでは4種類のモードが用意されており、表示方法を切り換えることができます。

1 AUX機器の映像を表示中、画面にタッチする

2 ワイドにタッチする

モードの切換メニューを表示します。

3 いずれかの“モード”にタッチする



画面表示のモードが切り換わります。

お知らせ

- 通常画面は縦横比4:3、ワイド画面は縦横比16:9です。
- ズームでは、画質が粗くなります。
- 本機の映像（ナビ画面やDVDの映像、AUXの映像など）は、外部機器へ出力することはできません。

INFO

主に情報確認や各種設定が行えます。

各種情報を確認する	200
エコ情報を確認する	200
表示内容について	200
表示するには	201
e スタートスコアについて	201
エコ運転評価を消去する	201
エコ情報履歴を表示する	202
エコ情報履歴を消去する	202
ETC 情報を確認する	203
ETC とは	203
案内表示について	203
ACC ON にしたとき	203
均一料金所を通過したとき	203
入口料金所を通過したとき	203
出口料金所を通過したとき	204
予告アンテナを通過したとき	204
ETC の履歴を確認する	204
累積料金を表示する	205
累積料金を消去する	205
月別料金表を表示する	205
日別料金表を表示する	206
DSRC 車載器の情報を表示する	206
カメラを使う	207
表示内容について	207
表示するには	208
リアカメラの映像を表示する	208
FM 文字情報を見る	209
表示するには	209
プリセット済の場合	210
番組を表示する	210
緊急情報の受信について	211
放送局を変更する	211
プリセット選局で変更する	211
サーチで変更する	212
マニュアルで変更する	212
放送局を登録する	213
地図データを更新する	214
地図データを SD カードで更新する	214
メンテナンス情報を確認する	216
メンテナンス情報を表示する	216
メンテナンス情報を設定する	217
メンテナンス情報を追加する	218
メンテナンス情報の種類について	218
メンテナンス情報を更新する	219
メンテナンス情報の案内を設定する	219
案内するに設定した場合	219
バージョンを確認する	220
表示するには	220
バージョンアップ方法	220
本機の設定	222
設定を変更する	222
設定できる種別について	222
NAVI の設定	223
設定できる項目について	223
表示の設定	224
音声の設定	226
探索の設定	227
VICS の設定	228
自車位置の補正	229
自車位置情報を確認する	229
センサー学習情報を消去する	229
現在地を補正する	230
ランドマークの表示を個別に設定する	231
AV の設定	232
設定できる項目について	232
音楽 CD の録音方法を変更する	232
自動録音について	233
手動録音について	233
シングル録音について	233
DVD ビデオの初期設定	234
視聴制限のレベルを設定する	235
優先させる言語を変更する	236

INFO の設定	238
設定できる項目について	238
ETC の設定	239
リアカメラの設定	240
カメラの接続設定を行う	240
ガイド線を表示する	240
ガイド線を調整する	241
エコ情報の設定	242
レーンアシストの設定	243
取付カメラの設定をする	244
システムの設定	245
設定できる項目について	245
システム音の設定	246
パワーアンテナの設定	246
メモリ初期化	247
車両取付確認	248
車両信号チェック	248
センサチェック	248
外部機器接続確認	249
GPS 時刻表示・設定	249
起動時セキュリティの設定	250
セキュリティを解除する	250
パスワードを変更する	250
DTV の設定	251
設定項目について	251
視聴設定	252
字幕 / 音声	252
受信機設定	252
自動選局	252
緊急放送	253
表示設定	253
番組 CH	253
初期設定を行う	254
ホーム CH スキャンを行う	254
設定情報を初期化する	254
その他の設定	255
モニターの角度を調整する	255
画質を調整する	255
RGB 画面の調整	255
映像画面の調整	256
リアカメラ映像の調整	256
音質を調整する	256
音質調整の設定項目について	257
画面の表示を消す	258

各種情報を確認する

エコ情報を確認する

アクセルペダルやブレーキの使いかた（加速度情報）を元に判断し、運転操作がどれぐらい燃費に良いかの評価（エコ運転評価）を確認することができます。

お知らせ

- ・エコ情報は省エネを保証するものではありません。あくまで参考情報としてご使用ください。また、道路交通法に従い、実際の交通規制や道路状況に合わせて走行してください。

表示内容について



① エコ運転評価

エコ運転評価を表示します。

② e スタートマスター レベル

アクセルペダルやブレーキの踏みかたから採点し、採点した得点量によってバーが増減します。バーが満タンになれば、レベルがアップします。（最大レベル 5 まで）

③ 今回の e スタートスコア

車のエンジンをかけてから現在までの e スタートスコアを表示します。
→ 「e スタートスコアについて」(P201)

④ 前回の e スタートスコア

前回車を利用したとき（エンジンをかけてエンジンをきるまで）の e スタートスコアを表示します。

→ 「e スタートスコアについて」(P201)

⑤ エコ情報履歴

走行アドバイスが必要な地点を表示します。
→ 「エコ情報履歴を表示する」(P202)

⑥ ▲

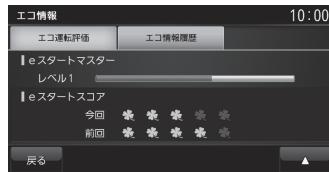
e スタートマスター レベル、e スタートスコアを消去することができます。
→ 「エコ運転評価を消去する」(P201)

表示するには

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 エコ情報にタッチする



エコ情報を表示します。

■ e スタートスコアについて

急発進をしないでアクセルをゆっくり踏むことが、どのくらいできたかの評価を葉っぱの数で確認することができます。

状態	葉っぱの状態
良い	5つ
⋮	5つ
やや良い	4つ
⋮	4つ
普通	3つ
⋮	3つ
やや悪い	2つ
⋮	2つ
悪い	1つ
⋮	1つ

お知らせ

- e スタートスコアは、車のイグニッショングリーンキーを“ACC”または“ON”にした後の「停止→発進」回数により評価を分析し結果を表示します。
- 高速道路などのように「停止→発進」の頻度が少ない場合は、結果が更新されない場合があります。

■ エコ運転評価を消去する

e スタートマスターlevelおよびe スタートスコアを消去することができます。

1 エコ情報表示中、

▲にタッチする

2 消去したい“対象”にタッチする



e スタートマスター消去 e スタートマスターのレベルとバーを消去します。

e スタートスコア消去 前回および今回のe スタートスコアを消去します。

全消去 e スタートマスターおよびe スタートスコアの両方を消去します。

3 消去するにタッチする

エコ運転評価の消去が完了します。



エコ情報履歴を表示する

急発進、急加速、急減速と判断された地点を記憶しリスト（最大100件）表示します。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 エコ情報にタッチする

3 エコ情報履歴にタッチする

4 見たい“履歴”にタッチする



地点とアドバイスを表示します。

アドバイス

- ◀または▶にタッチすると、前の履歴、次の履歴を確認することができます。
- 各アイコンは、以下の地点を示します。
発：発進した地点
加：加速した地点
減：減速した地点

■ エコ情報履歴を消去する

履歴を消去することができます。

1 「エコ情報履歴を表示する」(P202)手順3まで操作する

2 消去したい“履歴”を選び、

▲にタッチする

3 いずれかの“消去方法”にタッチする



1件消去

現在選ばれている場所を履歴から消去します。

選択消去

複数の場所を選んで[消去]にタッチすると履歴から消去します。

全消去

登録されているすべての履歴を消去します。

4 消去するにタッチする

エコ情報履歴の消去が完了します。

ETC 情報を確認する

ETC 機能の使いかたについて説明します。

お知らせ

- ETC 車載器を本機に接続することはできません。

ETC とは

ETC とは、有料道路等におけるノンストップ自動料金収受システム (Electronic Toll Collection System) のことで、DSRC 機能 (P99) の一部です。

本機に別売の接続ケーブルおよび DSRC 車載器を取り付けることで ETC 機能をご利用になれます。

- 有料道路等の料金所を通過する際に、一旦停止することなく自動的に通行料金の支払い手続きが可能になります。
- 料金所の出入り口で通行料金を音声と画面のテロップで案内します。
- ETC の通行履歴を表示することができます。

お知らせ

- 本機能をご利用いただくには、別売の三菱電機製 DSRC 車載器と ETC カードおよび接続ケーブルが必要です。但し、モデルによっては接続できない場合がありますので、詳しくは販売店にお問い合わせください。
- ETC カード未挿入や DSRC 車載器の故障によるエラーが表示される場合がありますが、本機の故障ではありません。エラー内容を確認し車載器の取扱説明書に従って処置してください。
- ETC ゲート、ETC カード未挿入お知らせアンテナもしくは予告アンテナを通過した場合に、料金案内図やお知らせ等を表示する場合があります。
- 料金所は名称で表示される場合と番号で表示される場合があります。
- 本機側で ETC 利用料金や利用履歴を表示できますが、必ずクレジットカード会社から発行される利用明細、または ETC マイレージサービスのユーザー登録時に受けとることのできる照会サービスで確認してください。

お知らせ

- DSRC 車載器本体の詳細については、車載器の取扱説明書をご覧ください。

案内表示について

ETC カードの挿入案内や料金所を通過したときなどの案内表示について説明します。

■ ACC ON にしたとき

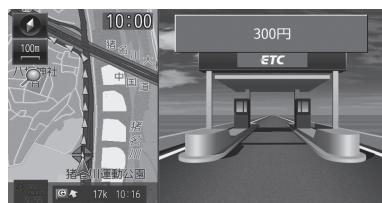
ACC ON にすると、ETC カードの使用可否を表示と音声でお知らせします。

アドバイス

- カード使用可否の案内は、[ETC の設定] の「ETC カード案内」で案内有無を選ぶことができます。
→ 「INFO の設定」(P238)
- 画面 OFF の状態でも、DSRC 車載器からお知らせがあると画面を ON にし表示と音声案内が行われます。
- ETC カードの有効期限案内機能は、有効期限案内対応の DSRC 車載器に限ります。

■ 均一料金所を通過したとき

料金所案内図と料金が表示され、音声で料金案内を行います。



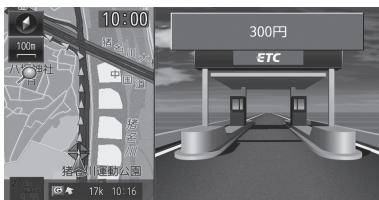
■ 入口料金所を通過したとき

料金所案内図が表示され、音声案内はありません。



■ 出口料金所を通過したとき

料金案内図と料金が表示され、音声で料金案内を行います。



お知らせ

- 入口料金所で ETC ゲートを通過していなかった場合は、ETC の料金案内は行わぬ通常の料金案内図が表示されます。

アドバイス

- [ETC の設定] の「ETC 通過音」で [鳴らす] に設定すると ETC ゲート通過時に、通過音を鳴らすことができます。
→ 「INFO の設定」(P238)

■ 予告アンテナを通過したとき

予告アンテナを通過したことを告げるテロップが表示されます。

予告アンテナ受信内容が表示され、音声でも案内が行われます。

ETC の履歴を確認する

全履歴情報画面を表示して確認することができます。

注意

- 履歴読み込み中に ETC カードを抜かないでください。通信エラーなどが発生します。

お知らせ

- ETC に関するエラー表示があった場合、ETC カードを正しく DSRC 車載器に挿入するまで ETC 履歴の画面を表示できません。

アドバイス

- 履歴は最大 100 件まで新しいものから順に表示します。
- 料金は、- 99,999 円 ~ 999,999 円まで表示することができます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 ETC にタッチする

ETC料金履歴		
20XX年07月28日	17:51	150円
0XX0-XX-00X		
20XX年07月28日	17:50	700円
0XX0-XX-X05	~ 0XX0-XX-X01	
20XX年07月28日	10:13	1000円
0XX0-XX-X01	~ 0XX0-XX-X05	

全履歴情報画面を表示します。

累積料金を表示する

累積料金を確認することができます。

1 全履歴情報画面表示中、 [▲] にタッチする

2 [累積料金] にタッチする



累積料金を表示します。

アドバイス

- [▲] → [全履歴情報] にタッチすると、全履歴情報画面 (P204) に戻ります。
- 料金は、- 99,999 円～ 999,999 円まで表示することができます。

■ 累積料金を消去する

累積料金を消去(クリア)することができます。

1 「累積料金を表示する」 (P205) を操作する

2 [累積料金クリア] にタッチする

3 [クリアする] にタッチする



累積料金を消去します。

月別料金表を表示する

月別に料金を確認することができます。

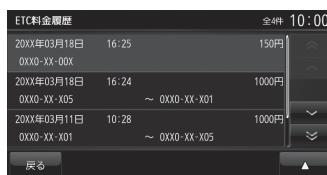
1 全履歴情報画面表示中、 [▲] にタッチする

2 [月別料金表] にタッチする

アドバイス

- 各月に表示されている料金は、その月での累積料金です。

3 見たい “月のリスト” にタッチする



選んだ月の詳細な履歴を表示します。

アドバイス

- [▲] → [全履歴情報] にタッチすると、全履歴情報画面 (P204) に戻ります。
- 料金は、- 99,999 円～ 999,999 円まで表示することができます。

日別料金表を表示する

日別の料金を確認することができます。

1 全履歴情報画面表示中、 [▲] にタッチする

2 [日別料金表] にタッチする

アドバイス

- 各日に表示されている料金は、その日の累積料金です。

3 見たい“日にちのリスト”に タッチする

ETC料金履歴	全件	10:00
20XX年06月10日 16:09	750円	▼
0XX0-XX-00X		▲
20XX年06月10日 16:08	1250円	▼
0XX0-XX-X09 ~ 0XX0-XX-X04		▲
20XX年06月10日 10:14	1250円	▼
0XX0-XX-X04 ~ 0XX0-XX-X09		▲

選んだ日の詳細な履歴を表示します。

アドバイス

- [▲] → [全履歴情報] にタッチすると、全履歴情報画面 (P204) に戻ります。
- 料金は、- 99,999 円～ 999,999 円まで表示することができます。

DSRC 車載器の情報を表示する

本機に接続されている DSRC 車載器の型名、型式登録番号、車載器管理番号を確認することができます。

1 全履歴情報画面表示中、 [▲] にタッチする

2 [ETC 登録情報] にタッチする

ETC車載器登録情報		10:00
型式名	0000000	
型式登録番号	0000	
車載器管理番号	0000X-000XXX-000XXX	

登録情報を表示します。

アドバイス

- [▲] → [全履歴情報] にタッチすると、全履歴情報画面 (P204) に戻ります。

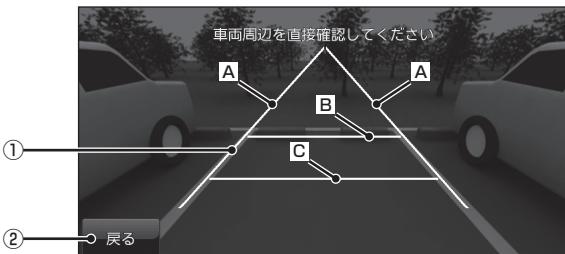
カメラを使う

別売のリアカメラが接続されている場合、ディスプレイにリアカメラの映像を表示できます。

お知らせ

- 接続するカメラによっては、本書で記載する内容で動作しない場合があります。
本機能を使用するには、あらかじめ「リアカメラの設定」を行う必要があります。
→「カメラの接続設定を行う」(P240)

表示内容について



※画面はリアカメラ

① ガイド線（目安線）

車両の幅や距離の目安となる線。

Ⓐ : 車幅 + 約 20cm の目安

Ⓑ : 車両最後尾から約 2m の目安

Ⓒ : 車両最後尾から約 50cm の目安

② 戻る

カメラ映像を消して直前の画面に戻ります。

[INFO] キーを押し続けると元のカメラ映像を表示します。

お知らせ

- ガイド線は、[リアカメラの設定] の [カメラガイド線の設定] で [ガイド線表示] にタッチして表示しておく必要があります。→「ガイド線を表示する」(P240)
- [リアカメラの設定] の [カメラガイド線の設定] でガイド線をあらかじめ調整しておく必要があります。→「ガイド線を調整する」(P241)

⚠ 警告

- ・カメラの映像は、注意義務を免除または軽減するものではありません。
カメラが装着されていない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。

注意

- ・泥や雪などが付着して固まったときは、堅い棒などでたたかず水または、ぬるま湯をかけ、柔らかい布で拭き取ってください。
- ・乗車人数や積載状態によっては、カメラ映像やガイド線にズレが生じる場合があります。
- ・坂道や車両が傾いている場合は、カメラ映像やガイド線にズレが生じる場合があります。

表示するには

■ リアカメラの映像を表示する

1 シフトポジションを「R」にする



リアカメラの映像を表示します。

アドバイス

- ・シフトポジションを「R」にしたまま〔現在地〕キーを押して現在地画面を表示すると、現在地画面に が表示されます。 にタッチするとリアカメラの映像に戻ることができます。

FM 文字情報を見る

FM 多重放送による文字情報 (FM 文字多重放送) を確認することができます。

FM 文字多重放送とは

FM 放送電波のすき間を利用して音声と一緒に文字情報を送信するサービスです。FM 文字多重放送は、本機に接続している FM アンテナから受信して以下の情報を見ることができます。

番組情報 FM	ラジオ番組と連携した今流れている曲のタイトルやアーティスト名、リクエストの宛先などの情報。
独立情報	ラジオ番組とは関係なく、いつも見られるニュースや天気、交通などの情報。
緊急情報	放送局が「緊急情報番組」を放送したときのみ表示させる情報。 →「緊急情報の受信について」(P211)

表示するには

初期の状態では、放送局は登録されていませんので、マニュアル操作による放送局の選局が必要になります。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 [FM 文字情報] にタッチする

マニュアル選局画面を表示します。

アドバイス

- すでに放送局がプリセット (P213) されている場合は、プリセット選局画面を表示します。
→「プリセット済の場合」(P210)

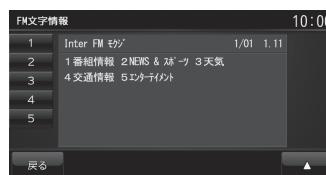
3

▽周波数 ▲ にタッチし、“受信したい放送局の周波数”を選ぶ



4

[受信] にタッチする



受信できた放送局のジャンル一覧を表示します。以降の操作は「番組を表示する」(P210) と同じです。

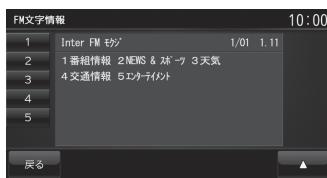
INFO

各種情報を確認する

■ プリセット済の場合

「表示するには」(P209) の手順 2 の後、プリセット済の場合は、プリセット選局画面を表示します。その場合は、以下の操作を行います。

1 「受信したい放送局の番号」にタッチする



選んだ放送局のジャンル一覧を表示します。
以降の操作は「番組を表示する」(P210) と同じです。

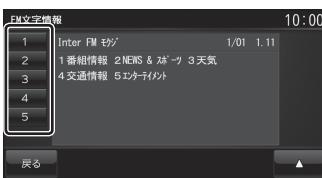
番組を表示する

選んだ放送局の番組情報を見ます。

1 ジャンル一覧を表示する

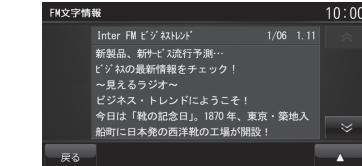
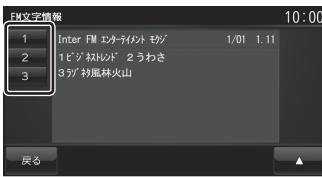
→ 「表示するには」(P209)

2 「見たいジャンルの番号」にタッチする



番組一覧を表示します。

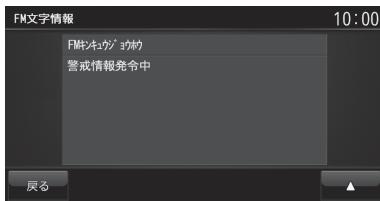
3 「見たい番組の番号」にタッチする



番組を表示します。

緊急情報の受信について

番組表示中などに緊急情報を受けると受信音とともに文字情報を自動的に表示します。



放送局を変更する

番組表示中やジャンル一覧、番組一覧、プリセット選局画面から、別の放送局に変更することができます。

ここでは、番組表示中 (P210) からの操作を説明します。

アドバイス

- 変更した放送局を登録 (プリセット) することができます。登録した放送局はプリセット選局画面で表示されます。
→ 「放送局を登録する」 (P213)

■ プリセット選局で変更する

あらかじめ登録された放送局の中から選ぶことができます。

お知らせ

- あらかじめ放送局を登録しておく必要がります。
→ 「放送局を登録する」 (P213)

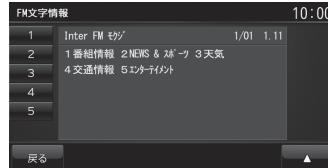
1 番組表示中、▲にタッチする

2 プリセット選局にタッチする



プリセット選局画面を表示します。

3 “受信したい放送局の番号”にタッチする



選んだ放送局のジャンル一覧を表示します。以降の操作は「番組を表示する」 (P210) と同じです。

INFO

各種情報を確認する

■ サーチで変更する

電波の強い受信可能な放送局を自動で探し、一覧表示します。

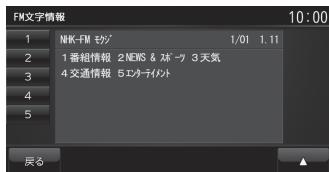
1 番組表示中、**▲** にタッチする

2 [サーチ] にタッチする



受信可能な放送局の一覧を表示します。

3 “受信したい放送局の番号” にタッチする



選んだ放送局のジャンル一覧を表示します。
以降の操作は「番組を表示する」(P210) と同じです。

アドバイス

- 再度、サーチを行う場合は **▲** → [再サーチ] にタッチします。

■ マニュアルで変更する

直接周波数を指定して放送局を変更します。

1 番組表示中、**▲** にタッチする

2 [マニュアル選局] にタッチする

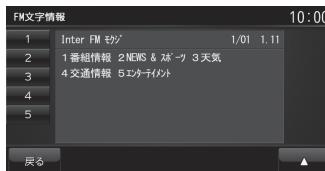


マニュアル選局画面を表示します。

3 **▼ 周波数 ▲** にタッチし、“受信したい放送局の周波数” を選ぶ



4 [受信] にタッチする



受信できた放送局のジャンル一覧を表示します。
以降の操作は「番組を表示する」(P210) と同じです。

シークによる選局

マニュアル選局中でも、シークを行うことで、放送局のある周波数をはやすく探し出すことができます。

1 番組表示中、**▲**にタッチする

2 **マニュアル選局**にタッチする



マニュアル選局画面を表示します。

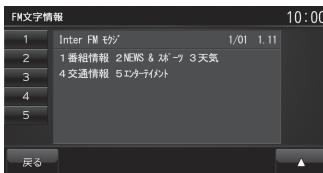
3 **▽ 周波数 ▲**にタッチし続ける



受信可能な放送局が見つかればシークが止まります。

この操作を繰り返し、受信したい放送局を探します。

4 **受信**にタッチする



受信できた放送局のジャンル一覧を表示します。以降の操作は「番組を表示する」(P210)と同じです。

放送局を登録する

受信中の放送局を登録(プリセット)します。放送局を登録しておくことで、プリセット選局画面から放送局を選択できるようになります。

1 放送局(周波数)を選ぶ

→「放送局を変更する」(P211)

2 **▲**にタッチする

3 **プリセット登録**にタッチする

4 “登録したい番号”にタッチする



放送局(周波数)を選んだ番号に登録します。

地図データを更新する

SDカードによる地図データ更新の概要を説明します。

開通道路情報更新について

- ・開通道路情報更新はお使いの地図データバージョンから1年間の開通予定道路のみ対象となります。
- ・開通道路を通る経路では実際と異なる料金が表示／案内される場合があります。
- ・開通道路は市街地地図表示には反映されません。
- ・10kmスケール以上の広域表示では開通道路は表示されません。
- ・開通道路では高速略図の表示ができません。
- ・開通道路ではVICS情報に対応しておりません。
- ・開通道路では都市高速入口イラストマップや3Dリアルジャンクションに対応しておりません。
- ・実際の道路形状と異なる場合があります。

充電スタンド情報更新について

電気自動車(EV)の充電スタンド情報がダウンロードでき、ドライブ前に最新情報をチェックできます。

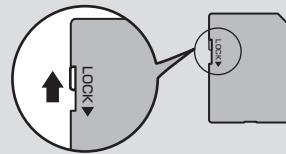
地図データをSDカードで更新する

ご自宅のパソコンからインターネットを利用して地図データを取得します。

更新できるデータは開通道路情報および充電スタンド情報です。

お知らせ

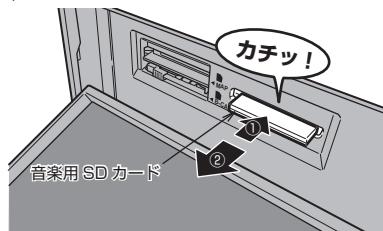
- ・一部の機種は、本操作での地図更新はできません。
- ・本サービスの利用は無料ですが、通信費はお客様のご負担となります。
- ・あらかじめ地図カードおよび音楽用SDカードのロックを解除しておいてください。



- ・あらかじめ地図データバージョンを確認しておいてください。
→「バージョンを確認する」(P220)

1 本機から音楽用SDカードを取り出す

(音楽用SDカードが挿入されている場合のみ)



→「SDカードを取り出す」(P18)

2 ご自宅のパソコンから対象の地図データを取得する

三菱電機ホームページから地図データをダウンロードします。

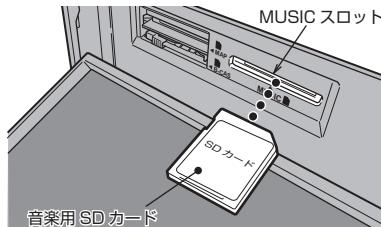
3 ダウンロードした圧縮ファイルを解凍する

ZIP圧縮されているファイルは、解凍しておく必要があります。

4 解凍したファイルをすべて音楽用SDカードにコピーする

解凍したファイルの容量を確認し、容量にあったSDカードを準備してください。

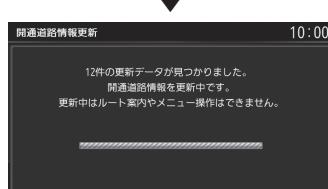
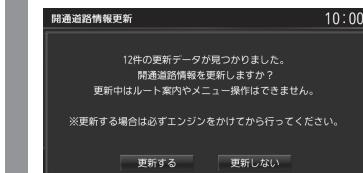
5 ファイルがコピーされた音楽用SDカードを本機に挿入する



→「SDカードを挿入する」(P17)

6 [更新する] にタッチする

音楽用SDカードから更新データが見つかると以下の画面を表示します。



更新が完了します。

メンテナンス情報を確認する

お車の各パーツの交換時期を管理することができます。

メンテナンス情報を表示する

エンジンオイルやオイルフィルタなどの交換時期を確認することができます。

お知らせ

- メンテナンス情報で使用する走行距離は本機で計算したものであり、車両の距離計と必ずしも一致しません。
- 地図更新中、プログラム更新中などは走行距離の計算ができないため、この間に走行した距離はメンテナンス情報に反映されません。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 メンテナンス情報にタッチする



メンテナンス情報を表示します。

アドバイス

- 各パーツの交換予定日または交換後の走行距離が近づくと黄色、過ぎると赤色で表示されます。
- 交換時期の通知は交換予定日の 10 日前もしくは交換後の走行距離が残り 200km 以下となります。

3 見たい各“パーツ”にタッチする



詳細情報を表示します。

アドバイス

- 「前回交換日」は、メンテナンスを実施した日付を表示します。
- 「次回交換予定日」はメンテナンス実施日を表示します。
- 「交換後走行距離」はメンテナンス実施日までの残走行距離を表示します。

メンテナンス情報を設定する

メンテナンス期日およびメンテナンス距離を設定することができます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 メンテナンス情報にタッチする

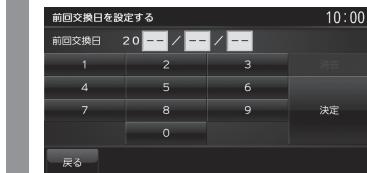
3 設定したい“パート”にタッチする



4 “前回交換日”にタッチする



5 “前回交換した日”を入力し、決定にタッチする



→「文字入力のしかた」(P20)

アドバイス

- すでに入力されている場合は、[消去]にタッチします。

6 “メンテナンス期日”にタッチする



7 ▼または▲にタッチして期日を入力し、決定にタッチする



8 “メンテナンス距離”にタッチする



9 “距離”を入力し、決定にタッチする



→「文字入力のしかた」(P20)

10 戻るにタッチする

メンテナンス情報の設定が完了しました。

お知らせ

- 初期値の距離・期日は目安です。必ず車に付属するメンテナンス情報に従って値を入力してください。

■メンテナンス情報を追加する

お客さまが追加したいメンテナンス項目を登録することができます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 メンテナンス情報にタッチする

3 ユーザー項目○にタッチする

アドバイス

- 「ユーザー項目 1」～「ユーザー項目 3」までの項目に追加することができます。

4 名称編集にタッチする

→「文字入力のしかた」(P20)

5 追加する“パート名”を入力し、

【入力完了】にタッチする



以降は、「メンテナンス情報を設定する」(P217)手順4と同じです。
「前回交換日」および「メンテナンス期日」、「メンテナンス距離」を設定してください。

■メンテナンス情報の種類について

お知らせ

- 以下、あらかじめ用意しているパートのメンテナンス期日およびメンテナンス距離は、工場出荷時の値を示しています。
- 工場出荷時の値については、お車のメンテナンスブックなどを参考に変更しておくことをおすすめいたします。

名称	メンテナンス期日	メンテナンス距離(km)
エンジンオイル	1年	15,000
オイルフィルタ	1年	15,000
AT/MT オイル	4年	40,000
ブレーキオイル	4年	40,000
デフォイル	8年	80,000
タイヤ交換	1年	10,000
タイヤローテーション	6ヶ月	5,000
ブレーキパッド(F)	1年	5,000
ブレーキパッド(R)	1年	5,000
空気圧チェック	1ヶ月	1,000
ワイパークリーナー	1ヶ月	1,000
ラジエタークーラント	4年	40,000
バッテリー	1ヶ月	1,000
エアフィルタ	5年	50,000
ウォッシャー液	1ヶ月	1,000
ユーザー項目1	—	—
ユーザー項目2	—	—
ユーザー項目3	—	—

メンテナンス情報を更新する

パーツの交換を実施したときに、メンテナンス情報を更新します。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 メンテナンス情報にタッチする

3 交換を実施した“パーツ”的交換にタッチする



4 [更新する]にタッチする

▼
メンテナンス情報を更新します。

アドバイス

- 情報を更新すると「前回交換日」は現在の日付が設定されます。交換日の修正を行いたい場合は、「前回交換日」にタッチして変更してください。

メンテナンス情報の案内を設定する

メンテナンス情報の案内を設定すると、本機起動後にパーツの交換日が近づいたり、過ぎたりすると案内表示をします。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 メンテナンス情報にタッチする

3 案内したいパーツの“案内”にタッチする



「案内」が設定されます。

: 案内する

: 案内しない

■ 案内するに設定した場合

パーツの交換日が近づいたり、過ぎたりした場合に本機起動後、以下のようなメッセージを表示します。



各タッチスイッチにタッチするとメッセージが消えます。次回起動後の動作は以下のようになります。

次回から表示しない	次回起動後からメッセージを表示しません。
消去する	次回起動後もメッセージを表示します。

バージョンを確認する

地図データバージョンの確認ができます。また、バージョンアップ方法についても説明します。

表示するには

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → バージョン情報にタッチする



地図データバージョンを表示します。

アドバイス

- 地図データを更新する場合は、「地図データを更新する」(P214)をご覧ください。
- 本機の Gracenote データベースを更新する場合は、「Gracenote データベースを SD カードで更新する」(P125)をご覧ください。

バージョンアップ方法

別売の上位バージョンの地図カードと本体の地図カードを交換することでナビ機能のバージョンアップが行えます。

注意

- 駐停車禁止外の安全な場所に停車してから行ってください。

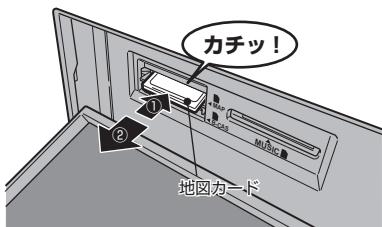
1 ▲ キーを押す

2 モニター OPEN にタッチする



パネルが開きます。

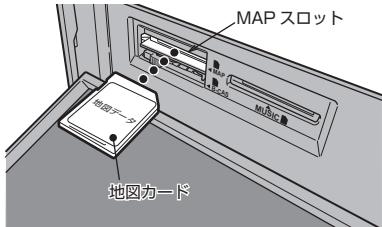
3 地図カードを「カチッ」と音がするまで押す

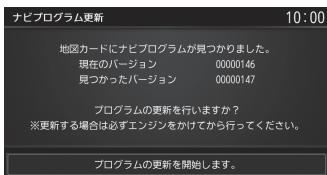
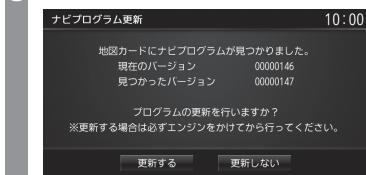


地図カードが飛び出し、抜き取れる状態になります。ゆっくりと抜いてください。

4 別売の上位バージョンの地図カードを本体に差し込む

「カチッ」と音がするまで差し込みます。



5 ▲ キーを押し、パネルを閉じる**6 [更新する] にタッチする**

自動的に読み込みを開始します。

読み込み完了後、再起動しバージョンアップが完了します。

[お知らせ]

- 手順 6 で記載の画面が表示されない場合は、[現在地] キーを押してください。
- バージョンアップ完了後、バージョンの確認を行ってください。

本機の設定

1 設定を変更する

本機の設定を変更します。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定にタッチする

3 変更したい“種別”にタッチする



4 変更したい“項目”にタッチする



5 設定を変更する



▼
設定の変更が完了します。

■ 設定できる種別について

Navi の設定	ナビゲーション機能に関する各設定が行えます。 →「NAVI の設定」(P223)
AV の設定	AV 機能に関する各設定が行えます。→「AV の設定」(P232)
Info の設定	カメラやレーンアシスト、エコ情報に関する設定が行えます。(P238)
システムの設定	操作音やセキュリティ、パワーアンテナなどの設定が行えます。 →「システムの設定」(P245)
モニター角度の調整	モニターの角度調整が行えます。 →「モニターの角度を調整する」(P255)
画質調整	映像に関する調整が行えます。 →「画質を調整する」(P255)
音質調整	オーディオの音質に関する設定が行えます。 →「音質を調整する」(P256)
バージョン情報	地図や Gracenote データベースのバージョン確認が行えます。 →「バージョンを確認する」(P220)
画面 OFF	画面の表示を消します。 →「画面の表示を消す」(P258)

NAVI の設定

ナビゲーション機能に関する各設定を変更します。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 にタッチする

3 Navi の設定 にタッチする

4 変更したい “項目” にタッチする



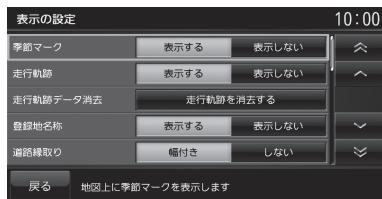
選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

表示の設定	表示に関する設定の変更が行えます。 → 「表示の設定」 (P224)
音声の設定	音声案内に関する設定の変更が行えます。 → 「音声の設定」 (P226)
探索の設定	ルート探索に関する設定の変更が行えます。 → 「探索の設定」 (P227)
VICS の設定	VICS に関する設定の変更が行えます。 → 「VICS の設定」 (P228)
自車位置の補正	センサー学習情報の消去や現在地の補正が行えます。 → 「自車位置の補正」 (P229)

表示の設定

表示に関する設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
季節マーク	表示する	地図に表示する季節マークについて、表示有無を設定できます。
	表示しない	
走行軌跡	表示する	地図に表示する走行軌跡について、表示有無を設定できます。 (表示しないに設定している場合でも蓄積は行われています。)
	表示しない	
走行軌跡データ消去	走行軌跡を消去する	蓄積されている自車の走行軌跡情報をクリアします。
登録地名称	表示する	地図に表示する登録地名称について、表示有無を設定できます。
	表示しない	
道路縁取り	幅付き	地図の道路線について、縁取り表示を変更できます。
	しない	
レーン情報	表示する	地図画面で表示するレーン情報について、表示有無を設定できます。
	表示しない	
ランドマーク	表示する	地図に表示するランドマークについて、表示有無を設定できます。
	表示しない	
ランドマーク選択	ランドマークを選択する	ランドマークの種類ごとに表示有無を設定できます。 →「ランドマークの表示を個別に設定する」(P231)
スクロール方面名称	表示する	スクロール中に表示する方面名称について、表示有無を設定できます。 →「スクロール方面名称表示について」(P45)
	表示しない	
交差点案内図	3D 表示	地図画面で表示する交差点案内図の種類を設定できます。
	2D 表示	
昼夜色	自動切換	地図画面の色を車両の ILL(ヘッドライトおよびポジションランプ)点灯に連動して変更します。 ILL ON 時：暗い色になります。 ILL OFF 時：明るい色になります。
	昼固定	常に明るい色になります。
	夜固定	常に暗い色になります。
地図色	地図色 1	地図を通常の色合いにします。
	地図色 2	地図をユニバーサルデザインの色合いにします。
	地図色 3	地図をパステル調の色合いにします。
	地図色 4	地図を道路優先の色合いにします。

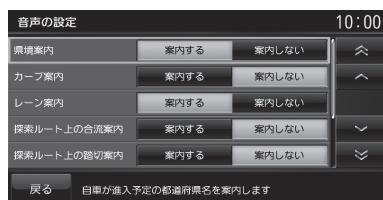
「表示の設定」のつづき

設定名	設定値	設定内容
メニュー表示言語 (Menu Language)	日本語 (Japanese)	メニュー名の言語について、設定できます。 ※一部の機種のみの機能です。
	英語 (English)	
地図表示言語 (Map Language)	日本語 (Japanese)	地図に表示する地名や施設名などの言語について、設定できます。
	英語 (English)	
高速略図自動表示	自動表示する	高速道路走行時、高速略図を自動で表示するかしないかを設定できます。
	自動表示しない	
AV アイコン	表示する	地図画面で表示する AV アイコン (オーディオの状態アイコン)について、表示有無を設定できます。
	表示しない	
ルート残距離	目的地まで	ルート設定時の現在地画面 (P34) で表示する“目的地 / 経由地情報”での距離の基準を変更できます。
	次の経由地まで	
探索ルート	矢印	ルート案内マーク (P34) の表示方法を変更できます。
	線	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

音声の設定

音声案内に関する設定の変更が行えます。

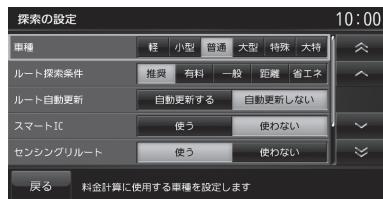


設定名	設定値	設定内容
県境案内	案内する	県境通過時の県境表示 (P42) および音声案内の有無を設定できます。
	案内しない	
カーブ案内	案内する	カーブ案内の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
レーン案内	案内する	レーン案内の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
探索ルート上の 合流案内	案内する	合流案内 (ルート上) の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
探索ルート上の 踏切案内	案内する	踏切案内 (ルート上) の音声案内有無を設定できます。
	案内しない	
交差点名称読み上げ	読み上げる	交差点名称の読み上げ有無を設定できます。
	読み上げない	
方面名称読み上げ	読み上げる	方面名称の読み上げ有無を設定できます。
	読み上げない	
案内言語	日本語	案内音声の言語を設定できます。
	英語	
	韓国語	
	中国語 (北京語)	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

探索の設定

ルート探索に関する設定の変更が行えます。

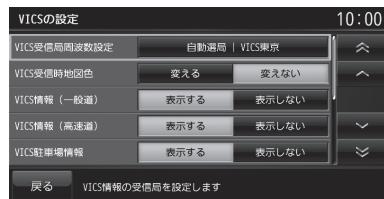


設定名	設定値	設定内容
車種	軽	本機を装着している車種を選択してください。ルート計算などで必要な情報となります。
	小型	ただし、高速道路などの料金計算時は、「小型」は「軽」として、「大型」「特殊」「大特」は「普通」として計算されます。
	普通	
	大型	
	特殊	
	大特	
ルート探索条件	推奨	ルート探索時の初期値を“推奨ルート”に変更します。 目的地(経由地)まで一般的と思われるルートを探索します。
	有料	ルート探索時の初期値を“有料優先”に変更します。 目的地(経由地)の近くまでなるべく有料道路を使用するルートを探索します。
	一般	ルート探索時の初期値を“一般優先”に変更します。 目的地(経由地)までなるべく有料道路を使用しないルートを探索します。
	距離	ルート探索時の初期値を“距離優先”に変更します。 目的地(経由地)までできるだけ距離が短くなるルートを探索します。
	省エネ	ルート探索時の初期値を“省エネ”に変更します。 目的地(経由地)までできるだけ燃費を節約したルートを探索します。
ルート自動更新	自動更新する	[自動更新する]に設定されていると、ルート走行中、ルート前方に通行止めやその他の規制が発生した場合、回避するためのルートが自動的に再探索され、新しいルート案内を開始します。
	自動更新しない	
スマート IC	使う	スマート IC(P268)の使用有無を設定できます。
	使わない	
センシングリルート	使う	センシングリルート(P268)の使用有無を設定できます。
	使わない	
渋滞予測	使う	渋滞予測の使用有無を設定できます。
	使わない	
到着予想時刻学習リセット	学習データをリセットする	到着予想時刻の計算で使用する学習データを消去します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

VICS の設定

VICS に関する設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
VICS 受信局 周波数設定	自動選局	VICS 局の指定方法を選択することができます。 → 「VICS 局を選ぶ」 (P98)
	県指定	
	周波数指定	
VICS 受信時地図色	変える	[変える] に設定すると、VICS 情報(レベル3)受信時、VICS 情報を見やすくするために地図色を変更します。
	変えない	
VICS 情報 (一般道)	表示する	地図に表示する VICS 情報(一般道)の有無を設定できます。
	表示しない	
VICS 情報 (高速道)	表示する	地図に表示する VICS 情報(高速道)の有無を設定できます。
	表示しない	
VICS 駐車場情報	表示する	地図に表示する VICS 駐車場情報の有無を設定できます。
	表示しない	
受信情報割り込み	割込表示する	情報受信時の割り込み表示をするかしないかを設定できます。
	割込表示しない	
受信情報読み上げ	自動	受信した音声情報の読み上げ方法を設定できます。
	手動	
走行情報 (DSRC)	送信する	DSRC 車載器接続時、走行情報を送信するかしないかを設定できます。
	送信しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

自車位置の補正

自車位置の確認やセンサー学習情報の消去、現在地の補正が行えます。

■ 自車位置情報を確認する

GPS衛星の受信数、緯度・経度などの現在地の情報を確認することができます。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → Navi の設定 にタッチする

3 [自車位置の補正] にタッチする

4 [自車位置情報] にタッチする



自車位置の情報を表示します。

■ センサー学習情報を消去する

車速センサー・ジャイロセンサーは自動学習によりレベルがあがります。タイヤを交換したときなどは車速の学習データを消去し、学習をやり直す必要があります。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定 → Navi の設定 にタッチする

3 [自車位置の補正] にタッチする

4 [センサー補正状況] にタッチする



センサー補正状況の画面を表示します。

5 “車速”または“ジャイロ”的 [消去] にタッチする

6 [消去する] にタッチする

センサー学習データの消去が完了します。

この後、「自車位置精度と自動補正について」(P230)を確認して、補正を行ってください。

注意

- ・消去したデータの復旧はできません。

自車位置精度と自動補正について

- センサー学習情報を消去した場合は、見晴らしの良い場所をしばらく一定速度で走行し、交差点で右左折を行うことで車速やジャイロの自動学習を早めることができます。
- GPS の受信状態の良いときに直線道を一定速度で走行すると車速自動補正が働き、交差点の右左折を繰り返すことでジャイロの自動補正が働きます。車速とジャイロの自動補正が働くことで、自車位置精度は徐々に向上していきます。

アドバイス

- 自車位置精度が安定するまで、場合によっては数時間の走行が必要な場合があります。見晴らしの良い高速道路のような場所を走行しますと自動補正が働きやすくなります。

■ 現在地を補正する

実際の車の位置と地図に表示されている自車の位置がずれていた場合などに、この操作を行い補正することができます。

アドバイス

- 通常は GPS 衛星からの情報を元に自動補正しています。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → Navi の設定

にタッチする

3 [自車位置の補正] にタッチする

4 [現在地補正] にタッチする

5 地図スクロールして “実際の車の位置” に + マークを合わせる



6 [決定] にタッチする

7 ↙ または ↘ にタッチして 自車の向きを合わせる



8 [決定] にタッチする

▼
現在地の補正が完了します。

アドバイス

- 高速道路付近に合わせた場合、以下の画面を表示しますので、いずれかにタッチしてください。



ランドマークの表示を個別に設定する

ランドマークの種類ごとに表示有無を設定できます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → Navi の設定

にタッチする

3 表示の設定 にタッチする

4 「ランドマーク選択」の

ランドマークを選択する

にタッチする



5 種類ごとに 表示する または 表示しない をタッチしていく



▼
表示するランドマークの選択が完了します。

AV の設定

AV 機能に関する各設定を変更します。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 にタッチする

3 AV の設定 にタッチする

4 変更したい “項目” にタッチする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

CD 録音設定 ^{※1}	CD の録音に関する設定の変更ができます。 → 「音楽 CD の録音方法を変更する」(P232)
DVD 初期設定	DVD の初期設定の変更ができます。 → 「DVD ビデオの初期設定」(P234)

※ 1 一部の機種は、MusicFolder の録音機能に対応していません。

音楽 CD の録音方法を変更する

自動録音や手動録音などの録音方法を変更することができます。

お知らせ

- 一部の機種は、MusicFolder の録音機能に対応していません。
- 録音中にこの操作を行うと、現在の録音を停止します。

1 INFO キーを押す

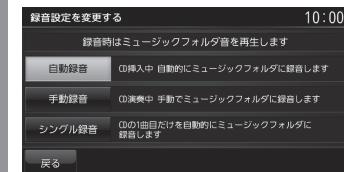
INFO メニューを表示します。

2 設定 にタッチする

3 AV の設定 にタッチする

4 CD 録音設定 にタッチする

5 変更したい “録音方法” にタッチする



録音方法の変更が完了しました。

アドバイス

- 音楽 CD の再生情報画面で ▲ → [録音設定] にタッチしても、録音方法の変更が行えます。

■自動録音について

工場出荷時の設定で、音楽 CD を本機に挿入し、[録音する] にタッチすることで録音する設定です。

お知らせ

- ・録音中に録音済の別の曲を選ぶと、現在の録音は継続したまま選んだ曲の再生を開始します。
- ・録音中に録音していない別の曲を選ぶと、現在の録音を停止し選んだ曲の録音と再生（追いかけ再生）を開始します。
- ・[録音しない] にタッチした場合は、サブメニューの [録音開始] → [開始する] (P149) にタッチすることで録音することができます。

■手動録音について

再生中の音楽 CD の曲をサブメニューの [録音開始] (P149) にタッチすることで録音する設定です。

お知らせ

- ・録音中に別の曲を選ぶと現在の録音を中止し、選んだ曲の再生を開始します。

■シングル録音について

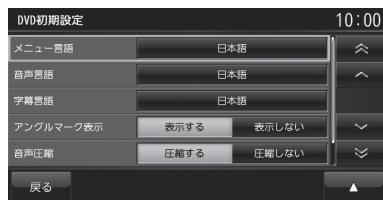
音楽 CD を本機に挿入し、[録音する] にタッチすることで 1 曲目だけを録音する設定です。

お知らせ

- ・[録音しない] にタッチした場合、1 曲目再生中にサブメニューの [録音開始] → [開始する] (P149) にタッチすることで録音することができます。
- ・録音中に別の曲を選ぶと 1 曲目の録音を中止し、選んだ曲の再生を開始します。再度 1 曲目の録音を開始するには、1 曲目再生中にサブメニューの [録音開始] → [開始する] (P149) にタッチします。
- ・この設定のとき、1 曲目以外の曲を再生中にサブメニューの [録音開始] (P149) にタッチしても録音はできません。

DVD ビデオの初期設定

字幕や音声の言語の設定、視聴制限のレベル設定の変更が行えます。



設定名	設定値	設定内容
メニュー言語		ディスクに記録されているメニュー画面の言語について、優先して表示させたい言語が設定できます。(工場出荷時は、[日本語])
音声言語		ディスクに記録されている音声について、優先してききたい言語の設定ができます。(工場出荷時は、[日本語])
字幕言語		ディスクに記録されている字幕について、優先して表示させたい言語の設定ができます。(工場出荷時は、[日本語])
アングルマーク表示	表示する 表示しない	複数のアングルが収録されている場面を再生しているときにアングルマークを表示するかしないかの設定ができます。
音声圧縮	圧縮する 圧縮しない	ダイナミックレンジ圧縮を利用するかしないかの設定ができます。 ダイナミックレンジ圧縮とは DVD ビデオ再生時に小音量と大音量の音の幅を一定に制御(ダイナミックレンジコントロール)し、小さな音でも聴きやすくする機能です。音声圧縮の効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声のみです。
視聴制限	レベル 1 ~ 8	視聴制限のパスワードとレベルの設定ができます。 (工場出荷時は、[8]) → 「視聴制限のレベルを設定する」(P235)
	▲	サブメニューを表示します。 [初期値]にタッチすると、DVD ビデオの初期設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 視聴制限のレベルを設定する

成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場合に視聴制限をかけることができます。(パレンタルロック)

お知らせ

- 最初にご使用になるときはパスワードを設定してください。視聴制限はパスワードが設定されないと操作できません。
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルはディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。
- ディスクによっては、視聴制限のレベルを変更すると再生できないものがあります。視聴制限のレベルを変更後、このようなディスクを再生した場合は、一旦ディスクを取り出して視聴制限のないディスクを挿入し、再生可能なレベルに変更してください。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 にタッチする

3 AV の設定 にタッチする

4 DVD 初期設定 にタッチする

5 「視聴制限」の レベル○ にタッチする

6 任意の “4 行のパスワード” を入力し、決定 にタッチする

- 7 確認のため再度、“4 行のパスワード”を入力し、**決定** にタッチする
- 8 “レベル”を入力し、**決定** にタッチする



レベル 1	子供向けディスクのみ再生します。
レベル 2 ~ 7	成人向けディスクの再生を禁止します。(子供向けや一般向けディスクを再生する)
レベル 8	ディスクをすべて再生します。

▼
視聴制限レベルの設定が完了しました。

レベルを変更する

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → AV の設定 にタッチする

3 DVD 初期設定 にタッチする

4 「視聴制限」の レベル○ にタッチする

5 設定した “パスワード” を入力し、決定 にタッチする

6 “レベル”を入力し、決定 にタッチする

▼
視聴制限レベルの変更が完了しました。

パスワードを変更する

設定したパスワードを変更することができます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → AV の設定 にタッチする

3 DVD 初期設定 にタッチする

4 「視聴制限」の レベル○ にタッチする

5 ▲ → パスワード変更 にタッチする

6 “現在のパスワード” を入力し、決定 にタッチする

7 “新しいパスワード” を入力し、決定 にタッチする

8 確認のため再度、“パスワード” を入力し、決定 にタッチする



パスワードの変更が完了します。

お知らせ

- ・パスワードを忘れたときは、いったんパスワードをクリアし、必要に応じて設定し直してください。
- ・クリアするには、パスワード入力画面（文字未入力の状態）で [消去] に 5 回連続でタッチします。

■ 優先させる言語を変更する

ディスクに記録されている言語（メニュー言語、音声言語、字幕言語）について、優先させたい言語の設定を行います。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → AV の設定 にタッチする

3 DVD 初期設定 にタッチする

4 変更したい ○○語 にタッチする



5 変更したい “言語” にタッチする



優先させる言語の変更が完了します。

アドバイス

- ・ ▲ → [その他] にタッチすると手順 5 の画面にない言語を設定することができます。

「言語コード一覧表」(P237) のコードを入力し、[決定] にタッチします。

言語コード一覧表

コード	言語
6565	アファル語
6566	アブバジア語
6570	アフリカーンス語
6577	アムハラ語
6582	アラビア語
6583	アッサム語
6589	アイマラ語
6590	アゼルバイジャン語
6665	バキール語
6669	白ロシア語
6671	ブルガリア語
6672	ビハーリー語
6673	ビスマラク語
6678	ベンガル語
6679	チベット語
6682	ブルトン語
6765	カタロニア語
6779	コルシカ語
6783	チェコ語
6789	ウェルシュ語
6865	デンマーク語
6869	ドイツ語
6890	ブータン語
6976	ギリシア語
6978	英語
6979	エスペラント語
6983	スペイン語
6984	エストニア語
6985	バスク語
7065	ペルシャ語
7073	フィンランド語
7074	フィジー語
7079	フェロー語
7082	フランス語
7089	フリジア語
7165	アイルランド語
7168	スコットランド語 ガール語
7176	ガルシア語
7178	グラナーニー語
7185	グジャラード語
7265	ハウサ語
7269	ヘブライ語
7273	ヒンディー語
7282	クロアティア語
7285	ハンガリー語

コード	言語
7289	アルメニア語
7365	国際語
7368	インドネシア語
7369	インターリング
7375	イヌピア語
7383	アイスランド語
7384	イタリア語
7465	日本語
7487	ジャワ語
7565	グルジア語
7575	カザフ語
7576	グリーンランド語
7577	カンボジア語
7578	カンナダ語
7579	韓国語
7583	カシミール語
7585	クルド語
7589	キルギス語
7665	ラテン語
7678	リンガラ語
7679	ラオス語
7684	リトアニア語
7686	ラトビア語
7771	マダガスカル語
7773	マオリ語
7775	マケドニア語
7776	マラヤーラム語
7778	モンゴル語
7779	モルダビア語
7782	マーター語
7783	マレー語
7784	マルタ語
7789	ビルマ語
7865	ナウル語
7869	ネパール語
7876	オランダ語
7879	ノルウェー語
7967	オキタン語
7977	オロモ語
7982	オリヤー語
8065	パンジャブ語
8076	ポーランド語
8083	パシトー語
8084	ポルトガル語
8185	ケチュア語
8277	レトロアンス語

コード	言語
8278	キルンディ語
8279	ルーマニア語
8285	ロシア語
8287	キヤーワンダ語
8365	サンスクリット語
8368	シンド語
8371	サンゴ語
8372	セルボクロアティア語
8373	シンハリー語
8375	スロバキア語
8376	スロベニア語
8377	サモア語
8378	ショナ語
8379	ソマリア語
8381	アルバニア語
8382	セルビア語
8383	シスワティ語
8384	セストゥ語
8385	スンダ語
8386	スウェーデン語
8387	スワヒリ語
8465	タミル語
8469	テルグ語
8471	タジク語
8472	タイ語
8473	ティグリニヤ語
8475	トルクメン語
8476	タガログ語
8478	セツワナ語
8479	トンガ語
8482	トルコ語
8483	ツォンガ語
8484	タタール語
8487	トイ語
8575	ウクライナ語
8582	ウルドゥー語
8590	ウズベク語
8673	ベトナム語
8679	ヴォラビュック語
8779	ウォロフ語
8872	コーダ語
8973	イディッシュ語
8979	ヨルバ語
9072	中国語
9085	ズールー語

INFO の設定

カメラやレーンアシスト、エコ情報に関する設定が行えます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 にタッチする

3 Info の設定 にタッチする

4 変更したい “項目” にタッチする



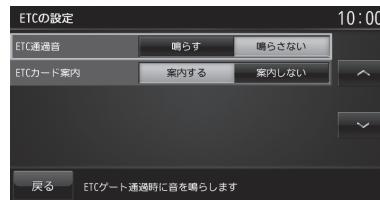
選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

ETC の設定	別売の接続ケーブルおよび DSRC 車載器を接続すると、 ETC に関する設定が行えます。 → 「ETC の設定」 (P239)
リアカメラの 設定	リアカメラに関する設定が行え ます。 → 「リアカメラの設定」 (P240)
レーンアシスト の設定	レーンアシスト機能に関する設 定が行えます。 → 「レーンアシストの設定」 (P243)
エコ情報の設定	エコ情報に関する設定が行えま す。→ 「エコ情報の設定」 (P242)

ETC の設定

別売の接続ケーブルおよび DSRC 車載器を接続すると、ETC に関する設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
ETC 通過音	鳴らす	ETC ゲート通過時に音を鳴らすか鳴らさないかの設定が行えます。
	鳴らない	
ETC カード案内	案内する	ETC カードの挿入、未挿入の案内をするかしないかの設定が行えます。
	案内しない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

リアカメラの設定

リアカメラに関する設定が行えます。

■ カメラの接続設定を行う

リアカメラを取り付けた場合は、以下の操作を行う必要があります。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → Info の設定 にタッチする

3 リアカメラの設定 にタッチする

4 リアカメラの接続設定 にタッチする

5 接続あり にタッチする



▼
リアカメラの使用が可能となります。

■ ガイド線を表示する

リアカメラで使用するガイド線を表示します。

アドバイス

- 工場出荷時は、ガイド線を表示しない設定になっています。

1 INFO キーを押す

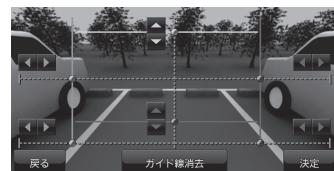
INFO メニューを表示します。

2 設定 → Info の設定 にタッチする

3 リアカメラの設定 にタッチする

4 カメラガイド線の設定 にタッチする

5 ガイド線表示 にタッチする



リアカメラ映像にガイド線を表示します。

再度消去する場合は、[ガイド線消去] にタッチします。

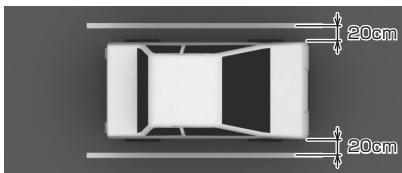
■ ガイド線を調整する

リアカメラ使用時に表示するガイド線の位置を調整することができます。

注意

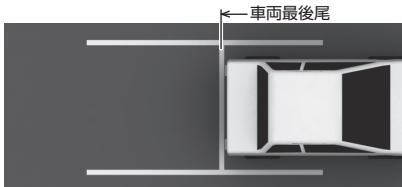
- 調整する際は、駐停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。
- できるだけ、水平な場所で行ってください。
- 目印を付けるときは、必ずエンジンを切ってパーキングブレーキをかけて行ってください。

1 車幅 +両側約20cmの位置(地面)に直線の目印を付ける

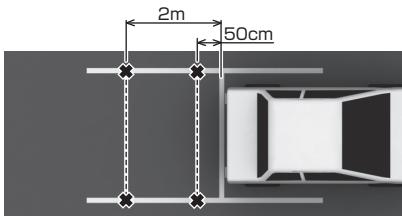


目印は粘着テープなどで行い、車両の全長よりも少し長めに付けてください。

2 車両を約2.5m前進させ、車両最後尾に直線の目印を付ける



3 手順2の目印から約50cmおよび約2mの位置に目印を付ける



リアカメラの映像でも認識しやすいように少し大きめの「×」印を付けることをおすすめします。

4 INFOキーを押す

INFOメニューを表示します。

5 設定→Infoの設定にタッチする

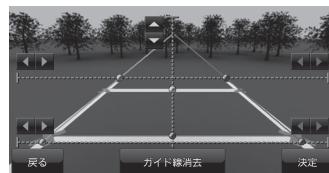
6 リアカメラの設定にタッチする

7 カメラガイド線の設定にタッチする

8 カーソルスイッチにタッチしガイド線を調整する



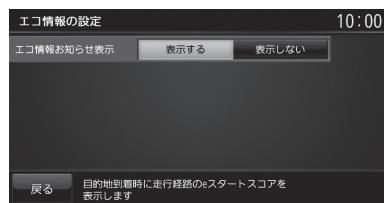
9 決定にタッチする



▼
ガイド線の調整が完了します。

エコ情報の設定

ルート案内中の e スタートスコアを目的地到着後にお知らせするかを設定できます。



設定名	設定値	設定内容
エコ情報お知らせ表示	表示する	目的地到着後に走行経路の e スタートスコアを表示します。
	表示しない	e スタートスコアを表示しません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

レーンアシストの設定

レーンアシスト機能に関する設定が行えます。

レーンアシストについて、詳しくは「レーンアシストを使う」(P48)をご覧ください。



設定名	設定値	設定内容
レーンアシスト	使用する	レーンアシストをお使いになるには、あらかじめ「取付カメラ設定」を行なう必要があります。 →「取付カメラの設定をする」(P244) [使用する]に設定すると、「レーンアシスト」が使用できます。
	使用しない	
取付カメラ設定		リアカメラの取り付け位置やメーカー、型番ごとのカメラパラメータなどの入力を行います。→「取付カメラの設定をする」(P244)
検知開始速度	50km/h	レーンアシストを開始する速度を設定することができます。
	70km/h	設定した速度以上の状態でレーンアシストがご使用になります。
	90km/h	レーンアシストの検知開始後、設定した速度より約5km/h遅くなつたとき、検知終了となります。
検知感度	低	自車のタイヤが道路上の白（黄）線を越えたときから警告します。 ^{※1}
	中	自車のタイヤが道路上の白（黄）線に乗ったときから警告します。 ^{※1}
	高	自車のタイヤが道路上の白（黄）線に近づいたときから警告します。 ^{※1}
警報の種類	ブザーのみ	レーンアシストの警告方法が変更できます。
	ブザー+表示	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 自車のタイヤと道路上の白（黄）線との位置関係については目安としてください。

■ 取付カメラの設定をする

カメラの取付環境の入力や映像などの補正が行えます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → Info の設定 にタッチする

3 レーンアシストの設定 にタッチする

4 「取付カメラ設定」の [未実施] にタッチする

※ 2 回目以降の設定では [設定済み] にタッチしてください。

5 “設定する項目” にタッチする



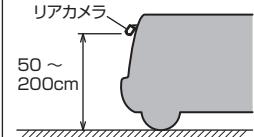
6 決定 にタッチする

▼
カメラの設定が完了し、[未実施] から [設定済み] に変わります。

設定内容について

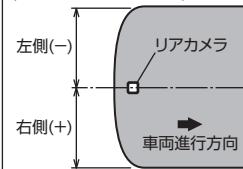
カメラ設置位置：
高さ^{*1}

地面からカメラレンズの中央までの高さを入力します。50～200cm の範囲で入力できます。
(工場出荷時は 100cm)



カメラ設置位置：
左右位置^{*1}

車両幅の中心を 0 としたカメラの中心までの距離（ズレ）を設定します。- 125～125cm の範囲で入力できます。車両進行方向に向かって "+" が右側 "-" が左側になります。
(工場出荷時は 0cm)



カメラパラメータ A

各値は、三菱電機ホームページで公開しています。

カメラパラメータ B

カメラパラメータ C

カメラパラメータ D

車幅

自車の車幅（車検証の値）を設定します。100～250cm の範囲で入力できます。
(工場出荷時は 169cm)

* 1 以下の設定範囲でレーンアシストを動作させることを推奨します。

高さ : 70cm 以上、左右位置 : ± 30cm 以内

実際のカメラ設置位置が上記の推奨設定範囲内に收まらない場合は、レーンアシストが正常に動作しない恐れがあります。

システムの設定

本機の操作音やパワーアンテナの設定、車両取付確認などが行えます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定にタッチする

3 システムの設定にタッチする

4 変更したい“項目”にタッチする



選んだ項目の設定画面を表示します。

■ 設定できる項目について

システム音の設定	操作音量の設定が行えます。 →「システム音の設定」(P246)
パワーアンテナの設定	パワーアンテナに関する設定が行えます。 →「パワーアンテナの設定」(P246)
メモリ初期化	本機の各設定を工場出荷時の状態に戻します。 →「メモリ初期化」(P247)
車両取付確認	取付業者様用の機能です。車両に取り付けた後の信号チェックが行えます。 →「車両取付確認」(P248)
起動時セキュリティの設定	盗難時などに第三者が使用できないようパスワードロックの設定が行えます。 →「起動時セキュリティの設定」(P250)

システム音の設定

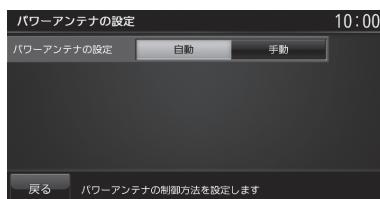
操作音量の設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
操作音量	消	操作音量の設定が行えます。(工場出荷時は [2]) 数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消]で無音になります。
	1 ~ 3	
システム音量	消	音声案内など音量について設定が行えます。(工場出荷時は [4]) 数字が大きくなるほど音量が大きくなり、[消]で無音になります。
	1 ~ 7	
時報	鳴らす	時報を鳴らすか鳴らさないかの設定が行えます。
	鳴らさない	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

パワーアンテナの設定



設定名	設定値	設定内容
パワーアンテナの設定	自動	"ACC ON" 時にアンテナ電源端子から自動的に電源を供給します。
	手動	AVメニュー(P26)に[P.ANT OFF]/[P.ANT ON]が表示されるようになり、アンテナ電源端子への電源供給を手動で行えるようになります。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

メモリ初期化

本機の各設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。
また、登録した自宅や登録地などを一括で消すことができます。

注意

- 故障の原因となりますので初期化中は、イグニッションキーの“ACC”を“OFF”にしないでください。

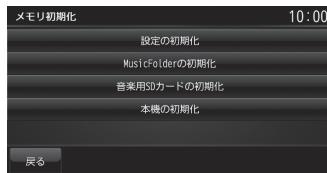
1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → システムの設定 にタッチする

3 メモリ初期化 にタッチする

4 いずれかにタッチする



設定の初期化	本機の各設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。この操作では、登録した自宅や登録地は消えません。
MusicFolder の初期化 ^{※1}	MusicFolder に関するデータをすべて消去します。MusicFolder で録音した曲や、取得したタイトル情報を消去します。
音楽用 SD カードの初期化	MusicFolder で録音した曲を含む音楽用 SD カード内にあるすべてのデータを消去し、SD-Audio フォーマットに初期化します。
本機の初期化	すべての設定、記録データを消去して工場出荷時の状態に戻すことができます。また、登録した自宅や登録地などを一括で消すことができます。

※ 1 一部の機種は、MusicFolder の録音機能に対応しておりません。

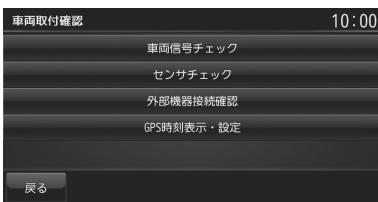
5 初期化する にタッチする

6 再度、初期化する にタッチする

選んだ項目の初期化が完了します。

車両取付確認

取付作業者様用の機能です。車両に取り付けた後の信号チェックが行えます。



注意

- 手順通りに確認していない場合は、正しい判定結果がでない場合があります。

■ 車両信号チェック

車両信号が正しく入力されているかをチェックできます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 [設定] → [システムの設定] にタッチする

3 [車両取付確認] にタッチする

4 [車両信号チェック] にタッチする

5 車両を操作して各信号のチェックを行う



車速	車を走行させたとき、「ON」と表示すれば正常です。
ILL	車の車幅灯を点灯させたとき、「ON」と表示すれば正常です。
シフトポジション R	車のシフトポジションを「R」にしたとき、「ON」と表示すれば正常です。
サイドブレーキ	車のサイドブレーキを降ろしたとき、「OFF」と表示すれば正常です。

■ センサチェック

車速パルスやジャイロセンサーの状態をチェックできます。

1 [INFO キーを押す]

INFO メニューを表示します。

2 [設定] → [システムの設定] にタッチする

3 [車両取付確認] にタッチする

4 [センサチェック] にタッチする

5 [開始] にタッチする



センサチェックを開始します。

以降は、画面の指示にしたがって車両を操作してください。

注意

- 画面に表示された手順通りチェックを行わないと正常な結果が得られません。

■ 外部機器接続確認

本機に接続されている外部機器の接続状態を確認できます。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → システムの設定 にタッチする

3 車両取付確認 にタッチする

4 外部機器接続確認 にタッチする



本機に接続されている外部機器の接続状態を表示します。

接続した機器に「OK」と表示されていれば正常です。

アドバイス

- 「NG」と表示されたときは、[NG コード] にタッチして NG コードを確認してください。



■ GPS 時刻表示・設定

日時の確認と変更が行えます。

通常は GPS から日時を受信していますので設定は不要です。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → システムの設定 にタッチする

3 車両取付確認 にタッチする

4 GPS 時刻表示・設定 にタッチする



現在の日時の確認が行えます。

5 設定する にタッチする

6 それぞれの ▲ または ▼ にタッチし、日時を変更する



7 決定 にタッチする



日時の変更が完了しました。

起動時セキュリティの設定

盗難時などに第三者が使用できないようパスワードロックの設定が行えます。

お知らせ

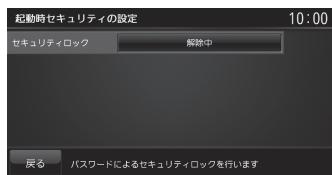
- ・設定が完了すると車両点検などでバッテリーを外すと、起動時にパスワードを入力するまで使用できなくなります。
- ・起動時のパスワード入力を3回失敗するとカーナビ機能がロックされます。このときは、ACC OFF → ONを行なう度パスワードを入力してください。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

2 設定 → システムの設定 にタッチする

3 起動時セキュリティの設定 にタッチする



起動時セキュリティの設定画面を表示します。

4 解除中 にタッチする

5 任意の4桁～10桁の“パスワード”を入力し、決定 にタッチする



6 確認のため再度“パスワード”を入力し、決定 にタッチする

セキュリティロックが設定されます。

■ セキュリティを解除する

1 起動時セキュリティ設定画面で、設定中 にタッチする

2 “パスワード”を入力する

3 セキュリティロック解除 にタッチする

▼
セキュリティのロックを解除します。

■ パスワードを変更する

1 起動時セキュリティ設定画面で、設定中 にタッチする

2 現在の“パスワード”を入力する

3 パスワードの変更 にタッチする

4 新しい“パスワード”を入力し、決定 にタッチする



5 確認のため再度新しい“パスワード”を入力し、決定 にタッチする

▼
パスワードの変更が完了します。

注意

- ・パスワードは、忘れないようメモして保管しておくことをお勧めします。
- ・万が一、パスワードを忘れた場合は、お買い上げ店か弊社代理店もしくは三菱カーラインフォメーションセンターにお問い合わせください。

DTV の設定

テレビ機能に関する各種設定が行えます。

お知らせ

- 一部の機種は、テレビ機能には対応しておりません。

1 AV キーを押す

AV メニューを表示します。

2 DTV にタッチする

3 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

4 メニュー にタッチする

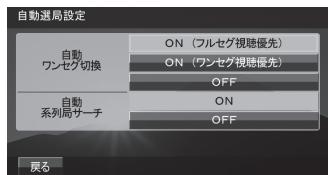
5 設定したい “項目” にタッチする



6 設定したい “内容” にタッチする



7 “設定” にタッチする



▼
設定内容を変更します。

■ 設定項目について

視聴設定	字幕や音声の設定が行えます。 →「視聴設定」(P252)
情報確認	チャンネル一覧や各種情報を確認することができます。 →「情報を確認する」(P192)
受信機設定	自動ワンセグ切り換えの設定の他、表示に関する設定が行えます。 →「受信機設定」(P252)
初期設定	ホーム CH のやり直しや、本機内蔵の地上デジタル TV チューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。 →「初期設定を行う」(P254)

視聴設定

字幕や音声に関する設定が行えます。

■ 字幕 / 音声

字幕放送や複数の音声放送がある場合に設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
字幕設定	字幕なし	字幕の非表示や言語の選択が行えます。
	第1言語	
	第2言語	
二重音声設定	主音声	出力される音声の選択が行えます。
	副音声	
	主／副	

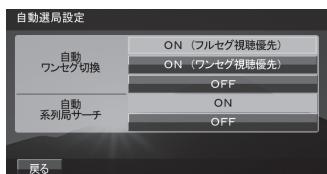
※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

受信機設定

受信に関する各種設定が行えます。

■ 自動選局

電波が弱くなったとき、自動でワンセグに切り換えることや自動で系列局を探す設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
自動ワンセグ切換	ON (フルセグ視聴優先)	フルセグからワンセグへの自動切り替えの設定が行えます。 →「フルセグとワンセグを切り換える」(P194)
	ON (ワンセグ視聴優先)	
	OFF	
自動系列局サーチ	ON	受信ができなくなったとき、自動で系列局を探すことができます。
	OFF	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 緊急放送

緊急放送の設定が行えます。



設定名	設定値	設定内容
緊急放送自動切換	ON	緊急放送を受信すると自動で緊急放送の画面に切り換わります。
	OFF	緊急放送を受信しても、画面の切り換えは行いません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 表示設定

ショートバナーの設定ができます。



設定名	設定値	設定内容
ショートバナー 常時表示	表示する	常時画面の右上にショートバナー（チャンネル番号や放送局名などの情報）を表示します。
	表示しない	ショートバナーを表示しません。

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

■ 番組 CH

番組表をマルチ編成に対応した表示に切り換えます。



設定名	設定値	設定内容
番組表 CH 切換	メインサービス	[全サービス] に設定するとマルチ編成に対応したすべての番組を表示した番組表に切り換わります。
	全サービス	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

初期設定を行う

ホーム CH のやり直しや本機内蔵の地上デジタル TV チューナーの各設定を工場出荷時の状態に戻す場合に行います。

■ ホーム CH スキャンを行う

ホーム CH のやり直しや更新を行います。
詳しくは「ホーム CH スキャンを行う」
(P254) をご覧ください。

■ 設定情報を初期化する

本機内蔵地上デジタル TV チューナーの設定情報を工場出荷時の状態に戻します。

1 AV キーを押す

AV メニューを表示します。

2 DTV にタッチする

3 画面にタッチする

テレビの操作画面を表示します。

4 メニュー にタッチする

5 初期設定 にタッチする

6 設定情報初期化 にタッチする

7 初期化開始 にタッチする

8 はい にタッチする



初期化が完了すると自動的に再起動します。

注意

- 再起動が完了するまでイグニッションキーの“ACC”を“OFF”にしないでください。

その他の設定

モニターの角度や画質、音質などの設定が行えます。

モニターの角度を調整する

モニターの角度を5段階で調整することができます。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定にタッチする

3 モニター角度の調整にタッチする

4 いずれかにタッチし角度を調整する



モニターの角度が変わります。

アドバイス

- “ACC OFF”で自動的に閉じ、“ACC ON”で調整した位置に戻ります。
- モニターの角度を調整した場合は、画質の調整を行ってください。液晶画面の性質上、見る角度によって画質が異なります。

画質を調整する

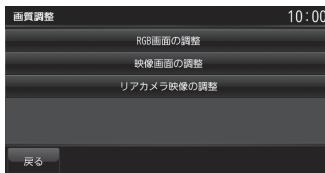
メニュー画面やテレビ、リアカメラ映像の色合いや明るさなどの調整が行えます。

1 INFO キーを押す

INFOメニューを表示します。

2 設定にタッチする

3 画質調整にタッチする

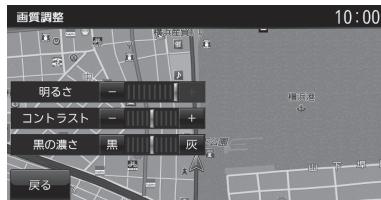


画質調整の画面を表示します。

■ RGB 画面の調整

「画質調整」で [RGB 画面の調整] にタッチすると表示します。

メニュー画面やナビ画面などの明るさ、コントラストなどを調整します。



設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。 [+]にタッチすると明るくなり、[-]にタッチすると、暗くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト(メリハリ)の調整を行います。[+]にタッチするとコントラストが強くなり、[-]にタッチすると、弱くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 [灰]にタッチすると黒の濃さが弱くなり、[黒]にタッチすると濃くなります。タッチし続けると、連続で調整できます。

■ 映像画面の調整

「画質調整」で[映像画面の調整]にタッチすると表示します。テレビ画面やDVD画面、AUX画面などの明るさや色合いなどを調整します。



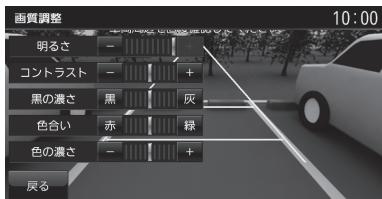
お知らせ

- 選択している映像ソースに対して調整を行います。
- 映像ソースごとに設定ができます。
- 映像ソースを選択していないときや走行中は設定操作ができません。

設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。 [+]にタッチすると明るくなり、 [-]にタッチすると、暗くなります。 タッチし続けると、連続で 調整できます。
コントラスト	コントラスト(メリハリ)の調整を行います。 [+]にタッチするとコントラストが強くなり、 [-]にタッチすると、弱くなります。 タッチし続けると、連続で調整で きます。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 [灰]にタッチすると黒の濃さが 弱くなり、[黒]にタッチすると 濃くなります。タッチし続けると、 連続で調整できます。
色合い	色合いの調整を行います。 [緑]にタッチすると緑っぽくな り、[赤]にタッチすると赤っぽ くなります。タッチし続けると、 連続で調整できます。
色の濃さ	色の濃さの調整を行います。 [+]にタッチすると色が濃くな り、[-]にタッチすると薄くな ります。タッチし続けると、連続 で調整できます。

■ リアカメラ映像の調整

「画質調整」で[リアカメラ映像の調整]にタッチすると表示します。リアカメラ映像の色合いや明るさを調整します。



設定内容は、「映像画面の調整」(P256)と同じです。

音質を調整する

オーディオの音質に関する設定が行えます。

※ AUDIO OFF 状態では音質を調整すること
ができません。

1 INFO キーを押す

INFO メニューを表示します。

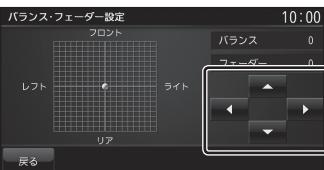
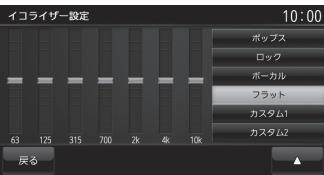
2 設定にタッチする

3 音質調整にタッチする



音質調整の画面を表示します。

■ 音質調整の設定項目について

設定名	設定値	設定内容
PREMIDIA HD	OFF	音楽データの圧縮時に欠落した音声の高域情報を予測補完しオリジナル音声が持つ立体感、奥行き感を再現するための補正量を調節することができます。 ※1,※2
	1 ~ 2	
PREMIDIA WIDE	OFF	ステレオスピーカーの位置よりも外へと広がるワイドな音像を実現するための補正量を調節することができます。※2
	1 ~ 2	
バランス・フェーダー	バランス : L9 ~ L1,0,R1 ~ R9 (Left,Right)	各スピーカーから出力するレベルをカーソルスイッチで調節することができます。
	フェーダー : F9 ~ F1,0,R1 ~ R9 (Front,Rear)	 カーソルスイッチ
ポジション	オール	音場の中心を設定することができます。
	フロント	
	ライト	
	レフト	
イコライザ	ポップス	サウンドの種類を選ぶことができます。▲ → [調整]にタッチすると、カーソルスイッチまたは直接バーにタッチしてレベルを調整することができます。調節し終わったら、▲ → [カスタム 1 に登録]または[カスタム 2 に登録]にタッチして登録します。
	ロック	
	ボーカル	
	フラット	
	カスタム 1	
	カスタム 2	
ラウドネス	OFF	小音量時に不足しがちな低音・高音を増幅することができます。
	1 ~ 2	
車速連動 VOL 調整	OFF	車の速度に応じて音量を自動的に調節することができます。
	1 ~ 3	

※「設定値」の太字は工場出荷時の状態を示します。

※1 非圧縮の音源にも効果があります。

※2 オーディオソースがラジオや AUX のときには無効となります。

画面の表示を消す

画面の表示を消します。

1 [INFO] キーを押す

[INFO] メニューを表示します。

2 [設定] にタッチする

3 [画面 OFF] にタッチする



画面の表示を消します。

アドバイス

- 再度表示するときは、画面にタッチするか [NAVIGATION] または [INFO]、[AV]、[現在地] のいずれかのキーを押します。

その他の

困ったときは

画面にメッセージや「故障かな?」と思ったときに確認してください。

こんなメッセージがでたら

本機では、状況に合わせ画面にメッセージを表示します。

■ ナビゲーション機能

メッセージ	原因	処置
走行中は操作できません。	走行中、操作してはいけないボタンを操作した。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて操作してください。
地図データがありません。	地図データがないエリアに地図スクロールした。	地図スクロール先を変更してください。
縮尺を変更します。	自車、カーソルの中心が設定中のスケールがあるところからないところに移動した。 または、再びあるところに移動した。	-
該当する施設の情報がありません。	施設ジャンル検索で都道府県を指定したが当該都道府県の施設情報が本機に登録されていない。	別の都道府県を選択するか、ジャンルを変更してください。
周辺に情報がありません。	周辺施設の情報が本機に登録されていない。	位置を移動して検索してみてください。
入力された局番はデータにありません。	電話番号検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	住所、施設など別の検索手段で検索してください。
入力された番号はデータにありません。 代表地点を表示します。	電話番号検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	電話番号、施設など別の検索手段で検索してください。
該当するデータがありません。 周辺の地図を表示します。	住所検索をしたが該当番号が本機に登録されていない。	電話番号、施設など別の検索手段で検索してください。
キーワードに該当する施設がありません。	キーワード絞り込みで入力したキーワードに該当する施設が本機に登録されていない。	キーワードを変更し、再度絞り込みを実施してください。
現在の検索結果に、この絞り込み方法は選択できません。	何らかの原因で絞り込みが実行できない。	絞り込み方法を変更するか、設定済みの絞り込み条件を解除してから再度絞り込みを実行してください。

次のページにつづく

「ナビゲーション機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
上限に達したため、これ以上指定できません。	地域またはジャンルで絞り込む際に上限の数を超える絞り込み候補を指定しようとした。	絞り込み候補の件数は5件以内で指定してください。
絞り込み条件はこれ以上設定できません。	キーワード絞り込みを3回実行した後で、さらにキーワード絞り込みを実行しようとした。	キーワード絞り込みは3回以内となるように実行してください。
ルートを探索できませんでした。	何らかの原因で、探索に失敗した。	探索条件などを再度確認し探索してください。
経由地を設定できません。	目的地に到着している状態で、経由地を設定した。	目的地を再度設定してから、経由地を再度設定してください。
経由地を消去できません。	通過済みの経由地を消去しようとした。	通過した経由地は再度案内することはありませんので、そのままご使用いただいても問題ありません。 それでも経由地を消去したい場合は、目的地を再度設定してから、立ち寄らない経由地を除いた経由地を再度設定してください。 (経由地の消去は、当該経由地を通過する前に行ってください。)
MAPスロットの地図カードが読みません。 地図カードを確認してください。	地図カードから地図データが読み込めない。	数分たっても復旧しない場合は、お車を安全な場所に停車し、SDカードの挿入状態を確認してください。 →「SDカードについて」(P16) それでも復旧しない場合は、販売店にご相談ください。
	MAPスロットに地図カードが挿入されていない。	地図カードを挿入してください。 →「SDカードを挿入する」(P17)
	何らかの原因で地図カードに異常が発生した。	販売店にご相談ください。
入力されたマップコードはデータにありません。	入力した MAPCODE の該当地点が見当たらなかった。	MAPCODE を再度確認してください。
入力されたマップコードはデータにありません。付近の地点を表示します。	MAPCODE の末尾の「*□□」が該当しなかった。	詳細な地点を表示させたい場合は、MAPCODE を再度確認してください。

■ オーディオ機能

メッセージ	原因	処置
メカエラーのため再生できません。	何らかの原因でドライブに異常が発生した。	ディスクに異常がないことを確認して再度挿入してください。それでもダメなときは販売店にご相談ください。
	ディスクに傷やそりがある。	傷やそりがあるディスクを挿入しないでください。
バッテリー電圧が低いため再生できません。	車のバッテリー電圧が低くなっている。	バッテリーを確認してください。
再生できません。ディスクをご確認ください。	再生できないディスクを挿入している。	再生できるディスクを挿入してください。 →「再生できるディスクの種類」(P108)
	ディスクを裏面にして挿入している。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクの表面が結露している。	しばらくしてから再度、挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
高温のため再生できません。	本機の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
この iPod は使用できません。	認証に失敗した。	iPod を接続しなおしてください。
	認識できない末対応フォーマットの iPod が接続されている。	本機に対応している iPod を使用してください。 →「iPod を再生する」(P167)
	iPod のソフトウェアバージョンが正しくない。	最新のソフトウェアバージョンを使用してください。
この USB 機器は再生できません。	認証に失敗した。	USB デバイスを接続しなおしてください。
再生可能なデータがありません。	再生可能な音楽ファイルが入っていない。	再生できる音楽ファイルを入れてください。 →「音楽ファイル (MP3/WMA/AAC) について」(P110)
	曲が入っていない iPod を接続した。	曲が入った iPod を接続してください。
再生できませんでした。	対応していない音楽ファイルを再生した。	再生できる音楽ファイルを確認してください。
	著作権保護のファイルを再生した。	著作権保護付きのファイルは再生できません。 著作権保護が付いていないものにしてください。
	音楽ファイルが破損している。	正しい音楽ファイルを入れてください。
リージョンコードが違います。ディスクを確認してください。	本機のリージョン番号と異なる DVD ビデオを挿入した。	リージョンコード [2] を含む DVD ビデオに交換してください。
この再生方式のディスクには対応ていません。	PAL 方式で記録された DVD ビデオを使用している。	NTSC 方式で記録された DVD ビデオを使用してください。
このディスクは再生できません。	DVD-VR の読み込みに失敗した。	ディスクを取り出し、再度挿入してください。 数回試して正常に動作しない場合は、ディスクに何らかの異常がある可能性があります。

「オーディオ機能」のつづき

メッセージ	原因	処置
MUSIC スロットの SD カードを認識できません。	音楽用 SD カードの読み込みに失敗した。	音楽用 SD カードを挿入しなおしてください。
	本機に対応していない SD カードを挿入した。	本機に対応している SD カードを挿入してください。MUSIC スロットに挿入してください。→ 「SD カードの曲を聞く」(P143)
MUSIC スロットの SD カードは使用できません。	本機に対応していない SD カードを挿入した。	本機に対応している SD カードを挿入してください。MUSIC スロットに挿入してください。→ 「SD カードの曲を聞く」(P143)
MUSIC スロット側に音楽用 SD カードが挿入されていません。	音楽用 SD カードが MUSIC スロットに挿入されていない。	本機対応の SD カードを MUSIC スロットに挿入してください。
MUSIC スロットの SD カードに書き込みできません。SD カードを確認してください。	音楽用 SD カードが「Lock」状態になっており、書き込みできない。	音楽用 SD カードを取り出し、「Lock」を解除してください。
SD カードの空き容量が不足しています。これ以上録音できません。	音楽用 SD カードの容量がいっぱいになったため、MusicFolder に録音できなくなつた。	不要な曲またはプレイリストを消去して、再度録音してください。 → 「プレイリストを消去する」(P156)
録音できませんでした。	何らかの原因で録音できない。 ^{*1}	別の音楽 CD に交換してください。 別の音楽用 SD カードに交換してください。
高温のため録音できません。	本機の内部温度が高い。 ^{*1}	ディスクを取り出し、内部温度が正常に戻るまでお待ちください。
低温のため録音できません。	本機の内部温度が低い。 ^{*1}	

*1 一部の機種は、MusicFolder の録音機能に対応しておりません。

■ テレビ機能

一部の機種は、テレビ機能には対応しておりません。

メッセージ	原因	処置
この IC カードは使用できません	使用できないカードが挿入されている。	正しいカードを挿入してください。 → 「miniB-CAS カードを入れる」(P179)
IC カードにアクセスできません。IC カードを入れ直してみてください 直らない場合はカスタマーセンターに連絡してください	カードが故障しているか、間違ったカードを挿入している。	
IC カードを交換してください	カードが故障している。	
IC カードを挿入されていない かロックが外れています。	カードが挿入されていない。 または、ロックが外れている。	カードを正しく挿入してください。 または、カードのロックを確認してください。 → 「miniB-CAS カードを入れる」(P179)
放送局が登録されていません。 ホーム CH スキャンを実行してください	ホーム CH に放送局が登録されていない。	ホーム CH スキャンを実行して放送局を登録してください。 → 「ホーム CH スキャンを行う」(P189)
放送局が登録されていません ドライブ CH スキャンを実行してください	ドライブ CH に放送局が登録されていない。	ドライブ CH スキャンを実行して放送局を登録してください。 → 「ドライブ CH スキャンを行う」(P190)

■ ETC 機能

別売の DSRC 車載器を本機に接続したときに表示するメッセージについて説明します。

メッセージ	原因	処置
ETC 車載器がセットアップされていません。	DSRC 車載器がセットアップされていない。	セットアップカードを挿入し、セットアップを行ってください。
ETC カードが挿入されていません。	ETC カードが正しく挿入されていない。 (裏表が逆、前後が逆)	ETC カードを DSRC 車載器に正しく挿入してください。
ETC カードの有効期限が近づいています。 有効期限は○月末です。	ETC カードの有効期限が近づいている。	ETC カードの有効期限が過ぎる前に新しい ETC カードを挿入してください。
ETC カードの有効期限が過ぎています。 ETC カードを確認してください。	有効期限が過ぎた ETC カードを挿入している。	有効期限が過ぎていない ETC カードを挿入してください。
ETC カードの挿入を確認してください。	ETC カードが未挿入または正しく挿入されていない。	ETC カードを正しく挿入してください。
ETC カードを確認してください。	ETC カードが正しく挿入されていない。 (裏表が逆、前後が逆)	ETC カードを DSRC 車載器に正しく挿入してください。
	ETC カードの金属端子 (IC チップ) 部分が汚れている。	ETC カードの金属端子部に汚れがないか確認してください。
	ETC カードの読み取り処理中にカードが抜き取られた。	再度 ETC カードを正しく挿入してください。
	ETC カードまたはセットアップカード以外のカードが挿入された。	正しい ETC カードまたはセットアップカードを挿入してください。
	何らかの異常で、セットアップが正しく行われなかった。	再度セットアップカードを挿入し、セットアップを行ってください。同じエラーが繰り返されるときは、販売店にご相談ください。
ETC 車載器を確認してください。	DSRC 車載器が故障している。	販売店にご相談ください。
ETC 通信エラーです。	アンテナ通過時に何らかの異常があった。	

故障かな？と思ったら

「故障かな？」と思ったときの症状や原因、処置を説明します。

■ 共通

症状	原因	処置
操作できない。	走行中は、安全のため一部の操作が制限されます。	走行中は運転者の操作はなるべく控え、安全な場所に車を停めて操作してください。 なお、道路交通法により運転者が走行中に画面を注視することは禁止されています。
操作音が鳴らない。	操作音が【消】になっている。	【システム音の設定】の「操作音量」を【1～3】に設定してください。 →【システムの設定】(P245)
画面が表示されない。	画面消し状態になっている。	安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけて画面消し解除(P258)の操作をしてください。
	車のバッテリー電圧が低下している。	バッテリーを充電または交換してください。
	本機内部が高温になっている。	温度が下がるまでしばらくお待ちください。
モニターの画面が暗い。	モニターの明るさ調整が適切でない。	モニターの明るさの調整をしてください。 →【画質を調整する】(P255)
	車のライトがONになっている。	工場出荷時は車のライトをONに設定すると画面が暗くなる仕様です。【表示の設定】で「昼夜色」を【昼固定】に設定すると、常時明るい設定になります。 →【NAVIの設定】(P223)
	昼夜色の設定が【夜固定】になっている。	【表示の設定】で「昼夜色」を【自動切換】または【昼固定】に設定してください。 →【NAVIの設定】(P223)

■ ナビゲーション機能

症状	原因	処置
ナビゲーション機能が起動しない。	地図カードが挿入されていない。 違うSDカードが挿入されている。	地図カードを挿入してください。 →「SDカードを挿入する」(P17)
自車マークの表示位置が正しく表示されない。	GPS衛星からでている電波信号に問題がある。 フェリーなどで移動した。 駐車場などの方向転換用ターンテーブルにて方向転換した。 車速の学習のレベルが低い。	GPS受信状態でしばらく走行してください。
自車マークに点線囲み表示される。	車速信号が取れていない。	車速信号取り直し作業が必要です。 詳しくは販売店にお問い合わせください。
GPSが受信できない。	取り付け直後で自車位置計算に時間がかかる。 GPSアンテナ付近のワインドガラスに鏡面タイプのフィルムやカーボン含有の遮光フィルムを貼っている。 他のアンテナが近くにある。 GPSアンテナ上にものをのせている。 GPSアンテナを上下逆に設置している。 GPSアンテナを周囲が板金で覆われた場所に設置している。 GPSアンテナのコネクターを本機に接続していない。または、正しく接続されていない。	見晴らしのいい場所で最大20分位待ってください。 GPSアンテナを移設、またはフィルムをはがしてください。 GPSアンテナまたは他のアンテナを移設してください。 GPSアンテナ上にあるものを取り除いてください。 取付要領書を確認し、正しく設置してください。 周囲が板金で覆われていない場所にGPSアンテナを設置してください。 取付要領書を確認し、正しく接続してください。
メニューの操作ができない。	安全のため、走行中はメニュー操作ができない場合がある。 エンジンスイッチをACCまたはONにした直後は、データ読み込みのため、地図画面表示後すぐに使えない機能がある。	安全なところに停車しパーキングブレーキを引いて操作してください。 読み込み完了までしばらくお待ちください。
音声による案内がない。	ナビ音量が「消」になっている。	[システム音の設定]の「システム音量」を[1～7]に設定してください。 →「システムの設定」(P245)
VICS情報が受信できない。	VICS情報がまだ受信できていない。 本機にVICS中継ケーブルが正しく接続されていない。 パワーアンテナ設定が「手動」になっている。	見晴らしのいい場所で、しばらくお待ちください。 付属の取付要領書を確認し、正しく接続してください。 [パワーアンテナの設定]を「自動」にしてください。 →「システムの設定」(P245)

■ レーンアシスト機能

警報のタイミングで違和感があった場合に以下の処置を行ってください。

(但し、微修正に限ります。)

症状	処置
右側が早く鳴る。	取付カメラの設定(P244)で「カメラ設置位置：左右位置」を“+”方向に調整してください。
左側が早く鳴る。	取付カメラの設定(P244)で「カメラ設置位置：左右位置」を“-”方向に調整してください。
警報タイミングが早い。	「レーンアシストの設定」(P243)で「検知感度」を[低]にしてください。それでも早い場合は、取付カメラの設定(P244)で「車幅」を少し小さくしてください。
警報タイミングが遅い。	「レーンアシストの設定」(P243)で「検知感度」を[中]または[高]にしてください。それでも遅い場合は、取付カメラの設定(P244)で「車幅」を少し大きくしてください。

■ オーディオ機能

症状	原因	処置
オーディオの音がない／音が小さい。	音量が最小になっている。	音量を調節してください。
	バランス／フェーダーが片寄っている。	バランス／フェーダーを調整してください。 →「音質を調整する」(P256)
	「Audio OFF」になっている。	「Audio ON」にしてください。 →「オーディオ機能がOFFのとき」(P104)
ラジオの受信感度が悪い。	アンテナが伸びていない。	アンテナを伸ばしてください。
	アンテナ電源端子が接続されていない。	パワーアンテナ車の場合は接続してください。
	パワーアンテナ設定が[手動]になっている。	[パワーアンテナの設定]を[自動]にしてください。 →「システムの設定」(P245)
ディスク再生ができない。	ディスクが裏向きに挿入されている。	レーベル面を上にして挿入してください。
	ディスクが結露している。	しばらくたってから挿入してください。
	ディスクが汚れている。	ディスクをクリーニングしてください。
Gracenote データベースバージョンが表示されない。	Gracenote データベースの更新を中断したままになっている。	Gracenote データベースの更新を行ってください。 →「Gracenote データベースをSDカードで更新する」(P125)

■ テレビ機能

一部の機種は、テレビ機能には対応しておりません。

症状	原因	処置
受信できない。	アンテナケーブルの接続不良。	取付要領書に従い正しく配線してください。
地上デジタル TV 放送が映らない。 映像が乱れる。	地上デジタル TV 放送の放送エリア内ではない。	地上デジタル TV 放送は、ある程度受信エリアが限られます。また受信障害のある環境では、放送エリア内でも受信できない場合もあります。
	専用アンテナを使用していない。	専用アンテナをご使用ください。
	miniB-CAS カードが正しく挿入されていない。	miniB-CAS カードを正しく挿入してください。 → 「miniB-CAS カードを入れる」(P179)
番組表が表示されない。	番組表が取得できていない。	本機を起動後、最初に番組表を表示するときは、番組データ受信に時間がかかることがあります。 地上デジタル TV 放送の場合、視聴していない放送局は番組表に情報が表示されません。 番組データ取得(P186)をすると、番組情報を取得します。
放送局のロゴマークが表示されない。	ロゴマークが取得できていない。	地上デジタル TV 放送の各放送局を一定時間受信していると、放送局のロゴマークが表示されます。
字幕や文字スーパーがない。	「字幕設定」が【字幕なし】に設定されている。 見ている番組が字幕や文字スーパーがない番組である。	【視聴設定】の「字幕設定」で【第1言語】または【第2言語】に設定してください。 → 「DTVの設定」(P251) 字幕や文字スーパーのある番組を見てください。字幕や文字スーパーのある番組はソースプレートにアイコンが表示されます。 → 「記号について」(P185)
番組内容が変更される。	ワンセグとフルセグで番組内容が異なる放送を受信している。	「自動ワンセグ切換」をOFFに設定してください。 → 「フルセグとワンセグを切り換える」(P194)

車両のバッテリー交換を行ったら

車両のバッテリーを交換すると一部メモリーが消去されます。

例：設定したルート

(設定した目的地や経由地は保持されます。)

お知らせ

- ・「起動時セキュリティの設定」(P250)を行っていた場合、起動後パスワードを入力するまで使用できません。
- ・起動時のパスワード入力を3回失敗するとカーナビ機能がロックされます。このときは、ACC OFF → ON を行い再度パスワードを入力してください。

用語解説

ナビ関連用語

ナビに関する用語を説明します。

細街路

道幅の狭い一部の道路。100mスケール以下の地図で表示することができます。走行すると表示されなくなりますが故障ではありません。

市街地地図(→P44)

スケール10/25/50mで表示されるビルや家の形まではっきりと見える地図です。

自車

本機を装着しているお客様のお車のことです。

ジャイロセンサー

車の進行方向を調べる部品です。

車速センサー

車の走行距離を調べる部品です。

スマートIC

スマートIC(スマートインターチェンジ)は、ETC車載器またはDSRC車載器装着車に限定したインターチェンジで、高速道路の本線・サービスエリア・パーキングエリアなどに設置されたインターチェンジです。

センシングリルート

ルート案内時、故意にルートを外れたとナビが判断した場合に元のルートに戻るリルートではなく、その時点での最適と思われるルートを案内する機能です。

走行軌跡

地図には、自車が走ってきた道に印(点線)がつきます。この印(点線)を走行軌跡といいます。

測位

GPS衛星からの電波を受信して、自車の位置を測位することです。

マップコード(→P67)

特定の場所の位置データをコード化し、1~12桁の番号と「*」(アスタリスク)でその場所を特定することができます。従来、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定できないところも特定することができるようになります。マップコードに関することは、下記へお問い合わせください。

株式会社デンソーコミュニケーションズ

電話番号 0566-61-4210

受付時間 10:00~12:00

13:00~16:00

(土・日、会社休日を除く)

ホームページ

<http://guide2.e-mapcode.com/>

マップマッチング

実際に走行している道路から外れた位置に自車位置マークが表示されるなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してそれを補正し、自動的に自車位置マークを道路上に表示させる機能です。

ランドマーク(→P35)

お店や施設を、地図上で見やすくするために絵で表した目印です。

レーンアシスト(→P48)

高速略図(P40)が表示可能な高速道路を走行中、自車がレーンからはみ出す、またははみ出す危険性がある場合にブザー音と表示で警告します。

DSRC(ディーエスアールシー)(→P99)
 DSRC(Dedicated Short Range Communication)とは専用狭域(きょういき)通信の略称で、ETCを含めて路側と車載器間で利用される通信方式です。また、この通信方式を利用して提供されるサービスのうち、ETC以外のサービスのことをDSRCと呼んでETCと区別して用いることもあります。

ETC(→P203)

有料道路等におけるノンストップ自動料金収受システム(Electronic Toll Collection System)のこと、DSRC車載器を取り付けることで有料道路等の料金所を通過する際に、一旦停止することなく自動的に通行料金の支払い手続きが可能になります。

FM多重放送(→P209)

FM放送波を利用して、広いエリアに道路交通情報を提供するもので、各地のFM放送局から放送されています。

GPS(ジーピーエス)(→P31)

GPSは、Global Positioning System(グローバル・ポジショニング・システム)の略称です。GPSは、米国が開発運用しているシステムで、高度約21,000kmの宇宙空間で、周回している4つ以上のGPS衛星から地上に放射される電波を同時に受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

VICS(ビックス)

VICSは、Vehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略称です。VICSレシーバーセットを装着すると、事故や工事の情報、渋滞状況や主要路線の区間旅行時間、駐車場の空き情報を得ることができます。

3Dリアルジャンクション(→P42)

高速道路の分岐点が近づくと、3Dの静止画面で実際の分岐のしかたや行き先、ジャンクション名などをリアルに表示します。

オーディオ関連用語

オーディオに関する用語を説明します。

追いかけ再生

音楽CDを録音中にすでに録音済みの曲を頭から再生します。
その間に録音はつづけられます。

プレイリスト

MusicFolderに音楽CDの曲を録音すると、アルバムごとに格納される場所が自動的に作成されます。その場所のことをプレイリストと言います。

ID3-Tag(→P112)

MP3ファイルの終わりに、曲名／アーティスト名／アルバム名／製作年度／コメント／音楽ジャンルを128バイトの固定の長さにしファイルとして格納しています。

MusicFolder(→P150)

挿入した音楽CDの曲を、音楽用SDカードに録音する機能です。

DVDビデオ関連用語

DVDビデオに関する用語を説明します。

言語コード(→P237)

DVDビデオを再生するときに設定する各言語のコード。

タイトル

DVDビデオにはいくつかの大きな区切りが設定されており、その1つの区切りをタイトルと呼びます。また、各タイトルに設定された番号をタイトル番号と呼びます。

チャプター

各タイトルにはさらにいくつかの区切りが設定されており、その1つの区切りをチャプターと呼びます。また、各チャプターに設定された番号をチャプターファイル番号と呼びます。

続き再生

ビデオ再生中に停止などで再生を中断後、再度再生したときに同じ場面から再生を開始する機能です。レジューム再生とも呼びます。
※ 続き再生ができるときは が点滅し、できないときは が表示されます。

ドルビーデジタル

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術。

マルチアングル

1つの場面のアングルを変えて見ることができる機能です。

※ マルチアングル対応の DVD ビデオのパッケージには が記載されています。

レターボックス画面

ワイドソフトを4:3の画面で再生したときに、上下に黒い帯を入れた状態で再生する画面。ビデオのパッケージに と表示されているワイドソフトを4:3の画面で再生するとレターボックス画面で表示されます。

ワイドソフト

ワイドテレビ(横16:縦9)で再生するように画像を16:9で収録したソフト。

CPRM

記録型DVDディスクなどに使われている著作権保護技術のこと。

dts

デジタルシアターシステムズ社の開発したデジタル音声圧縮の技術。DVD-VIDEOではオプション規格のため必ず収録されているとは限りません。

MPEG

画像(動画)圧縮の国際標準フォーマット。

NTSC

カラーテレビの方式。

日本では NTSC 方式が採用されており、本機も NTSC 方式専用となっています。他のテレビ方式(PAL 方式, SECAM 方式)で記録されたビデオは再生できません。

(リニア)PCM

音楽 CD などに使用されている音楽記録方式。

テレビ関連用語

本書で説明するテレビ機能の用語について説明します。

エリア CH

位置情報を取得し、そのエリア内で見ることができる放送局を自動的に登録しています。必ずしも受信状態が良い放送局とは限りません。

ドライブ CH

旅行先など(一時的に滞在する地域)で放送局を登録するためにあります。

物理チャンネル番号

リモコン番号とは異なり、実際に送信されているテレビのチャンネル番号(13ch ~ 62chまで)のことと言います。

フルセグ

家庭用の地上デジタル TV 放送のことで、ハイビジョン放送(HDTV)がご覧いただけます。1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち12個のセグメントを使用しています。本書では「フルセグ」と表現しています。

放送モード

本書では、「フルセグ」と「ワンセグ」の総称を「放送モード」と表記しています。

ホーム CH

お住まいの地域(長期的に滞在する地域)の放送局を登録するためにあります。

マルチ編成

1つのチャンネルで複数のテレビ番組を放送できるサービスです。

リモコン番号

放送局ごとに決められているリモコンのボタン用の番号です。本機では、画面に表示します。

ワンセグ

携帯電話やカーナビなどの移動端末向け地上デジタルTV放送のことです。
1つのチャンネルを13個のセグメントに分割し、そのうち1つのセグメントを使用していることから、「1セグ=ワンセグ」と呼ばれています。

CH モード

各用途に応じて、放送局を登録する「ホームCH」、「ドライブCH」、「エリアCH」の総称を本書では「CHモード」と表記しています。

EPG

Electronic Program Guideの略で、テレビに番組表を表示させるシステムのことです。

3桁チャンネル番号

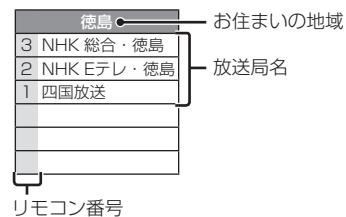
マルチ編成でそれぞれの番組を区別するためリモコン番号と組み合わされた番号のことです。フルセグでは011番から、ワンセグでは611番から始まります。

地上デジタルTV放送のチャンネル一覧表

一部の機種は、テレビ機能には対応しておりません。

- ホームCHスキャン(P180,P189)で登録された地域の放送局とリモコン番号の組み合わせは、以下になります。(2013年7月現在)他の地域の放送を受信されたときは、以下のようなならない場合があります。
- この表の放送局名と画面に表示される放送局名は、一致しない場合があります。

表の見かた



お住まいの地域	北海道（札幌）	北海道（函館）	北海道（旭川）	北海道（帯広）
チャンネル名	3 NHK 総合・札幌	3 NHK 総合・函館	3 NHK 総合・旭川	3 NHK 総合・帯広
	2 NHK Eテレ・札幌	2 NHK Eテレ・函館	2 NHK Eテレ・旭川	2 NHK Eテレ・帯広
	1 HBC 札幌	1 HBC 函館	1 HBC 旭川	1 HBC 帯広
	5 STV 札幌	5 STV 函館	5 STV 旭川	5 STV 帯広
	6 HTB 札幌	6 HTB 函館	6 HTB 旭川	6 HTB 帯広
	8 UHB 札幌	8 UHB 函館	8 UHB 旭川	8 UHB 帯広
	7 TVH 札幌	7 TVH 函館	7 TVH 旭川	7 TVH 帯広

お住まいの地域	北海道（釧路）	北海道（北見）	北海道（室蘭）	青森
チャンネル名	3 NHK 総合・釧路	3 NHK 総合・北見	3 NHK 総合・室蘭	3 NHK 総合・青森
	2 NHK Eテレ・釧路	2 NHK Eテレ・北見	2 NHK Eテレ・室蘭	2 NHK Eテレ・青森
	1 HBC 釧路	1 HBC 北見	1 HBC 室蘭	1 RAB 青森放送
	5 STV 釧路	5 STV 北見	5 STV 室蘭	6 ATV 青森テレビ
	6 HTB 釧路	6 HTB 北見	6 HTB 室蘭	5 青森朝日放送
	8 UHB 釧路	8 UHB 北見	8 UHB 室蘭	
	7 TVH 釧路	7 TVH 北見	7 TVH 室蘭	

お住まいの地域	岩手	秋田	宮城	山形
チャンネル名	1 NHK 総合・盛岡	1 NHK 総合・秋田	3 NHK 総合・仙台	1 NHK 総合・山形
	2 NHK Eテレ・盛岡	2 NHK Eテレ・秋田	2 NHK Eテレ・仙台	2 NHK Eテレ・山形
	6 IBC テレビ	4 ABS 秋田放送	1 TBC テレビ	4 YBC 山形放送
	4 テレビ岩手	8 AKT 秋田テレビ	8 仙台放送	5 YTS 山形テレビ
	8 めんこいテレビ	5 AAB 秋田朝日放送	4 ミヤギテレビ	6 テレビユー山形
	5 岩手朝日テレビ		5 KHB 東日本放送	8 さくらんぼテレビ

お住まいの地域	福島	茨城	東京	千葉
チャンネル名	1 NHK 総合・福島	1 NHK 総合・水戸	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京
	2 NHK Eテレ・福島	2 NHK Eテレ・東京	2 NHK Eテレ・東京	2 NHK Eテレ・東京
	8 福島テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ
	4 福島中央テレビ	6 TBS	6 TBS	6 TBS
	5 KFB 福島放送	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン
	6 テレビユー福島	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日
		7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京
		12 放送大学	9 TOKYO MX	3 チバテレビ
			12 放送大学	12 放送大学

お住まいの地域	埼玉	群馬	栃木	神奈川
チャンネル名	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京	1 NHK 総合・東京
	2 NHK E テレ・東京			
	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ
	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS
	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン
	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日
	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京
	3 テレ玉	3 群馬テレビ	3 とちぎテレビ	3 tvk
	12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学

お住まいの地域	山梨	新潟	富山	石川
チャンネル名	1 NHK 総合・甲府	1 NHK 総合・新潟	3 NHK 総合・富山	1 NHK 総合・金沢
	2 NHK E テレ・甲府	2 NHK E テレ・新潟	2 NHK E テレ・富山	2 NHK E テレ・金沢
	4 YBS 山梨放送	6 BSN	1 KNB 北日本放送	4 テレビ金沢
	6 UTY	8 NST	8 BBT 富山テレビ	5 北陸朝日放送
		4 TeNY テレビ新潟	6 チューリップテレビ	6 MRO
		5 新潟テレビ 21		8 石川テレビ

お住まいの地域	福井	長野	静岡	愛知
チャンネル名	1 NHK 総合・福井	1 NHK 総合・長野	1 NHK 総合・静岡	3 NHK 総合・名古屋
	2 NHK E テレ・福井	2 NHK E テレ・長野	2 NHK E テレ・静岡	2 NHK E テレ・名古屋
	7 FBC テレビ	4 テレビ信州	6 SBS	1 東海テレビ
	8 福井テレビ	5 abn 長野朝日放送	8 テレビ静岡	5 CBC
		6 SBC 信越放送	4 だいいちテレビ	6 メ~テレ
		8 NBS 長野放送	5 静岡朝日テレビ	4 中京テレビ
				10 テレビ愛知

お住まいの地域	岐阜	三重	大阪	滋賀
チャンネル名	3 NHK 総合・岐阜	3 NHK 総合・津	1 NHK 総合・大阪	1 NHK 総合・大津
	2 NHK E テレ・名古屋	2 NHK E テレ・名古屋	2 NHK E テレ・大阪	2 NHK E テレ・大阪
	1 東海テレビ	1 東海テレビ	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送
	5 CBC	5 CBC	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ
	6 メ~テレ	6 メ~テレ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	4 中京テレビ	4 中京テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
	8 ぎふチャン	7 三重テレビ	7 テレビ大阪	3 BBC びわ湖放送

お住まいの地域	京都	和歌山	奈良	兵庫
チャンネル名	1 NHK 総合・京都	1 NHK 総合・和歌山	1 NHK 総合・奈良	1 NHK 総合・神戸
	2 NHK E テレ・大阪			
	4 MBS 毎日放送	4 MBS 毎日放送	4 MBS 每日放送	4 MBS 毎日放送
	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ	6 ABC テレビ
	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ	10 読売テレビ
	5 KBS 京都	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ	3 サンテレビ

お住まいの地域	広島	鳥取	島根	山口
チャンネル名	1 NHK 総合・広島	3 NHK 総合・鳥取	3 NHK 総合・松江	1 NHK 総合・山口
	2 NHK E テレ・広島	2 NHK E テレ・鳥取	2 NHK E テレ・松江	2 NHK E テレ・山口
	3 RCC テレビ	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ	4 KRY 山口放送
	4 広島テレビ	6 BSS テレビ	6 BSS テレビ	3 TYS テレビ山口
	5 広島ホームテレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	5 YAB 山口朝日
	8 TSS			

次のページにつづく

お住まいの地域	岡山	香川	徳島	高知
チャンネル名	1 NHK 総合・岡山	1 NHK 総合・高松	3 NHK 総合・徳島	1 NHK 総合・高知
	2 NHK E テレ・岡山	2 NHK E テレ・高松	2 NHK E テレ・徳島	2 NHK E テレ・高知
	4 RNC 西日本テレビ	4 RNC 西日本テレビ	1 四国放送	4 高知放送
	5 KSB瀬戸内海放送	5 KSB瀬戸内海放送		6 テレビ高知
	6 RSK テレビ	6 RSK テレビ		8 さんさんテレビ
	7 テレビせとうち	7 テレビせとうち		
	8 OHK テレビ	8 OHK テレビ		

お住まいの地域	愛媛	福岡	佐賀	長崎
チャンネル名	1 NHK 総合・松山	3 NHK 総合・福岡	1 NHK 総合・佐賀	1 NHK 総合・長崎
	2 NHK E テレ・松山	3 NHK 総合・北九州	2 NHK E テレ・佐賀	2 NHK E テレ・長崎
	4 南海放送	2 NHK E テレ・福岡	3 STS サガテレビ	3 NBC 長崎放送
	5 愛媛朝日	2 NHK E テレ・北九州		8 KTN テレビ長崎
	6 あいテレビ	1 KBC 九州朝日放送		5 NCC 長崎文化放送
	8 テレビ愛媛	4 RKB 毎日放送		4 NIB 長崎国際テレビ
		5 FBS 福岡放送		
		7 TVQ 九州放送		
		8 TNC テレビ西日本		

お住まいの地域	熊本	大分	宮崎	鹿児島
チャンネル名	1 NHK 総合・熊本	1 NHK 総合・大分	1 NHK 総合・宮崎	3 NHK 総合・鹿児島
	2 NHK E テレ・熊本	2 NHK E テレ・大分	2 NHK E テレ・宮崎	2 NHK E テレ・鹿児島
	3 RKK 熊本放送	3 OBS 大分放送	6 MRT 宮崎放送	1 MBC 南日本放送
	8 TKU テレビ熊本	4 TOS テレビ大分	3 UMK テレビ宮崎	8 KTS 鹿児島テレビ
	4 KKT くまもと県民	5 OAB 大分朝日放送		5 KKB 鹿児島放送
	5 KAB 熊本朝日放送			4 KYT 鹿児島讀賣TV

お住まいの地域	沖縄
チャンネル名	1 NHK 総合・沖縄
	2 NHKE テレ・沖縄
	3 RBC テレビ
	5 QAB 琉球朝日放送
	8 沖縄テレビ (OTV)

地上デジタルTV放送の受信に関する相談・お問い合わせは総務省まで

総務省 地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター

TEL 0570 (07) 0101

【他の機器への接続について】

機器やケーブルの仕様および型番は 2013 年 7 月現在のものを記載しております。仕様および型番は予告なく変更されることがあります。本書の記載内容と異なる場合がございますがご容赦ください。

DSRC 車載器	三菱電機製 DSRC 車載器 ※ 接続ケーブル (LE-68FF-2SS または LE-64FF-2SS) を使用します。
USB 接続ケーブル	LE-12UB-FM
iPod 接続ケーブル	LE-21AV-MM
外部入力ケーブル	LE-126AV-FF
ドライビングリモコン	RE-MZ50
リアカメラ	BC-20 U 対応

保証とアフターサービス

■ 保証書について

- ・この製品には保証書が添付されています。
- ・所定事項の記入 <販売店印><お買い上げ日>および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- ・万一故障した場合の無償修理期間は、保証書に記載している期間に基づきます。

■ アフターサービスについて

- ・調子が悪いときは、まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

保証期間中の修理は	▶	保証書の記載内容に基づいて修理いたします。 詳しくは保証書をご覧ください。
-----------	---	------------------------------------------

保証期間経過後の修理は	▶	修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
-------------	---	----------------------------------------

- ・三菱電機は各機器の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後6年間保有しています。
- ・保証期間中の修理など、アフターサービスについて不明な点は、お買い上げ店か弊社代理店、「お客様相談窓口一覧表」に記載されている最寄りのお店もしくは下記三菱カーアイソレーションセンターにお申しつけください。

お問い合わせ先 三菱カーアイソレーションセンター

フリーダイヤル **0120-182-710**

（土・日・祝日・弊社の休日は除く / 9:00 ~ 17:30）

■ ソフトウェアについて

■ オープンソースソフトウェア

FreeType

Portions of this software are copyright 1996-2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008, 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

LibJPEG

this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group

EGL

Copyright © 1991-2000 Silicon Graphics, Inc. All Rights Reserved.
<http://oss.sgi.com/projects/FreeB/>

■ Gracenote サービス

Gracenote, Inc. 提供の CD および音楽関連データ :copyright © 2000-present Gracenote. Gracenote Software, copyright © 2000-present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトをご覧ください。

Gracenote、CDBB、MusicID、MediaVOCS、Gracenote のロゴとロゴタイプ、および "Powered by Gracenote" ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。



本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行われるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または默示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。

Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。

また、Gracenote は、任意の時点でのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、默示的な保証を含み、これに限らず、明示的または默示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2013

Flash エンドユーザーライセンス

本製品に組み込まれているソフトウェアには、Adobe Systems Incorporated、Adobe Systems Software Ireland Limited(“Adobe 社”)および BSQUARE Corporation(“BSQUARE 社”)が保有する Flash Lite ソフトウェア(本ソフトウェア)が含まれています。

本ソフトウェアは以下の条項にお客様が同意された場合にのみ、その条項に従って使用することができます。

1. 本ソフトウェアに関する禁止事項

- (1) 本ソフトウェアの複製および頒布を行わない。
- (2) 本ソフトウェアの改変、二次的著作物の作成を行わない。
- (3) 本ソフトウェアの逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル及びその他人間が知覚可能な形態への変換を行わない。

2. 本ソフトウェアに係る免責および救済

- (1) Adobe 社、BSQUARE 社および三菱電機株式会社は、お客様が本ソフトウェアを使用することにより、間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰的損害および派生的損害並びに、その他の損害が生じた場合であっても、免責されるものとします。
- (2) Adobe 社、BSQUARE 社および三菱電機株式会社は、本ソフトウェア品質並びに性能等を含み、一切について保証しないものとします。
- (3) 三菱電機株式会社がお客様に対して負う責任は、本製品の価格を上限とします。
- (4) お客様が本製品に関し請求できる救済手段は、三菱電機株式会社に対する返品および返金の請求のみであり上記以外の如何なる救済も請求できないものとします。

仕様

ナビゲーションユニット		
受信周波数		1575.42MHz
受信方式		パラレル 12 チャンネル
受信感度		-130dBm
測位更新時間		約 1 秒
地図カード部		8GB
オーディオ		
アンプ部	最大出力	45W × 4
	適合スピーカーインピーダンス	4 Ω
イコライザー部	7バンドグラフィックイコライザー	63/125/315/700/2k/4k/10k Hz 調整幅レベル：± 12dB
DVD プレーヤー部	対応ディスク	DVD-VIDEO、DVD ± R/RW ^{*1} 、 CD-DA、CD-R/RW(MP3、WMA、AAC フォーマット) ※ 1)VR/CPRM フォーマット対応
	周波数特性	5Hz ~ 20,000Hz(CD-DA)
	S/N	85dB
	全高調波ひずみ率	0.05% 以下
FM/AM 部	受信周波数範囲	FM:76.0 ~ 90.0MHz AM:522 ~ 1629kHz
	実用感度	FM:12dBf AM:32dB μ
	S/N	FM:60dB IHF-A AM:50dB
	左右分離度	FM:20dB(1kHz)
地上デジタル TV 部 ^{*1}	放送方式	地上デジタル放送方式(日本)
	受信チャンネル	13 ~ 62ch
	アンテナ	専用アンテナ
MusicFolder 部 ^{*2}	形式	SD-Audio 規格
	S/N	85dB
	全高調波ひずみ率	0.05% 以下
	対応容量	最大 32GB(SDHC 規格対応 /CPRM 対応)
音楽用 SD カード部	対応圧縮音声フォーマット	MP3、WMA、AAC
	S/N	85dB
	全高調波ひずみ率	0.05% 以下
	対応容量	最大 32GB(SDHC 規格対応 /CPRM 対応)
GPS アンテナ		
防水		防噴流仕様
方式		マイクロストリップ平面アンテナ

※ 1 一部の機種は、テレビ機能には対応しておりません。

※ 2 一部の機種は、MusicFolder の録音機能に対応しておりません。

モニター	
画面サイズ	7インチ WVGA
タッチパネル	抵抗感圧式アナログ（フィルム+ガラス）
外部接続	
外部入力 (RCA 1系統)	映像：NTSC 1.0Vp-p 音声：2.0Vrms MAX(1kHz)
カメラ入力 (RCA 1系統)	映像：NTSC 1.0Vp-p
電源・寸法・質量	
使用電源	DC13.2V(マイナスアース)
最大消費電流	MAX13A
動作温度	-10°C～+55°C
外形寸法	約 幅 180 × 高さ 100 × 奥行き 184mm
質量	約 3.3kg

- ・本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
- ・使用電源が異常に低い場合や高い場合は内部回路保護のため、動作を停止または中断する場合があります。

用語索引

本用語索引では、使用したい機能をすばやく見つけるために、各機能のキーワードのみを記載しています。他のページにも下記の言葉が記載されている場合があります。

ア行

明るさ	255, 256
アングル	139
案内開始	56, 68
案内言語	226
色合い	256
色の濃さ	256
迂回ルート	78
映像	196
映像情報	183
エコ運転評価	200
エコ情報	27, 200
エコ情報の設定	242
エコ情報履歴	200, 202
エリア	182, 184
エリア CH	270
追いかけ再生	269
オーディオ機能	104
オートセレクト	118
音楽 CD	120
音楽ファイル	110, 127
音質調整	222, 256
音声	138, 196, 252
音声の設定	223, 226
音声モード	183
音量を調節する	104

カ行

カーブ案内	42, 226
開通道路情報更新	214
ガイド線	207
ガイド線表示	240
ガイド線を調整する	241
外部機器接続確認	249
各アイコン	36
画質調整	222, 255

カメラ	27, 207
カメラ設定	240
画面 OFF	222
画面の表示を消す	258
観光ルート	25, 69
キーワード変更	60
規制情報	94
季節マーク	224
北基準	40
起動時セキュリティの設定	250
距離順基準位置	62
緊急情報	97
緊急放送自動切換	253
繰り返しタッチ	23
黒の濃さ	255, 256
経由地	68, 74
経由地削除	76
系列局	182, 188
系列局サーチ	184
県境案内	42, 226
言語コード	237, 269
現在地	14, 34, 38
現在地登録	82
現在地補正	230
検索履歴	57
交差点案内図	41, 224
交差点名称読み上げ	226
高速道路情報	52
高速略図	40
高速略図自動表示	225
交通情報	26, 119
合流案内	42
小文字 / 大文字	20
コントラスト	255, 256

サ行

サーチ	212
細街路	268
再生できるディスクの種類	108
サブメニュー	38, 117, 123, 130, 176
シーク	117
市街地地図	44, 268

自車	268
自車位置の補正	223,229
自車基準	40
システム音の設定	246
システムの設定	222,245
施設ジャンル	25,61
施設名称	25,59
施設名称入力用キーボード	22
自宅	25,55,81
視聴設定	251,252
自動系列局サーチ	252
自動録音	233
自動ワンセグ切り換え	195
自動ワンセグ切換	252
絞り込み設定	60,63
字幕	138,252
字幕情報	183
字幕設定	252
ジャイロセンサー	268
車種	227
車速センサー	268
車両信号チェック	248
車両取付確認	248
住所	25,58
渋滞予測	227
渋滞予測経路	68
周辺検索	25,65
受信機設定	251,252
受信強度	183
受信情報読み上げ	228
受信情報割り込み	228
手動録音	233
仕様	280
省エネ情報	68
商標	7
情報確認	192,251
ショートバナー常時表示	253
初期設定	251,254
シングル録音	233
数字入力	140
スキャン	118
スクロール	35,45
スクロール方面名称	224
スケール	44
スケールアイコン	44
スタンダード	39
スタンダード2画面	39
スマート IC	52,227,268
スマート IC 回避	80
設定	27
センサチェック	248
センシングリルート	227,268
全ルート	71
走行軌跡	224,268
走行軌跡データ消去	224
走行情報 (DSRC)	228
走行制限	184
走行中の操作制限	7
測位	31,268
ソフトウェアバージョン	193

夕行

タイトル	269
タイトル情報	121,124,161
タッチ操作	19
タブスイッチ	19
探索条件	68,73,74
探索条件設定	68
探索の設定	223,227
探索方法	32
探索ルート	225
探索ルート上の合流案内	226
探索ルート上の踏切案内	226
地上デジタル TV	178
地上デジタル TV 放送のチャンネル一覧表	272
地図色	224
地図データ更新	27
地図表示言語	225
地点メニュー	35,37,46
チャプター	269
駐車場情報	94
昼夜色	224
長期通行規制回避	80
続き再生	270
ディスク挿入口	15

ディスクを取り出す	105
ディスプレイ	14
デモ走行	72
電話番号	66
電話 / 郵便番号	25
到着予想時刻学習リセット	227
登録地	82
登録地情報	84
登録地の設定	81
登録地名称	224
登録地 / 履歴	25,57
道路縁取り	224
都市高速入口イラストマップ	41
ドライブ	182,184
ドライブ CH	270
ドライブ CH スキャン	184,190,191
ドルビーデジタル	270
プリセット選局	211
プリセット登録	213
フルセグ	194,270
プレイリスト	269
別ルート	79
変換	20
変換候補のリスト	21
方位アイコン	39
放送モード	183,270
方面名称	45
方面名称読み上げ	226
ホーム	182,184
ホーム CH	270
ホーム CH スキャン	180,189
本機	14
本機の設定	222

ナ行

ナビ画面	34
二重音声設定	252
ノーマルバナー	182

ハ行

バージョンアップ	220
バージョン情報	220,222
パスワード	250
パソコンからタイトル情報を取得する	163
パワーアンテナの設定	246
半角 / 全角	20
番組内容	182,185
番組表 CH 切換	253
ビーコン情報	96
非測位	32
微調整	45
ビデオ再生情報画面	169
ビデオメニュー	170
表示の設定	223,224
フォルダの構成	111
物理チャンネル番号	183,270
踏切案内	42
プリセットスイッチ	116

マ行

マップコード	67,268
マップマッチング	31,268
マニュアル選局	213
マルチアングル	270
マルチ編成	270
ミュージックメニュー	169
無変換	20
メール	192
メッセージ	259
メニュー	182
メモリ初期化	247
免責事項	5
メンテナンス情報	27,216
目的地の設定	55
文字入力	20
文字の種類	21
モニター OPEN	17
モニター角度の調整	222,255

ヤ行

郵便番号	66
用語解説	268
予測渋滞情報表示	96

ラ行

ラジオ	115
ランドマーク	224,268
ランドマーク選択	224
ランドマークを選択する	231
リアカメラ	208
リアカメラの設定	240
リスト表示	127,146,176
(リニア)PCM	270
リモコン番号	182,184,194,271
料金所案内図	41
ルート確認	70
ルート残距離	225
ルート自動更新	97,227
ルート消去	79
ルート探索条件	227
ルートの確認	70
ルートの変更	73
ルート編集	25,73
レーンアシスト	43,268
レーンアシストの設定	243
レーン案内	42,226
レーン情報	224
レターボックス画面	270
録音する	148
録音方法を変更する	232
ロングバナー	183

ワ行

ワイド	138,197
ワイドソフト	270
ワンセグ	194,271
ワンセグ / フルセグ	182,194

A

AAC	114
AM	116
Audio OFF	26,104
Audio ON	26,104
AUX	26,197
AV	14,104
AV アイコン	106,225

AV の設定

AV メニュー 26

C

CH モード	182,184,271
CPRM	270

D

DISC	26
DSRC	99,269
DSRC 車載器の情報	206
dts	270
DTV	26,180
DTV の設定	251
DVD ビデオ	132
DVD ビデオの初期設定	234

E

EPG	182,186,271
ETC	27,203,269
ETC の設定	239
ETC の履歴	204
ETC 料金所案内	41
e スタートスコア	201
e スタートマスターレベル	200

F

FM1	116
FM2	116
FM 多重情報	96
FM 多重放送	89,269
FM 文字情報	27,209
FOLDER	127,143,173

G

GPS	31,269
GPS 時刻	249
Gracenote	277

I

IC カード	192
ID3-Tag	269
INFO	14
Info の設定	222,238
INFO メニュー	27
iPod	26,167
iPod メニュー	171

M

MAPCODE	25,67
MAP スロット	15,17
miniB-CAS カード	178
miniB-CAS カード挿入口	15
MP3	112
MPEG	270
MusicFolder	269
MusicFolder を聴く	150
MUSIC スロット	15,18

N

NAVI	14
Navi の設定	222,223
NAVI メニュー	25,36
NoTitle リスト	162
NTSC	270

P

P.ANT OFF	26
P.ANT ON	26
PLAYLIST	150,151,152,153
PsideP	40

R

RADIO	26,115
-------------	--------

S

SD/MusicFolder	26
SD カード	16
SD カードの曲を聴く	143
S/W バージョン	193

T

TITLE	134,135
TUNE	115,116

U

USB	26
USB デバイス	173
USB メモリ	26,173

V

VICS	89,269
VICS 記号	93
VICS 局	98
VICS 考慮	79
VICS 受信局周波数設定	228
VICS 受信時地図色	228
VICS 情報(一般道)	228
VICS 情報(高速道)	228
VICS スイッチ	91
VICS センター	93
VICS 駐車場情報	228
VICS の設定	223,228
VOL	14

W

WMA	113
-----------	-----

数字

2 次元測位	32
3D ビューマップ	40
3D リアルジャンクション	42,269
3 衍チャンネル番号	183,271
3 次元測位	32
5 ルート	68,78



〒100-8310 東京都千代田区丸の内 2-7-3 (東京ビル)